WISENET

Wisenet SSM Console Client
ユーザーマニュアル

VER 2.10

CE

ユーザーマニュアル案内

本文書は**Wisenet SSM Console Client**プログラムの運営者のための使用説明書です。本製品を使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みのうえ、製品の正しいご使用をお願い致します。

- 本マニュアルは製品の基本値と基本画面をもとにして使用法を説明しています。
- 本マニュアルに記載された内容は、製品のソフトウェアアップデートと当社のポリシー等により異なる場合があり、ユーザーに事前予告なく変更されます。

対象読者の案内

本マニュアルは**Wisenet SSM Console Client**(以下、**SSM Console Client**)プログラムを使用する運営者のための内容を記載しています。

- 本製品の詳しいインストール及び設定方法は、別途の**管理者マニュアル**をご参考ください。
- **管理者マニュアル**は、ハンファテックウィン製品のホームページ(**http://www.hanwha-security.com**)でダウンロードできます。

製品使用案内

本製品の使用者は、下記のような作業を遂行できます。

- **Wisenet SSM Core Server**(以下、**SSM Core Server**)に登録されたネットワークデバイスをリアルタイムで監視する
- サーバーとネットワーク保存デバイスに保存された映像を検索、または再生する
- ネットワークデバイスで発生したライブイベントを監視、またはイベントログを検索する

本製品を使用する前に、まず製品が最新のソフトウェアバージョンであるかをご確認ください。ハンファテックウィン製品のホームページ(**http://www.hanwha-security.com**)で、ソフトウェアのバージョンを確認しダウンロードできます。

著作権の案内

©2022 Hanwha Techwin Co.、Ltd. All rights reserved.

Trademark

本書に記載されている各商標は登録済みです。本書に記載されている本製品の名称およびその他の商標は、各社の登録商標です。

制約について

本書は著作権によって保護されています。どのような状況であっても、本書の一部または全体を複製、配布または変更するには、正式な認可が必要です。

免責事項について

Hanwha Techwin は取扱説明書の完全性および正確性について万全を期しておりますが、その内容について公式に保証するものではありません。
この取扱説明書の使用およびその結果については、すべてユーザーが責任を負うことになります。

目次

ユーザーマニュアル案内 2
対象読者の案内 2
製品使用案内 2
著作権の案内 3

画面構成について 10

画面について 11
メニュータブ表示列について 12
メニューについて 12
メニューページを開く 13
メニューページを閉じる 13
メニューページを分離する 14
機能ボタンについて 15
ツリータブについて 16
タイムラインについて 17
メニューウィンドウについて 18
追加機能について 18

開始 20

プログラムの起動 20
プログラムへのログイン 20

監視 22

監視メニューページを開く 22

ツリータブについて 24
カメラタブについて 25
アラーム出力タブについて 27
レイアウトタブについて 27
PTZタブについて 28
ブックマークタブについて 30
設定タブについて 31
ショートカットメニューについて 31

ライブ映像の監視 32

映像ウィンドウの表示情報について 33

リアルタイムイベントを監視する 34

イベント情報プレビュー 35
インスタントビューアを使用する 36
イベント用語について 38

タイル映像のコントロール 40

タイルのコントロール 40
PTZカメラを制御する 41
ショートカットメニューについて 42

映像レイアウトを使用する 44

共有レイアウトについて 44
マップレイアウトについて 44
マップレイアウト画面の制御 44
ユーザー・レイアウトについて 46
レイアウトを変更する 48
シーケンスについて 48

録画映像の監視 52

再生モードに切り替える 52
タイムラインについて 53
日付で録画映像を検索する 55
イベントで録画映像を検索する 56
録画イベントの用語を確認する 57
再生同期する 58
再生速度のコントロール 58

ブックマークの追加 59
ライブモードに切り替える 59
録画映像ファイルとしてエクスポートする 60
動画をエクスポートする 61
エクスポート映像をマスキングする 63
一時的なスケジュールをエクスポートする 70
スケジュールをバックアップする 73
ブックマークを使用する 78
ブックマークの追加 78
ブックマークを再生する 79
ブックマークを修正する 80
ブックマークを削除する 81
アドバンス検索メニューに移動する 82
時間区間を設定する 82

ビデオウォールの制御 83

VM メニューを開く 83
画面構成について 84
ビデオウォール設定について 85
ビデオウォールについて 86
モニターレイアウトについて 87
ウォールレイアウトに設定する 88
Wallシーケンスに設定する 89
Wallスポットに設定する 90
Direct Wall Dispalyを設定する 91
モニターレイアウトの編集 93
共有レイアウトに変更する 94
カメラタブのカメラ映像を監視する 94
映像ウィンドウのタイル映像を監視する 94
マップレイアウトのアイコンを監視する 94
ビデオウォールにOSDを表示する 95

録画映像を検索する 96

検索メニューページを開く 96

イベントを検索する 97

イベント検索画面の構成を確認する 97
イベントログを検索する 98
イベントを確認する 101
イベント映像を連続再生する 103
イベントログファイルとしてバックアップする 104

AIを検索する 105

AI検索画面の構成を確認する 105
AIを検索する 106
検索条件を保存する 108
フラグ指定リストを確認する 110
ベストショットで再検索する 112
顔認識の検索する 114

録画映像をアドバンス検索する 117

アドバンス検索メニューページを開く 117

サムネイルを検索する 118

サムネイル検索画面の構成を確認する 118
モーション検索を行う 119
サムネイル検索を行う 120

スマート検索を行う 121

スマート検索画面の構成について 121
仮想領域を検索する 122
仮想ライン検索を行う 124

検索時間の区間を設定する 125

監査ログを検索する 126

監査ログ検索メニューページを開く 126
監査ログ検索画面の構成を確認する 127
監査ログを検索する 128

POS映像の監視 130

POSメニューページを開く 130
POSメニュー画面の構成について 131
POSライブ映像の監視 132
POSデータの検索 133

ダッシュボードでシステムを監視する 134

ダッシュボードメニューページを開く 134
ダッシュボード画面の構成について 135
SSM Serverページを確認する 137
Recorderページを確認する 139

コンソールクライアントの設定 141

設定ページを開く 141
一般設定を行う 142
画面ディスプレイを設定する 144
ビデオを設定する 146
イベントを設定する 148

付録 150

システム要件 150

SSM Core Server 150

SSM Console Client 151

製品仕様 151

サービスポート 152

対応デバイス 153

システムコントローラの使用 157

SPC-2000 157

SPC-7000 158

画面構成について

SSM Console Clientプログラムを実行すると、監視画面が表示されます。監視画面を利用して様々な機能を実行できます。

メモ

- またプログラムを終了した後に再開すると、プログラムを終了する前に開いていたメニューが表示されます。
- プログラムの起動オプションは、下記のパスから変更できます。
  SSM Console Client > 設定 > 一般 > 起動

画面について

SSM Console Clientの画面は、次のように構成されています。

メモ

SSM Console Clientの画面は、ユーザーが選択したメニュータブによって構成が異なります。

番号	画面構成	機能詳細
❶	メニュータブ表示列	現在開かれているすべてのメニュータブを確認できます。
❷	機能ボタン	カメラ映像及びオーディオをコントロールし、映像画面を分割できます。 • ユーザーが選択したメニュータブによって構成が異なります。
❸	ツリータブ	カメラ、アラーム出力、レイアウト、ブックマークツリーを確認できます。または PTZカメラ映像をコントロールできます。
❹	動画ウィンドウ	カメラが撮影している動画をリアルタイムで監視することができます。 また、サーバーやネットワークレコーダーに保存された動画を検索したり再生することができます。
❺	タイムライン	プログラムが再生モードの場合、保存された映像のタイムラインを確認できます。
❻	ライブイベント	デバイスで発生したライブイベントを確認できます。 • ユーザーが選択したメニュータブによって構成が異なります。
❼	追加機能	プログラムが提供する追加機能を使用できます。

メニュータブ表示列について

メニューについて

メモ

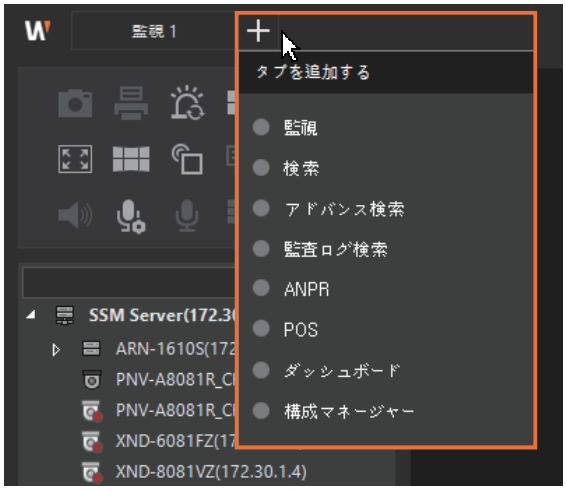
SSM Console Clientプログラムのメニューは、タブで構成されています。

- メニュータブを自由に移動しながら、任意のメニュー項目を選択できます。
- メニュータブからページを分離し、別途のプログラムのように動作させることができます。
- メニュータブに新しいページを挿入できます。

監視	カメラで撮影中の映像とイベント映像をリアルタイムで監視することができます。 または、サーバーとネットワーク保存デバイスに保存された映像を検索・再生できます。
検索	デバイスで発生したイベントログを検索して再生することができます。 また、AIカメラとリンクして検索したい人、顔、車両または車両番号などの様々な条件で映像を検索したり、再生することができます。
アドバンス検索	録画映像でモーション検知イベントが発生した時点のサムネイルを検索できます。または、録画映像上に設定した仮想ラインを通過する人物を検索したり、特定領域内に侵入または徘徊する人物を検索したりすることもできます。
監査ログ検索	デバイスで発生した監査ログを検索することができます。
ANPR	ANPR カメラとリンクして動画をリアルタイム監視し、希望する条件で保存した動画を検索したり再生することができます。また、車両を登録/削除、登録された車両の情報を編集したり車両別の管理履歴を確認することができます。 • ANPR メニューは、ANPR ライセンスを登録してから使用できます。
POS	NVRに接続されたPOSデバイスのデータとカメラ映像をリアルタイムで監視できます。または、保存されたPOSデータを検索、当該カメラの映像を再生できます。
ダッシュボード	**SSM Core Server**のシステムや登録されたデバイスの状態を監視できます。
構成マネージャー	**SSM Core Server**システムを構成し、管理できます。

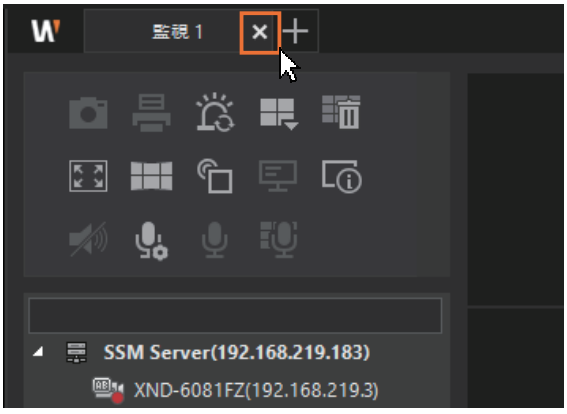
メニューページを開く

メニューページを開くには、プログラム左上の＋をクリックした後、**タブを追加する**ダイアログボックスから任意のメニューを選択してください。



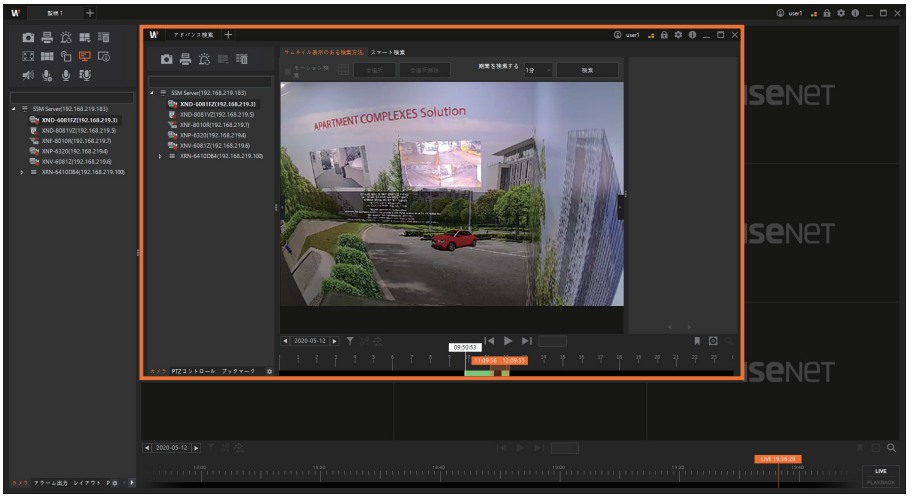
メニューページを閉じる

メニューページを閉じるには、メニュータブの上にマウスを移動させた時に表示される✕をクリックしてください。



メニューページを分離する

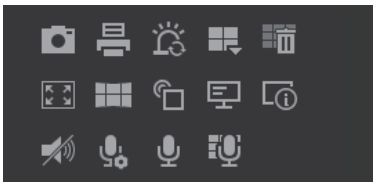
メニューページを分離するには、メニュータブをマウスでドラッグ＆ドロップしてください。

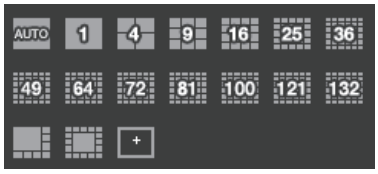


メモ

- 分離したメニューページを他のメニューの間に自由に移動・挿入できます。
- 分離したメニューページを別途のプログラムのように分けて使用できます。

機能ボタンについて



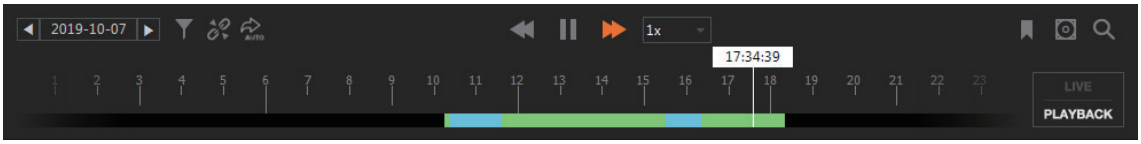
	選択したタイルの映像をキャプチャできます。
	選択したタイルの映像を印刷できます。
	監視する映像タイルのすべてのアラーム表示を削除できます。
	映像ウィンドウの分割画面を変更できます。 AUTOボタンをクリックすると、映像ウィンドウの分割画面が自動で設定されます。 +ボタンをクリックすると、ユーザーパターンを追加することができます。 
	監視する映像タイルをすべて削除できます。
	映像ウィンドウをモニター全画面で表示できます。
	VMメニューを開く、または閉じることができます。
	イベントスポットの使用有無を設定できます。
	映像上にOSD情報を表示、または隠すことができます。
	映像の出力情報を確認できます。
	カメラで受信するオーディオを聞く、またはオーディオボリュームを調節できます。
	運営者が設定したソース音声を再生してオーディオ放送を行うことができます。

	選択したタイルのカメラにマイクを通じて話すことができます。 ただし、マイク機能に対応しているカメラのみ使用できます。
	全体カメラ(最大16台)にマイクを介して話すことができます。

ツリータブについて

カメラ	SSMに登録されたカメラリストを確認できます。
アラーム出力	アラーム出力リストを確認する、またはアラーム出力をコントロールできます。
レイアウト	SSMで使用できるレイアウトリストを確認する、またはユーザー・レイアウトを作成できます。
PTZコントロール	PTZカメラ映像をコントロールできます。
ブックマーク	再生モードで追加したブックマークツリーを確認できます。
	ツリータブのメニューを表示、または隠すことができます。ツリーに表示されるデバイスリストの表示基準を設定できます。

タイムラインについて

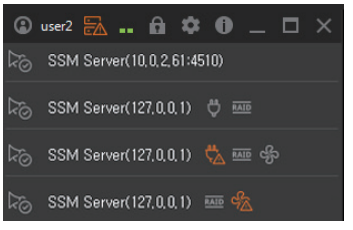
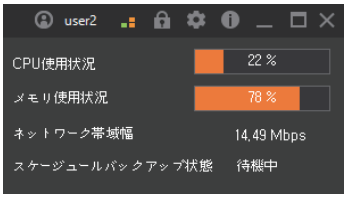


2019-10-07	日付をクリックすると表示されるカレンダーから、任意の日付の保存映像を検索できます。
	イベント項目をフィルタリングし、保存映像を検索できます。
	複数の再生映像を同じ時間で同期して再生する、または再生同期を解除できます。 (再生同期/個々の再生)
AUTO	イベントフィルターリングによってタイムラインに表示されたイベント録画映像だけを再生することができます。 (フィルターされたセクションを再生/全部再生)
	保存映像を前のフレームに移動できます。
	保存映像を再生できます。
	保存映像を次のフレームに移動できます。
	映像を早戻しして再生できます。
	映像再生を中止できます。
	映像を早送りして再生できます。
	再生モードで関心のある区間の映像をブックマークとして追加できます。
	保存映像をファイルにエクスポートできます。 • 動画をエクスポートする：特定区間の保存映像をファイルにエクスポートします。 • ビデオマスキングをエクスポートする：保存映像においてプライバシー保護が必要な一部の領域をプライバシー領域として設定した後、映像をエクスポートします。 • 一時的なスケジュールをエクスポートする：予約されたスケジュールで映像をエクスポートします。 • エクスポートスケジュール: 以前の日付の録画映像を次の日付の指定された時間に毎日自動にエクスポートします。
	アドバンス検索メニューページに移動できます。
LIVE PLAYBACK	監視モードを再生またはライブ映像に切り替えることができます。 **メモ** 監視モードを切り替えると、すべての映像タイルのモードが一括変更されます。

メニューウィンドウについて

メニューウィンドウの画面構成は、メニューによって異なる場合があります。詳しい内容はメニュー別画面構成をご参考ください。

追加機能について

	リストボックスから**パスワードの変更**を選択すると、ログインしたユーザーのパスワードを変更できます。 リストボックスから**ログアウト**を選択すると、ログアウトできます。
user2	ログインしたユーザーのIDを確認できます。
	ファン、デュアルパワーシステム、RAID状態を確認することができます。 ハードウェアに問題が発生してアラームが表示される場合、をクリックしてアラームをオフできます。  • エラー発生時、とが交互表示され、エラーが解決されるとが表示されます。 • 正常状態：RAID エラー状態：RAID
	SSM Console ClientがインストールされたPCの性能を確認できます。  • CPU使用状況：現在のPCのCPU使用状況を表示します。 • メモリ使用状況：現在のPCのメモリ使用状況を表示します。 • ネットワーク帯域幅：現在のPCのネットワーク入出力のデータ量を表示します。 • スケージュールバックアップ状態：スケジュールバックアップの動作状態を表示します。

	スクリーンロックを設定できます。 ボタンをクリックすると、マウスカーソルがロックに変更し、ロックに設定されます。 ロック設定を解除するには、画面エリアをクリックしてからパスワードを入力してログインしてください。また全画面では、**Ctrl + L**キーを押して画面ロックを設定したり解除することができます。
	SSM Console Clientを設定できます。
	SSM Console Client情報を確認できます。
	SSM Console Client画面を最小化できます。
	SSM Console Client画面を最大化できます。
	SSM Console Clientを終了できます。

開始

SSM Console Clientプログラムを起動し、ログインする方法について解説します。

> **メモ**
> **SSM Console Client**プログラムを開始するには、まず**SSM Core Server**が正常に動作している必要があります。

プログラムの起動

SSM Console Clientプログラムを起動するには、

- デスクトップから**SSM Console Client**プログラムのアイコン をダブルクリックしてください。
- または、 > **Wisenet** > **SSM Console**の順番に選択してください。

プログラムへのログイン

SSM Console Clientプログラムを起動すると、下記のようなログイン画面が表示されます。

> **メモ**
> - **SSM Console Client**プログラムにログインするには、まず**SSM Core Server**のすべてのサービス状態が**開始**と表示されている必要があります。
> - **SSM Core Server**のサービス状態は**SSMサービスマネージャー**の**サービスステータス**タブから確認できます。

1. **サーバー**のドロップダウンリストから**SSM Console Client**プログラムを接続する**SSM Core Server**を選択してください。

メモ

- 接続するサーバーがドロップダウンリストに表示されていない場合、ドロップダウンリスト右側の ボタンをクリックして、接続するサーバーの を選択した後、**確認**をクリックしてください。
- より詳しい設定方法は**管理者マニュアル**または**製品ホームページ(http://www.hanwha-security.com)**をご参考ください。

2. ログインIDとパスワードを入力してください

メモ

- **ログインID保存**を選択すると、ログインウィンドウに入力した**ID**が次回接続する時に表示されます。
- **自動ログイン**を選択すると、次回接続時に自動でプログラムにログインします。

3. **ログイン**ボタンをクリックしてください

メモ

- ログインに失敗した場合、サーバーのサービスステータスが**開始**と表示されているかどうか確認してください。
- ログインに3回以上失敗すると、30秒間ログインができないように**ログイン制限**が設定されます。
- **ログイン制限**設定は下記の**構成マネージャー**メニューから変更できます。
  構成マネージャー > **システム** > **メンテナンス** > **ドメイン** > **ログイン制限**
- セキュリティのため、周期的に**パスワード**を変更しましょう。

監視

SSM Core Serverに登録された複数のカメラ映像をリアルタイムで監視できます。

または、**SSM Core Server**とネットワーク保存デバイスに保存した録画映像を検索し、再生できます。

監視メニューページを開く

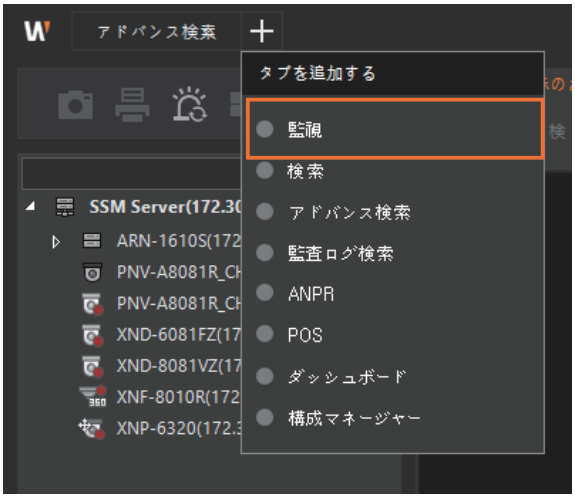
1. **SSM Console Client**を実行します。詳しい内容はプログラムの起動をご参考ください。
2. ログインダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。

- 正常にログインすると、次のような初期画面が表示されます。

メモ

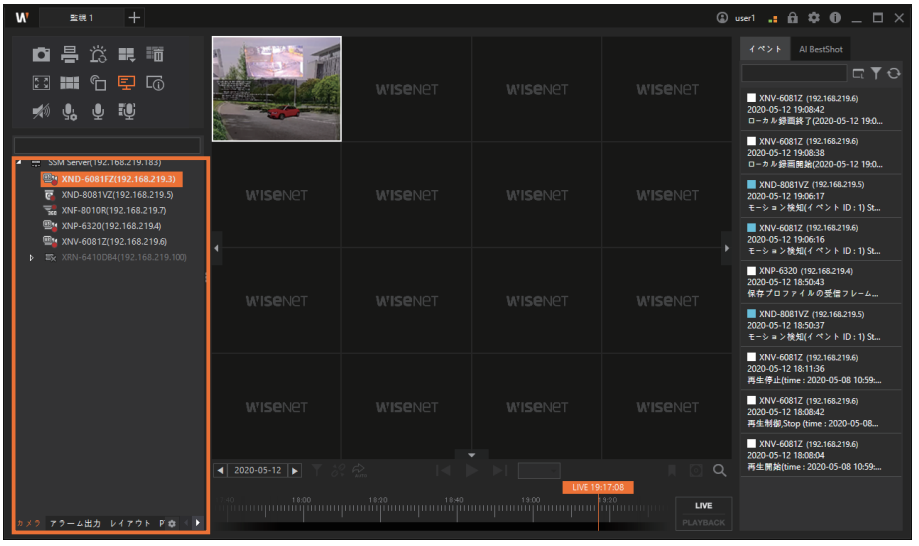
SSM Console Clientの画面は、ユーザーが選択したメニューに応じて構成が異なる場合があります。

3. プログラム開始時に**監視**タブを確認できない場合、プログラム左上の**[+]**ボタンをクリックし**タブを追加する**ダイアログボックスが表示されると**監視**を選択してください。



ツリータブについて

プログラムのメニューページで主に使用する**ツリータブ**の画面構成と、主な機能について解説します。



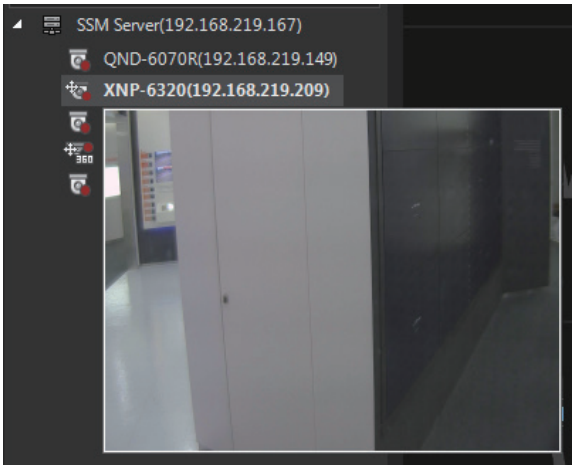
カメラ	SSMに登録されたカメラリストを確認できます。
アラーム出力	アラーム出力リストを確認する、またはアラーム出力をコントロールできます。
レイアウト	SSMで使用できるレイアウトリストを確認する、またはユーザー・レイアウトを作成できます。
PTZコントロール	PTZカメラ映像をコントロールできます。
ブックマーク	再生モードで追加したブックマークツリーを確認できます。
	ツリータブのメニューを表示、または隠すことができます。ツリーに表示されるデバイスリストの表示基準を設定できます。

カメラタブについて

SSMに登録されたデバイスリストを確認できます。カメラの映像をプレビューすることができ、デバイスの接続状態の変更、またはデバイスのプロパティ確認ができます。また、デバイスのウェブビューアに接続してリモートで設定を変更できます。

■ カメラ映像のプレビュー

1. **カメラ**タブをクリックしてください。
2. カメラツリーから任意のカメラ上にマウスポインタを移動させます。
3. カメラのサムネイルを確認します。



メモ

プレビューに対応しないデバイスの場合、マウスポインタを移動させると**プレビューサポートなし**のツールヒントが表示されます。

■ デバイス接続またはデバイス切断

1. **カメラ**タブをクリックしてください。
2. カメラツリーから任意のデバイスを選択してください。
3. マウスを右クリックして**接続**または**切断**を選択してください。

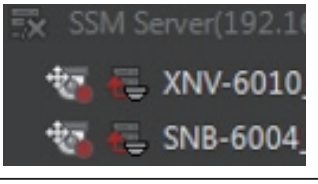
■ デバイスまたはプロパティの確認

1. **カメラ**タブをクリックしてください。
2. カメラツリーから任意のデバイスを選択してください。
3. マウスを右クリックして**デバイスプロパティ**または**カメラプロパティ**を選択してください。

■ デバイスまたはカメラ設定ページを開く

1. **カメラ**タブをクリックしてください。
2. カメラツリーから任意のデバイスを選択してください。
3. マウスを右クリックして**設定ページを開く**を選択してください。デバイスのウェブビューアがブラウザに表示されます。

■ カメラアイコンについて

	PTZ機能に対応していない一般カメラです。
	PTZ機能に対応しているカメラです。
	カメラのライブ映像を保存しています。
	運営者が直接カメラ接続を切断する時に表示されます。
	カメラとのネットワーク接続が切断された時に表示されます。
	ボックスカメラを表示します。
	PTドライバーカメラを表示します。
	Fish Eyeカメラを表示します。
	ライブ専用カメラを表示します。(映像は録画されず、ライブのみで映像を見ることができます。)
	カメラに内蔵されたSDカードに映像が録画される場合、表示されます。
	 **SSM Core Server**がフェイルオーバーすると、カメラアイコン右側にフェイルオーバーアイコンが表示されます。フェイルオーバーした**SSM Core Server**は、切断状態で表示されます。

アラーム出力タブについて

SSM Core Serverに登録されたデバイスのアラーム出力リストを表示し、コントロールできます。アラーム出力に対応しているデバイスのアラーム出力のみ表示されます。

■ アラーム出力オン/オフ

1. **アラーム出力**タブをクリックします。
2. アラーム出力ツリーから任意のアラーム出力を選択します。
3. マウスを右クリックして**アラーム出力オン**または**アラーム出力オフ**をクリックします。

レイアウトタブについて

映像画面を様々な形に分割してカメラ映像を監視できます。カメラ映像は**共有レイアウト**、**マップレイアウト**、**ユーザー・レイアウト**に配列できます。また、シーケンス機能を使用すると、複数のレイアウトを順番に監視することも可能です。

■ 共有レイアウトについて

構成マネージャーで設定したレイアウトでカメラ映像を監視できます。共有レイアウト設定は**構成マネージャー** > **設計** > **レイアウト**から変更できます。

メモ
共有レイアウトは同じドメインに登録されたすべてのユーザーが使用できます。

■ マップレイアウトについて

地図や平面図上でカメラ映像を監視できます。マップレイアウト設定は**構成マネージャー** > **設計** > **マップ**から変更できます。

■ ユーザー・レイアウトについて

ユーザーが作成したレイアウトでカメラ映像を監視できます。

メモ
ユーザー・レイアウトはログインしたユーザーのみ使用でき、他のユーザーと共有できません。

■ シーケンスについて

複数のカメラ映像を2つ以上の共有レイアウトに配置した後、レイアウトを順番に転換しながらカメラ映像を監視できます。

PTZタブについて

SSMに登録されたカメラの映像をコントロールできます。PTZカメラのPTZ機能をコントロールして一般カメラのデジタルズーム、DIS、フォーカスを調節できます。

メモ

- カメラモデルによって対応しているPTZ仕様が異なる場合があります。
- PTZ機能のないボックスカメラであっても、**Fish Eye**が設定されている場合、一部機能を使用できます。
- カメラモデルによってPTZ機能に対応していない場合があります。詳しい情報は、当該カメラのユーザーマニュアルをご参考ください。
- Fish EyeまたはSUNAPIカメラの場合、Home Position位置設定機能を使用できます。
- PTZカメラを選択して矢印キーを押すと、選択した方向へのPTZカメラコントロールが可能です。

■ PTZコントロールボタン及び機能について

番号	画面構成	機能詳細
❶	メニューモードの開始	映像上に、カメラ設定メニューをOSD形式で表示できます。
❷	メニューモードの終了	映像上に表示されたカメラ設定メニューを閉じることができます。
❸	実サイズ	ボタンをクリックすると、領域ズームで拡大または縮小した映像を1倍ズームに変更できます。
❹	カメラメニュー移動	映像上にOSD形式で表示されたカメラ設定メニューを、矢印ボタンをクリックして上下・左右にメニューを移動できます。
❺	PTZボール	円の内側のボールをマウスでクリックしたままドラッグすると、PTZカメラの方向をコントロールできます。
❻	Sensibility	PTZコントロール感度を調節できます。
❼	フォーカス設定	カメラのフォーカスを手動で調節できます。ドロップダウンリストの数値はフォーカスの移動間隔を表しており、ボタンは近く、ボタンは遠くへとフォーカスを移動させます。
❽	シンプルフォーカス	カメラのフォーカスを自動で調節できます。
❾	絞りオープン/クローズ	カメラレンズの絞りをオープン、またはクローズできます。
❿	ズーム設定	PTZカメラの光学ズームで映像倍率を拡大/縮小でき、ズーム速度を調節できます。ドロップダウンリストの数値は、ズーム移動間隔を表しています。とボタンは、それぞれ映像を縮小/拡大します。
⓫	プリセット	カメラのプリセット移動機能を使用できます。
⓬	トレース	カメラのトレース機能を使用できます。
⓭	グループ	カメラのグループ機能を使用できます。
⓮	スウィング	カメラのスウィング機能を使用できます。
⓯	ツアー	カメラのツアー機能を使用できます。ツアーは、カメラで設定したデバイスツアーとSSM構成マネージャーで設定したSSM ツアーに対応しています。
⓰	DISオン/オフ	カメラのDIS機能を使用できます。ボタンをクリックするとDISが設定されて手ぶれ映像を補正し、もう1回クリックするとDIS設定を解除します。

メモ

カメラ機能に関する用語の説明は、次をご参考ください。

- シンプルフォーカス：画面上にユーザーが指定した位置や画面全体を基準として、フォーカスを自動で調節する機能
- プリセット：指定済みPTZカメラの特定位置を呼び出す機能
- トレース：カメラが指定済みPTZカメラのモーションルートに沿って動くように呼び出す機能
- グループ：指定済みの複数のプリセットをセットにして順番に呼び出す機能
- スウィング：2つのプリセット区間をカメラが往復に繰り返し移動する機能
- ツアー：指定済みのプリセットの集合であるグループを複数のセットにして、順番に呼び出す機能
- オートトレース：PTZカメラが動く物体を自動でトレースする機能
- DIS：映像の手ぶれを検知した時、手ぶれを自動で補正して安定したカメラ映像を表示する機能

ブックマークタブについて

再生モードで追加したブックマークツリーを表示、またはブックマークに設定した時点の録画映像を再生できます。また、ブックマーク名を変更したり、ブックマークを削除したりすることができます。

メモ

- ブックマークは10,000個まで追加できます。
- ブックマークの最大個数を超過した場合、最も古いブックマークから削除されます。

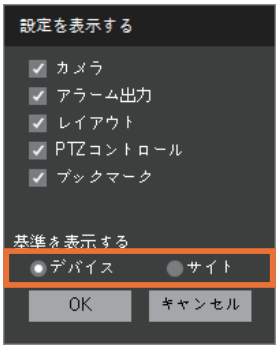
■ ブックマークツリーの確認

- タイムライン下に三角形でブックマークが表示されます。
- ブックマークツリーのブックマークをダブルクリックすると、その映像に移動できます。
- ブックマークツリーから任意のブックマークを選択するとブックマークの再生、名前の**変更及び**追加したブックマークを削除できます。

設定タブについて

ツリータブ右側の⚙ボタンをクリックすると、デバイスリスト表示を**デバイス**または**サイト**基準に変更できます。

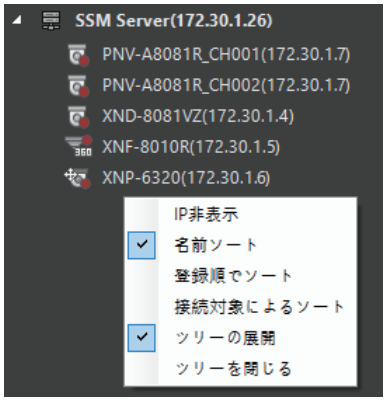
- デバイス：**SSM Core Server**に登録されたデバイスを表示します。
- サイト：サイトに登録されたデバイスリストを表示します。



ショートカットメニューについて

ツリータブのデバイスをソートする、またはツリーをコントロールできます。

ツリータブでマウス右ボタンをクリックすると、ショートカットメニューが表示されます。

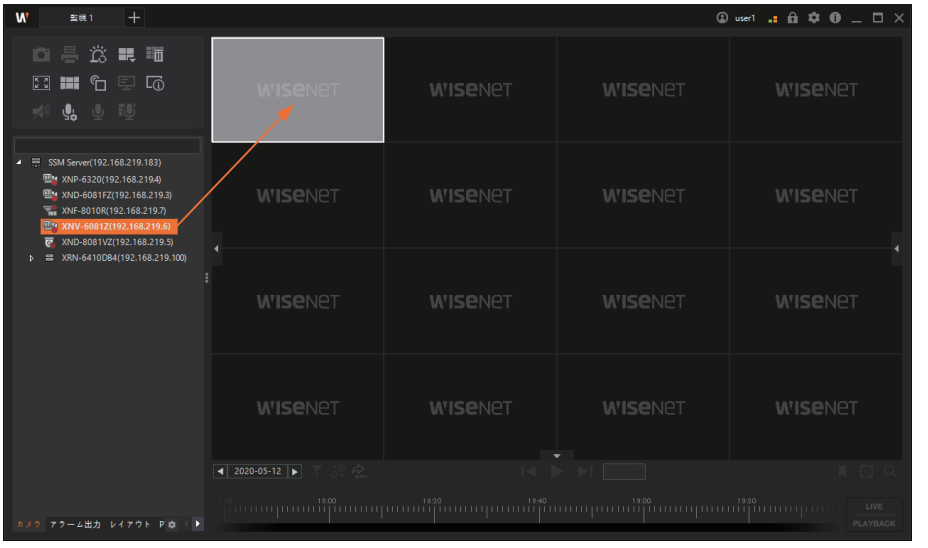


IP非表示	デバイス名を表示する時、デバイスのIPアドレスを表示しません。
名前順にソート	デバイス名を基準にデバイスをソートできます。
登録順でソート	デバイスを登録した順序にソートできます。
接続状態によるソート	デバイスの接続状態を基準にデバイスをソートできます。
ツリーの展開	**SSM Core Server**に登録されたすべてのデバイスを一度に表示します。
ツリーを閉じる	**SSM Core Server**に登録されたすべてのデバイスを隠します。

ライブ映像の監視

SSM Core Serverに登録されたネットワークデバイスのカメラ映像をリアルタイム監視できます。

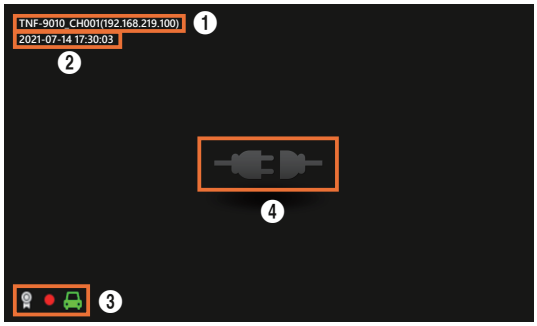
1. **監視**メニューページを開きます。
2. **カメラ**タブから任意のカメラをダブルクリックします。または、カメラタブから任意のカメラを選択した後、映像ウィンドウのタイル上にドラッグします。



メモ

- カメラをダブルクリックすると、映像ウィンドウの左上タイルから順番にカメラ映像が配置されます。
- 同一カメラをダブルクリックし続けると、同一カメラの映像が重複配置されます。
- 「SSM Server」に登録されたDVRやNVRをダブルクリックすると、該当デバイスに登録されたすべての映像が配置されます。
- ツリー上部にある「SSM Server」をダブルクリックすると、サーバーに登録されているすべてのカメラを一回にタイルの上に配置できます。
- 映像タイルをマウスでクリックした後、別の位置のタイルにドラッグすると、タイルの位置を交換できます。
- 映像分割モードで好きな映像をダブルクリックして一つの大きい画面でモニタリングすることができます。この場合、映像の右下にある**<**または**>**ボタンをクリックして前または次の映像を確認できます。

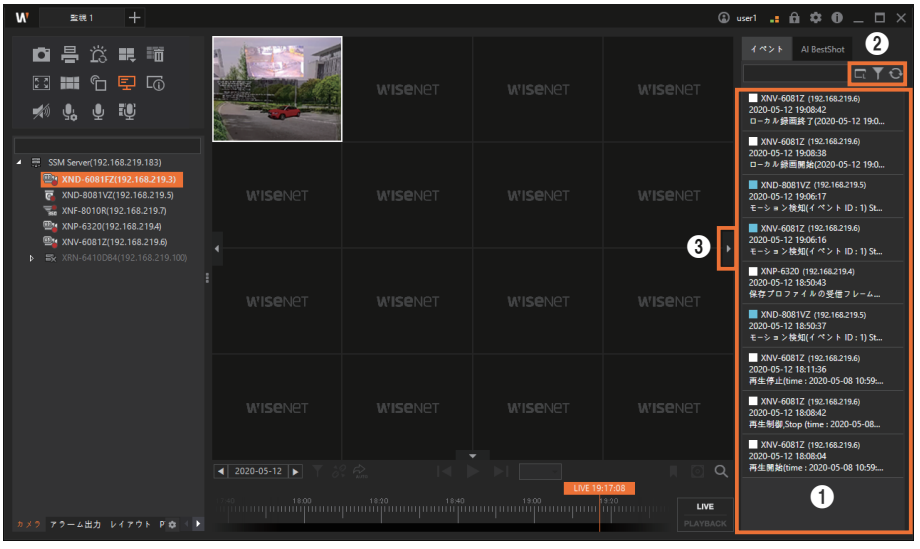
映像ウィンドウの表示情報について

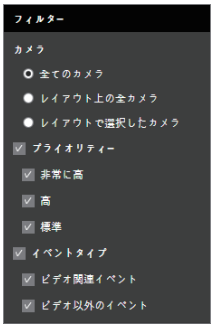
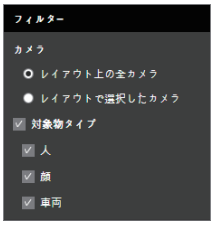


番号	画面構成		機能詳細
❶	カメラ名/IPアドレス		カメラ名とIPアドレスを表示します。 **設定** > **表示** > **ツリーを表示**メニューから**デバイス名を使用**を設定した場合、設定されたカメラ名を表示します。
❷	日付/時間		映像の日付及び時間を表示します。
❸			選択された映像のカメラ証明書が有効である場合、表示されます。
			選択された映像がPCに保存される場合、表示されます。
			駐車検知イベントが発生する場合、表示されます。
❹	映像の 入力状態		ネットワーク接続が不安定でカメラの接続が切れた場合、表示されます。
			ユーザー数の超過で再生権限のない場合、表示されます。
			同時再生が可能なユーザー数を超過した場合、表示されます。
			ビデオが損失された場合、表示されます。
			映像の録画データがない場合、表示されます。
			カメラの接続がない場合、表示されます。
			ライブまたは再生映像の監視権限がない場合、表示されます。

リアルタイムイベントを監視する

SSM Core Serverに登録されたネットワークデバイスのライブイベントを**ライブイベントウィンドウ**で確認できます。



番号	画面構成	機能詳細
❶	イベントリスト	• デバイスで発生したリアルタイムイベントリストを確認したり検索することができます。 • 新しいイベントが発生すると、イベントリストが順番に追加されます。
❷		インスタントビューアを動作する時にリアルタイム映像またはイベント映像を確認できます。設定モードは、**SSM Console Client**プログラムを再起動しても維持されます。
		• 希望する条件でイベントを検索することができます。 • ライブイベントウィンドウに表示するイベントのプライオリティーを設定できます。イベントのプライオリティーは**構成マネージャー** > **イベント** > **管理**メニューから設定できます。 イベントフィルター  AI BestShot フィルター 
		ライブイベントウィンドウに表示されたすべてのイベントリストを消去できます。
❸		イベントウィンドウを開けたり閉じることができます。

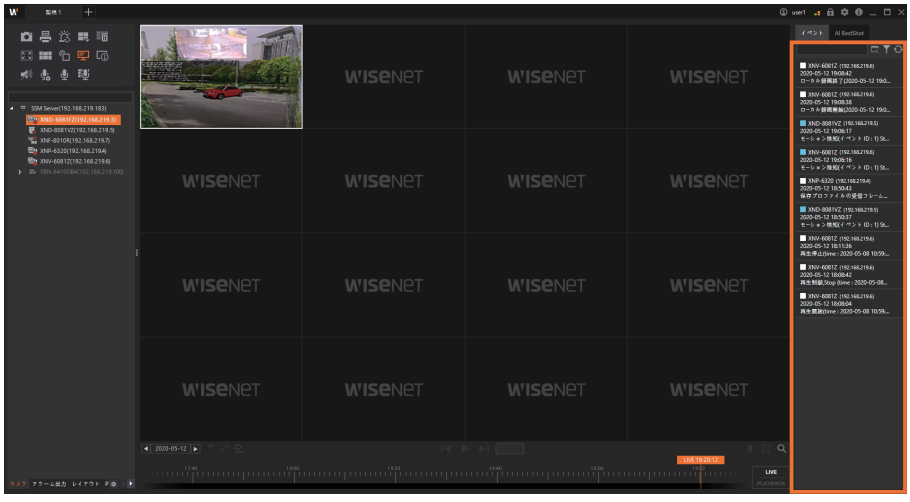
イベント情報プレビュー

イベントが発生すると、ライブイベントウィンドウでそのイベントの情報をプレビューできます。

イベントに関する詳細情報を確認するには、このイベントをダブルクリックしてください。インスタントビューアが動作されます。

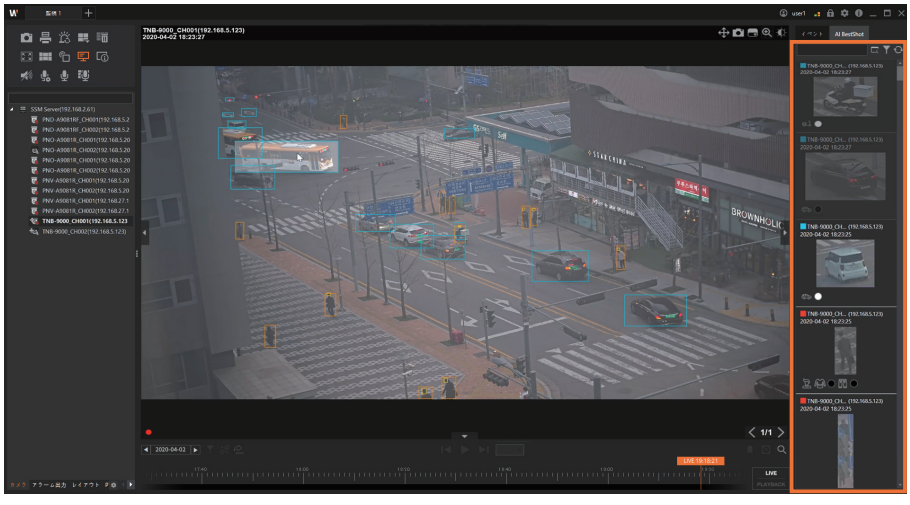
■ イベントタブ

イベントが発生したデバイス名、イベント時間、イベントタイプ別のカラーとイベント名が表示されます。



■ AI BestShot タブ

イベントが発生したデバイス名、イベント時間、イベントタイプ別のカラーとベストショットが表示されます。



インスタントビューアを使用する

イベントをダブルクリックすると、インスタントビューアが動作されイベント発生時点の映像が再生されます。インスタントビューアでは、カメラ名、イベントタイプ、発生時刻等のイベントに関する詳しい情報を確認できます。

メモ

インスタントビューアの機能は、下記リンク内のページをご参考ください。

- タイムラインについて
- 再生速度のコントロール
- イベントを確認する

■ イベントインスタントビューア

■ AI BestShotインスタントビューア

位置	画面構成	機能詳細
❶	デジタルズーム	デジタルズームでタイル上の映像を拡大、または縮小できます。
❷	カメラ名	イベントが発生したカメラの名前を確認できます。
❸	映像タイル	イベントが発生した時点の録画映像を再生する、またはカメラのライブ映像を確認できます。
❹	再生速度コントロール	録画映像を再生する時、再生速度をコントロールできます。詳しい内容は、監視する > 再生速度のコントロールをご参考ください。
❺	Doorオープン	インターホン装置から呼び出しイベントが発生し、アラーム出力でドアロックの解除を要請した時、**通話ボタン検知**イベントが発生します。この場合、ライブモードに切り替えてインターホン装置を両方向通話をしたり、ドアロックを解除できます。
❻	選択したカメラにブロードキャストする	
❼	タイムライン	イベントが発生した時点の録画映像が再生される時、タイムラインをコントロールできます。
❽	ライブ映像に切り替える 再生に切り替える	イベントが発生した時点の録画映像を再生したり、カメラのライブ映像に切り替えられます。
❾	イベント詳細情報	イベントに関する詳しい情報を確認できます。

位置	画面構成	機能詳細
⑩	イベントの確認	イベントを確認した後、イベント状態を変更できます。 イベント状態に関する履歴は、イベントメニューでイベントを確認する時、**イベント詳細情報**の**履歴**ボタンをクリックすると確認できます。詳しい内容はイベントを確認するをご参考ください。
⑪	アラーム詳細	イベントを確認した後、**アラーム詳細**を設定できます。
⑫	確認/キャンセル	監視するイベントの状況を確認した後、終了できます。**確認**ボタンをクリックすると、イベント状態が「確認」に変更されます。

イベント用語について

イベント名	説明
モーション検知	カメラに設定した関心領域でモーションが検知されると発生するイベントです。
ビデオロス	DVR、NVR、エンコーダデバイスからカメラ映像を受信できない時に発生するイベントです。
IVA（インテリジェント動画分析）	IVA（インテリジェント動画分析）イベント全体をグループ化して検索できます。
交差地点	カメラに設定した仮想ラインを通過する物体が検知されると発生するイベントです。
進入	カメラに設定した仮想領域内に動く物体が外部から内部に進入すると発生するイベントです。
退出	カメラに設定した仮想領域内に動く物体が内部から外部に退出すると発生するイベントです。
出現/消失	カメラに設定した仮想領域内に存在していなかった物体が領域内に一定時間以上留まっている、または領域内にいた物体が一定時間以上存在していない場合に発生するイベントです。
不正操作	カメラ映像が遮られる、またはカメラの位置が変更されると発生するイベントです。
オートトレース	カメラ映像内で動く物体を自動で追跡すると発生するイベントです。
顔認識	カメラ映像で人物の顔を検知すると発生するイベントです。
サウンド検出	カメラに設定したレベル以上の音声が検知されると発生するイベントです。
接続に失敗しました	カメラと接続されない時に発生するイベントです。
カメラ接続	カメラと接続される時に発生するイベントです。
カメラ切断	カメラと接続が切断される時に発生するイベントです。
焦点ぼけ検知	カメラレンズのフォーカスのぼやけを検知すると発生するイベントです。
侵入	カメラに設定した仮想領域内に動く物体を検知すると発生するイベントです。
徘徊	カメラに設定した仮想領域内に徘徊する物体の動きを検知すると発生するイベントです。

イベント名	説明
霧検知	カメラに霧がかかる、または天気が曇っている映像が検知されると発生するイベントです。
叫び声	カメラが人の叫び声などを検知した時に発生するイベントです。
銃声	カメラが連続的に鳴らない銃声を検知した時に発生するイベントです。
爆発	カメラが爆発音を検知した時に発生するイベントです。
ガラス破壊	カメラがガラス破壊音を検知した時に発生するイベントです。
温度変化検知	カメラに設定した関心領域で急激な温度変化が起こった時に発生するイベントです。
衝撃検知	カメラに衝撃や震動が検知される、または物理的な位置変化が検知された時に発生するイベントです。
映像録画警告	保存プロファイルの受信フレームレートが設定値より低い場合、イベントが発生します。
対象物検知(人) 対象物検知(車両) 対象物検知(顔) 対象物検知(ナンバープレート)	カメラに設定した人、顔、車両またはナンバープレートのような対象物を認識するとイベントが発生します。
顔マスク検出	カメラ映像にマスクを着用したり、着用していない人の顔を認識するとイベントが発生します。
発熱検知	カメラに設定したレベル以上の温度が検知される時、イベントが発生します。
屋内の適正人数管理(超過) 屋内の適正人数管理(未満)	カメラに設定した屋内の適正人数を超過したり、未満の場合にイベントが発生します。
駐車検知	車両が駐車場に駐車したり出車した場合に発生するイベントです。
ソーシャルディスタンス検知	カメラに設定した距離より人との距離が近くなると発生するイベントです。
通話ボタン検知	カメラに通話要請が検知されると発生するイベントです。
不正操作スイッチ検知	カメラの不正操作スイッチが検知されると発生するイベントです。

タイル映像のコントロール

カメラ映像を監視しながら、タイル上の映像をコントロールできます。

タイルのコントロール

映像タイル上の機能アイコンを利用して、以下の複数機能を簡単に使用することができます。

画面構成	機能詳細
	メタデータ共有機能に対応するカメラ映像の場合、ボタンをクリックするとメタデータが全てのチャンネルに共有されます。
	ワイパー機能に対応する映像の場合、ボタンをクリックすると一定時間、カメラのワイパーが動作した後に自動で停止します。
	PTZカメラのオートトラッキング機能を開始したり中止することができます。 トラッキング対象を「Alt + クリック」するとオートトラッキングが開始されます。
	デジタルPTZプロファイルの場合、オートトラッキング機能を使用することができます。 トラッキング対象を「Alt + クリック」してオートトラッキングする機能は使用できません。
	熱カメラ機能に対応する映像の場合、好きな地点をクリックして温度情報を確認できます。
	PTZカメラの動作を制御できます。 PTZ制御モードに進入したり終了します。
	タイルの映像をキャプチャし、.jpgで保存できます。キャプチャした画像ファイルの保存パスは**SSM Console Client**の設定で変更できます。
	タイルの映像をPCに保存できます。ボタンをクリックするとPCに映像を保存し、もう1回クリックすると保存を中止します。
	デジタルズームでタイル上の映像を拡大、または縮小できます。
	動画の輝度やコントラストを調整したり、初期値に設定することができます。

PTZカメラを制御する

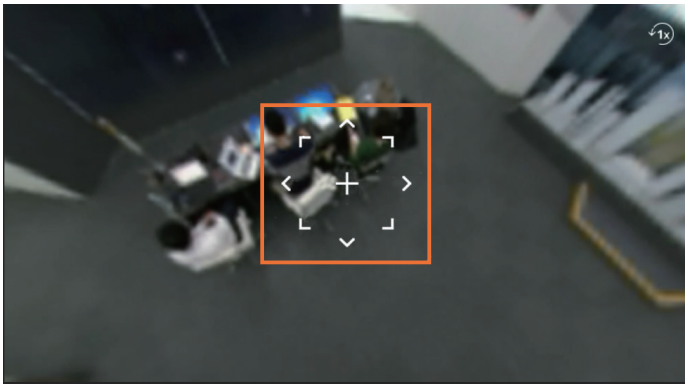
をクリックすると、画面の中央に ✚ が表示され、PTZ 制御モードに進入します。

メモ

- カメラによってPTZ制御機能&速度に差があります。

■ カメラの方向を細かく調整する

✚にマウスオーバーすると8方向キーが表示され、マウスが方向キーのエリアから外れると方向キーが消えます。8方向キーを一回ずつクリックしてカメラの方向を細かく調整することができます。方向キーをクリックし続けて好きな方向に移動してください。



■ カメラの後方に素早く移動する

✚をクリックした後、ドラッグすると好きな方向に画面が移動します。

ドラッグ距離によって画面の移動速度を調整することができます。

■ 画面中央に移動する

画面の特定位置をクリックすると、該当位置の映像が画面の中央に移動します。

■ 選択エリアをズームインする

画面の特定エリアをドラッグすると、選択されたエリアが画面の中央に移動してズームインされます。

■ 映像をズームイン&ズームアウトする

マウスホイールを利用して映像をズームインしたりズームアウトすることができます。好きなエリアをドラッグして映像をズームインすることができます。元のサイズにズームアウトするには、をクリックしてください。

ショートカットメニューについて

タイル上でマウスの右ボタンをクリックすると、**ショートカットメニュー**が表示されます。**ショートカットメニュー**は監視モードによって異なって表示される場合があります。

動画を消去する	選択したタイルのカメラ映像を閉じることができます。
再生	ライブモードから再生モードに切り替えられます。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
ライブ	再生モードからライブモードに切り替えられます。 再生モードでのみ使用できる機能です。
再生同期	再生モードで複数のカメラ映像を再生する時、全てのカメラの再生時間を同じ時間で再生できます。再生モードでのみ使用できる機能です。
OSD	カメラのタイトル、日付/時間を映像上に表示できます。
映像情報	選択したタイルの映像情報を表示できます。
キャプチャ	選択したタイルの映像をキャプチャし、.jpgで保存できます。キャプチャした画像ファイルの保存パスは**SSM Console Client**の設定で変更できます。
印刷	選択したタイルの映像を印刷できます。
ローカル録画	選択したタイルの映像をPCに保存できます。ボタンをクリックするとPCにカメラ映像を保存し、もう1回クリックすると保存を中止します。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
デバイス録画	選択したタイルの映像をデバイスに保存できます。ボタンをクリックするとデバイスにカメラ映像を保存し、もう1回クリックすると保存を中止します。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
聞く	カメラから受信される音声を聞くことができます。ボタンをクリックするとカメラの音声を聞くことができ、もう1回クリックすると無音設定になります。
マイク オン	選択したタイルのカメラで会話を実行します。 ライブモードでのみ使用できる機能です。 **メモ** 会話はマイク機能に対応しているカメラでのみ使用できます。
選択したカメラにブロードキャストする	選択したタイルのカメラで好きなオーディオ音声ファイルを放送することができます。
壁へ投光する・ビデオウォールで表示する	選択したタイルの映像&音声をビデオウォールの好きな位置に出力できます。

映像比率固定	カメラ映像の解像度の水平/垂直比率を維持したまま映像画面を拡大または縮小し、タイルのサイズに合わせて映像を表示できます。
実サイズ	カメラ映像の実際の解像度サイズで映像を表示できます。
反転	タイルの映像を反転させることができます。
曇り止め	霧が出ている、または天気が曇っている日のカメラ映像を補正できます。 ▶ボタンをクリックすると、設定値が表示されます。**無効**に設定すると曇り止め機能を使用せず、**オート**に設定すると周辺環境を検知してカメラが自動で映像を補正できます。「1-10」(以下、曇り止めレベル)を設定するとユーザーが周辺環境を見ながら直接補正量を設定できます。曇りの量が減少しても、設定した曇り止めレベルに応じて機能を連続して実行するために、**マニュアル**に設定できます。 曇り止めレベルが高いと、映像がより鮮明に表示されます。霧の程度が弱い時に曇り止めレベルを高くすると、画面が暗く見えることがあります。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
すべてのアラームをリセット	映像タイルに表示されたすべてのアラーム表示を削除できます。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
プロファイル	カメラが対応しているプロファイルリストを表示し、ライブ映像のプロファイルを変更できます。 ライブモードでのみ使用できる機能です。
プロパティ	選択したタイルのカメラのプロパティを確認できます。プロパティのダイアログボックスでカメラ名、デバイスモデル、映像解像度、ビデオ及び音声コーデック、カメラ機能を確認できます。

映像レイアウトを使用する

映像画面を様々な形に分割して複数のカメラ映像を一度に監視できます。カメラ映像は**共有レイアウト**、**マップレイアウト**、**ユーザー・レイアウト**に配列できます。また、シーケンス機能を使用すると、複数のレイアウトを順番に切り替えながらカメラ映像を監視できます。

共有レイアウトについて

構成マネージャーで指定済みのレイアウトを使用して、カメラ映像を簡単に監視できます。共有レイアウトは**構成マネージャー** > **設計** > **レイアウト**から設定できます。

メモ

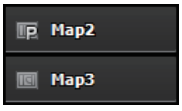
共有レイアウトは同じドメインに登録されたすべてのユーザーが使用できます。

マップレイアウトについて

分割映像タイルではない地図や平面図上でカメラ映像を監視できます。マップレイアウトは**構成マネージャー** > **設計** > **マップ**から設定できます。

マップレイアウト画面の制御

任意のマップレイアウトをダブルクリックすると、設定されたマップが表示されます。マップの右上にマウスオーバーするとコントロールボタンが表示され、マップレイアウトを移動／ズームイン／ズームアウトすることができます。

位置	画面構成	機能詳細
❶		マップレイアウトボタンをダブルクリックし、任意のマップに移動できます。 • 当該マップのカメラからイベントが発生すると、マップボタンの背景カラーが点滅します。
❷		カメラアイコンをダブルクリックすると、映像ウィンドウが表示されます。 • 当該カメラからイベントが発生すると、カメラアイコンの背景カラーが点滅します。点滅するアイコンをダブルクリックすると、インスタントビューアが表示されます。
❸		映像ウィンドウをダブルクリックする度に画像サイズがズームインされます。 • 映像ウィンドウの位置を変更したい時は、映像ウィンドウをクリックした後、任意の位置にドロップしてください。 • 映像ウィンドウを削除するには、映像ウィンドウをクリックした後、**Delete**キーを押してください。
❹		マップレイアウトを回転できます。（反時計回り／正面／時計回り） • マウスを右クリックした状態でドラッグすると、マップレイアウトの角度を変更できます。
❺		ボタンに表示された方向にマップレイアウトを移動できます。 （上／下／左／右、左上／左下、右上／右下、中央） • マウスを左クリックした状態でドラッグして任意の位置に移動することができます。
❻		マウスポインタで上または下にドラッグしてマップレイアウトをズームインしたりズームアウトすることができます。 • マウスホイールを利用してズームインしたりズームアウトすることもできます。

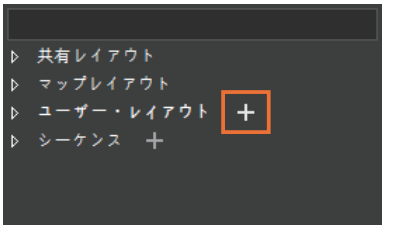
ユーザー・レイアウトについて

ユーザーが追加したレイアウトでカメラ映像を自由に監視できます。

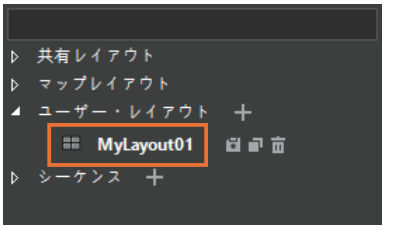
メモ
ユーザー・レイアウトは該当ユーザーのみ使用できます。

■ ユーザー・レイアウトの追加

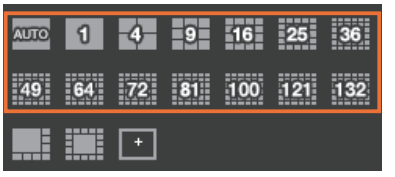
1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. **ユーザー ・レイアウト**右側の**[+]**ボタンをクリックします。



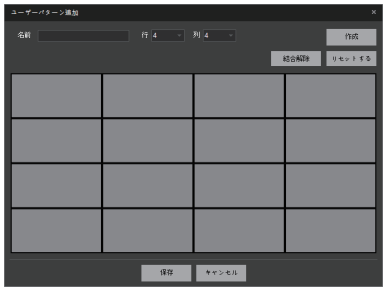
3. 追加されたレイアウトを選択します。



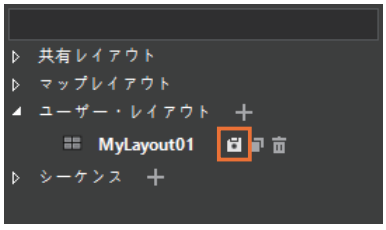
4. **監視**メニューページの左上にある**ツール**タブを選択してください。
   ボタンをクリックして好きな分割画面を選択してください。



- 好きな分割画面を追加するには、+ボタンをクリックしてください。



5. ボタンをクリックして、レイアウト設定を保存します。



■ ユーザー・レイアウトの編集

コピー	ユーザー・レイアウト右側のボタンをクリックすると、ユーザー・レイアウトをコピーできます。
削除	ユーザー・レイアウト右側のボタンをクリックすると、ユーザー・レイアウトを削除できます。
名前変更	ユーザー・レイアウトをダブルクリックすると、ユーザー・レイアウトの名前を変更できます。

レイアウトを変更する

映像ウィンドウのレイアウトを指定済みの様々なレイアウトに変更できます。

1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. **共有レイアウト**、**マップレイアウト**、**ユーザー・レイアウト**から、変更するレイアウトをダブルクリックします。

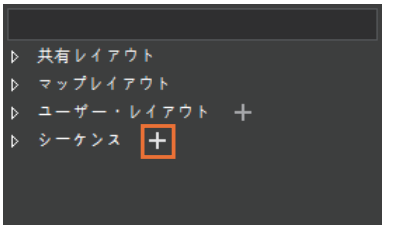
シーケンスについて

複数のカメラ映像を二つ以上の共有レイアウトやユーザーレイアウトに配置した後、レイアウトを順番に切り替えてカメラ映像を監視することができます。

メモ
シーケンスはレイアウトを2つ以上設定することで動作します。

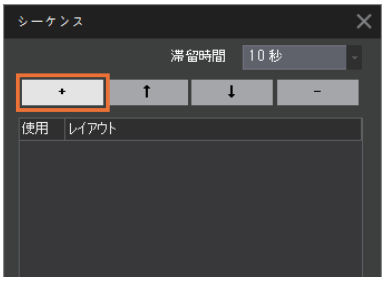
■ シーケンスを追加する

1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. **シーケンス**右側の**[+]**ボタンをクリックします。



3. **シーケンス**ダイアログボックスでシーケンスの**名前**を入力します。

4. **シーケンス**ダイアログボックスの**[+]**ボタンをクリックします。



5. **レイアウト**のドロップダウンリストから追加する共有レイアウトを選択します。

6. **[2]**番から**[4]**番までのステップを1回以上実行し、シーケンスに複数のレイアウトを追加します。
7. **滞留時間**を設定した後、**適用**ボタンをクリックします。

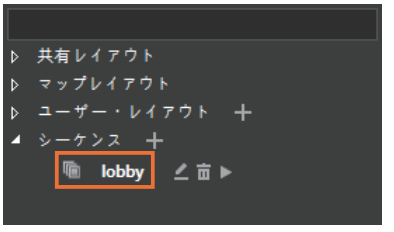
メモ

滞留時間は、現在のレイアウトから次のレイアウトへ転換する時にかかる時間を表しています。

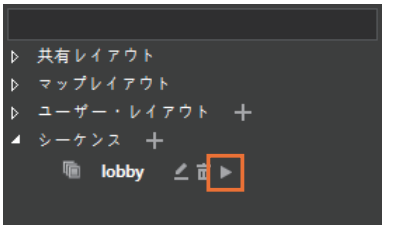
■ シーケンスの再生

シーケンスを再生すると、複数のレイアウトを順番に切り替えながら複数台のカメラ映像を一度に監視できます。

1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. シーケンスリストから任意のシーケンスを選択します。



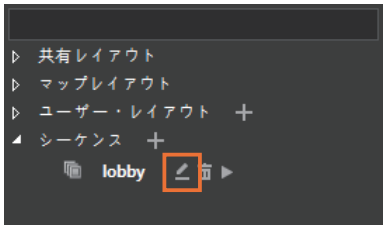
3. シーケンス名右側の▶ボタンをクリックします。



■ シーケンスの編集

指定済みシーケンスの設定値を変更できます。

1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. シーケンスリストから編集するシーケンスを選択します。



3. シーケンス名右側の ボタンをクリックします。
4. **シーケンス**ダイアログボックスで任意の項目を修正します。

   滞留時間、変換待機時間、共有レイアウトを編集できます。また、共有レイアウトの再生順序を変更する、またはシーケンス名を変更できます。
5. **適用**ボタンをクリックします。

■ シーケンスの削除

1. **レイアウト**タブをクリックします。
2. シーケンスリストから削除するシーケンスを選択します。
3. シーケンス名右側の ボタンをクリックします。

録画映像の監視

SSM Core Serverまたはネットワークデバイスに保存した録画映像を検索し、再生できます。カメラの録画映像を日付別、またはイベント別に検索できます。検索した録画映像を再生しながら監視できます。

再生モードに切り替える

カメラのライブ映像を監視している時に、再生モードに切り替えられます。

1. 映像ウィンドウから任意の映像タイルを選択します。
2. 監視メニューページの右下にある LIVE PLAYBACK ボタンをクリックします。
   ライブ時間の5分前に録画映像が再生されます。

- 映像タイルでマウス右側ボタンをクリックして**再生**を選択したり、タイムラインをクリックしても再生モードに切り替わります。特定時間の録画映像を再生するには、タイムラインで時間をクリックしてください。

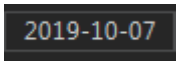
メモ

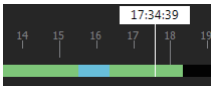
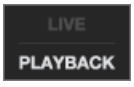
- 再生モードに切り替えると、すべての映像タイルのモードが再生に切り替わります。
- 再生モードに切り替えると、下部のタイムラインには選択したタイルのタイムラインが表示されます。
- 再生モードで LIVE PLAYBACK ボタンをクリックすると、ライブモードに切り替えられます。

タイムラインについて

再生モードに切り替えると、ページ下部のタイムラインに区間表示バーが表示されます。区間表示バーは録画映像がある区間にのみ表示されます。

タイムラインは1日(24時間)単位で表示され、時間をクリックするとその時点の録画映像が再生されます。再生をスタートすると検索日付と再生時間が表示され、再生速度をコントロールしながら監視できます。

番号	画面構成	機能詳細
❶		前の日付の録画映像を検索できます。
❷		検索日付を表し、この日付をクリックするとカレンダーが表示されます。カレンダーから任意の日付をクリックすると、その日付の録画映像を検索できます。詳しい内容は日付で録画映像を検索するをご参考ください。
❸		次の日付の録画映像を検索できます。
❹		イベント項目をフィルタリングし、録画映像を検索できます。
❺		複数の再生映像を同じ時間で同期して再生する、または再生同期を解除できます。(再生同期/個々の再生)
❻		イベントフィルターリングによってタイムラインに表示されたイベント録画映像だけを再生することができます。 (フィルターされたセクションを再生/全部再生)
❼		カメラの録画映像を再生する時、再生速度をコントロールできます。
❽		再生モードで関心のある区間の映像をブックマークとして追加できます。
❾		録画映像をファイルにエクスポートできます。 • 動画をエクスポートする：特定区間の録画映像をファイルにエクスポートします。 • ビデオマスキングをエクスポートする：録画映像においてプライバシー保護が必要な一部の領域をプライバシー領域として設定した後、映像をエクスポートします。 • 一時的なスケジュールをエクスポートする：予約されたスケジュールで映像をエクスポートします。 • エクスポートスケジュール：以前の日付の録画映像を次の日付の指定された時間に毎日自動にエクスポートします。
❿		**アドバンス検索**メニューページに移動できます。

番号	画面構成	機能詳細
⓫		検索日付に録画映像がある場合、タイムラインに区間表示バーが表示されます。
⓬		監視モードを再生またはライブ映像に切り替えることができます。 **メモ** 監視モードを切り替えると、すべての映像タイルのモードが一括変更されます。

■ ショートカットメニューを使用する

タイムラインのライブ録画状態をリフレッシュする、またはバックアップ・検索時に時間区間を設定できます。

時間範囲をリセットする	バックアップ、ブックマーク、検索メニューの時間区間を設定する開始と終了時間のツールヒントが表示されます。時刻設定は、ツールヒントをクリックしたまま左右に動かす、またはツールヒントをダブルクリックして時間値を入力できます。
タイムラインをリフレッシュする	**SSM Core Server**やネットワーク保存デバイスに保存された録画映像を再検索し、ライブ保存状態をタイムラインにアップデートして表示します。

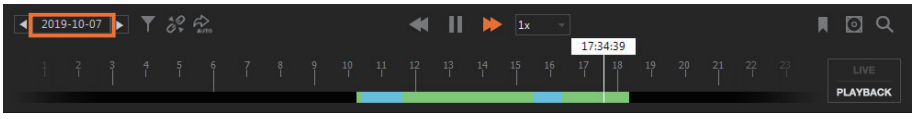
メモ

- タイムラインの区間表示バーは、録画映像のイベントタイプによってカラーが異なって表示されます。詳しい事項はイベントで録画映像を検索するをご参考ください。
- タイムライン上でマウスホイールをスクロールすると、タイムラインを拡大/縮小できます。
- タイムラインをクリックした後左右にドラッグすると、タイムラインの時間を移動できます。

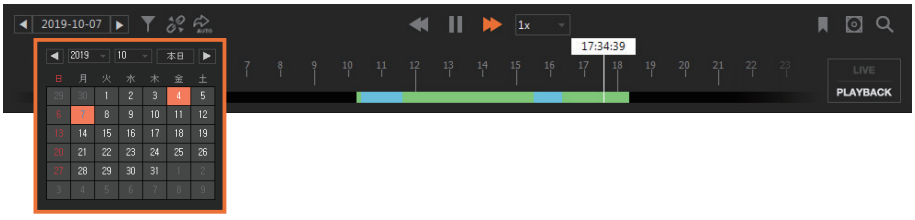
日付で録画映像を検索する

SSM Core Serverまたはネットワーク保存デバイスに保存された録画映像をカレンダーの日付で検索できます。

1. 再生モードに切り替えます。
2. 検索する映像タイルを選択します。
3. 下部のタイムラインで日付をクリックします。



4. カレンダーが表示されたら、任意の日付を選選択します。録画映像がある日付は、オレンジ色のブロックで表示されます。

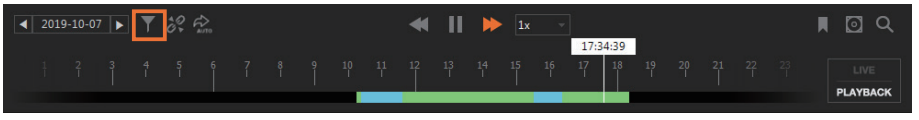


5. 選択した日付のタイムラインが画面に表示されます。タイムラインで再生する時間をクリックすると、該当の時間の映像が再生されます。

イベントで録画映像を検索する

カメラの録画映像をイベントでフィルタリングし、検索できます。

1. 再生モードに切り替えます。
2. 検索する映像タイルを選択します。
3. タイムライン左上の ボタンをクリックします。



4. **フィルター**ダイアログボックスから任意のイベントを選択します。

5. **適用**ボタンをクリックします。フィルタリングしたイベントの録画映像がタイムラインに表示されます。
6. タイムラインに表示されたフィルターリングしたイベントの録画映像を再生するには、**フィルターされたセクションを再生**ボタンをクリックしてください。

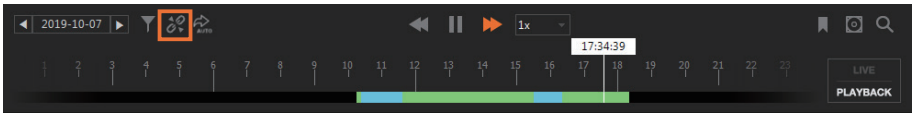
録画イベントの用語を確認する

イベント名	説明
対象物認識	AIカメラに人、車両、顔、ナンバープレートの対象物が認識されると、録画イベントが発生します。
音声分類	カメラに叫び声、銃声、爆発、ガラス破壊などの音声分類イベントが検知されると、録画イベントが発生します。
両方向オーディオ	カメラに送る音声を出力して保存する時に録画イベントが発生します。
アラーム入力	アラーム入力を検知すると、録画イベントが発生します。
自動リカバリー・バックアップ	自動リカバリー・バックアップで保存した録画映像区間を表示します。 自動リカバリー・バックアップは、ネットワークの不安定によりカメラとの接続が切断された時点から再接続される時点までに保存できなかった録画映像を、カメラからバックアップして保存する機能です。
ユーザー定義イベント	構成マネージャーで指定したイベントを検知すると、録画イベントが発生します。
連続	イベントの区分なくカメラ映像を連続して録画する場合を表しています。
マニュアル	保存デバイスに登録されたカメラに録画スケジュールが設定されていない、またはイベント録画が設定されている時のみ**デバイス録画**を使用できます。映像タイルでマウスを右クリックして**デバイス録画**をクリックすると、カメラ映像が保存デバイスに録画されます。

再生同期する

複数の録画映像を再生する時、全ての映像タイルの時間を同じ日付、同じ時間で再生できます。ボタンをクリックするとすべての映像タイルの再生時間が同期され、もう1回クリックすると再生同期が解除され、映像をタイル別に個々に再生できます。

1. 再生モードに切り替えます。
2. 再生時間の基準となるタイルを選択します。
3. タイムライン左上の ボタンをクリックします。すべてのタイルの映像が選択したタイルの日付と時間に合わせて再生されます。



メモ

- 再生同期は、再生同期に対応しているデバイスでのみ使用できます。
- 再生同期を設定すると、タイル別に録画映像を検索できません。
- ボタンをクリックすると、再生同期が解除され映像タイル別に個々の再生が可能です。

再生速度のコントロール

録画映像を再生する時、再生速度をコントロールできます。

	再生中の映像を早戻しして再生できます。 ボタンをクリックする度に-1x、-2x、-4x、-8x、-16x、-32x、-64x、-128x倍速で再生できます。
	再生中の映像を一時停止できます。
	再生中の映像を早送りして再生できます。ボタンをクリックする度に-1x、-2x、-4x、-8x、-16x、-32x、-64x、-128x倍速で再生できます。
	映像を一時停止した状態で前のフレームに移動できます。
	録画映像を再生できます。
	映像を一時停止した状態で次のフレームに移動できます。
1x	現在の再生速度を表示し、好きな再生速度を選択することができます。デバイス対応有無によって1/2x、1/4xのスロー再生を選択できます。

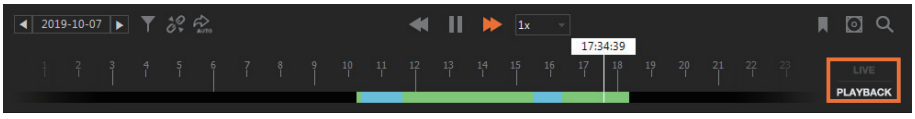
ブックマークの追加

再生モードで関心のある区間の映像をブックマークとして追加できます。追加したブックマークは**ブックマーク**タブから確認できます。詳しい内容は、ブックマークを使用する > ブックマークの追加をご参考ください。

ライブモードに切り替える

カメラの録画映像を再生している時に、ライブモードに切り替えられます。

1. 映像ウィンドウから任意の映像タイルを選択します。
2. 監視メニューページの右下にある LIVE PLAYBACK ボタンをクリックします。または、映像タイルでマウスを右クリックして**ライブ**をクリックします。



メモ

- ライブモードに切り替えると、すべての映像タイルのモードがライブに切り替わります。
- ライブモードに切り替えると、下部のタイムラインは空白のタイムラインに初期化されます。
- ライブモードで LIVE PLAYBACK ボタンをクリックすると、再生モードに切り替えられます。
  ライブ専用カメラの場合、再生モードに切り替えできません。

録画映像ファイルとしてエクスポートする

SSM Core Serverまたはネットワーク保存デバイスに保存した録画映像をファイルとしてエクスポートできます。録画映像をファイルとしてすぐにエクスポートする、またはスケジュールを設定した後、予約したスケジュールにファイルとしてエクスポートできます。また、録画映像の一部領域をプライバシー領域として隠した後、ファイルとしてエクスポートすることもできます。

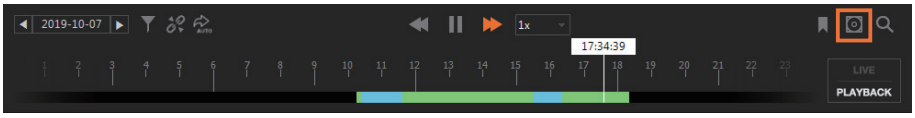
メモ

- エクスポートは、**アドバンス検索**メニューでも使用できます。
- AVIファイル形式で録画映像をエクスポートすると、下記のような場合に新しいファイルが作成されます。
  - 録画映像のビデオ解像度が変更される時
  - 録画映像の音声またはビデオ映像コーデックが変更される時
  - エクスポートした映像ファイルのサイズが2GB以上の時
- SECファイル形式で録画映像をエクスポートすると、保存パスに2つのファイルが作成されます。
  - SEC拡張子ファイルはエクスポートした録画映像です。
  - EXE拡張子ファイルはビューアプログラムです。
- バックアップした映像ファイルは、下記のような方法で録画映像を再生できます。
  - SECファイルは同じ名前のEXEファイルを実行すると、SECファイル専用動画再生プログラムである**バックアップビューア(BACKUP VIEWER)**で確認できます。
  - AVIファイルは一般的な動画再生プログラムで確認できます。

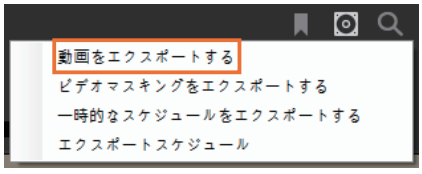
動画をエクスポートする

録画映像の一部区間をファイルにエクスポートできます。

1. 再生モードに切り替えます。
2. エクスポートする映像タイルを選択します。
3. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。



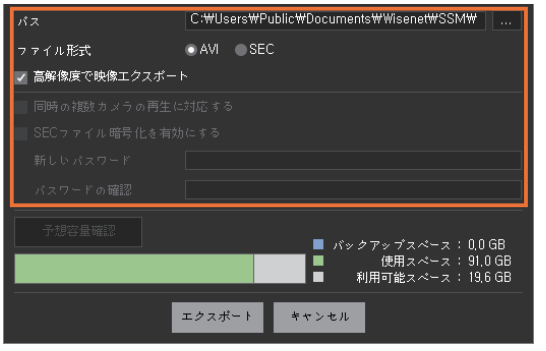
4. **動画をエクスポートする**をクリックしてください。



5. **動画をエクスポートする**のダイアログボックスから任意のカメラを1つ以上選択します。複数のカメラ映像を同時にエクスポートできます。

6. タイムラインでエクスポートする録画映像の時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は時間区間を設定するをご参考ください。

7. バックアップファイルを保存する**パス**を設定します。



8. 映像を高解像度にエクスポートするには、**高解像度で映像エクスポート**のチェックボックスをクリックしてください。
   - 使用を選択しない場合、低解像度に映像をエクスポートします。
   - 低解像度と高解像度の映像を同時に保存する場合のみ動作します。
9. **ファイル形式**を設定します。

   SECファイルを選択すると、下記のようなオプションを使用できます。
   - **同時の複数カメラの再生に対応する**：複数の映像ファイルをバックアップした後、バックアップビューアで再生する時に複数カメラの録画映像を同時に再生できます。
   - **SECファイル暗号化を有効にする**：SECファイル形式を使用する場合、バックアップファイルに暗号化設定ができます。

メモ
- バックアップしたファイルを**バックアップビューア**で再生する時、パスワードを入力することで再生できます。
- パスワードを紛失した場合、バックアップしたファイルの再生ができません。

10. エクスポートしたファイルの予想容量を確認するには、**予想容量確認**ボタンをクリックしてください。
    - **SSM Core Server**に保存された録画映像の容量のみ確認できます。
    - **SSM Core Server**ではない他のネットワークストレージデバイスのカメラを含めて、数台のカメラが選択された場合には該当機能は無効になります。
11. **エクスポート**ボタンをクリックします。

    キャンセルボタンをクリックすると、エクスポートがキャンセルされます。

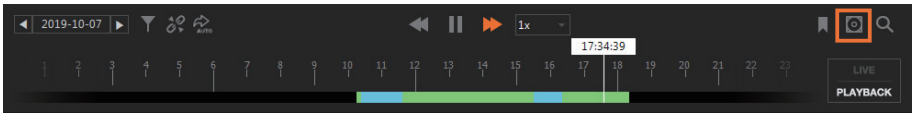
エクスポート映像をマスキングする

映像の一部領域を、指定した時間プライバシー領域として設定した後、映像をエクスポートできます。プライバシー領域はプライバシー保護が必要な領域や監視が不要な領域に設定できます。

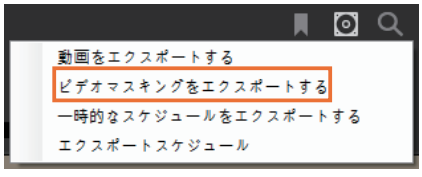
メモ
プエクスポート映像マスキングはSECファイル形式のみ対応します。

■ マスキングモードを選択する

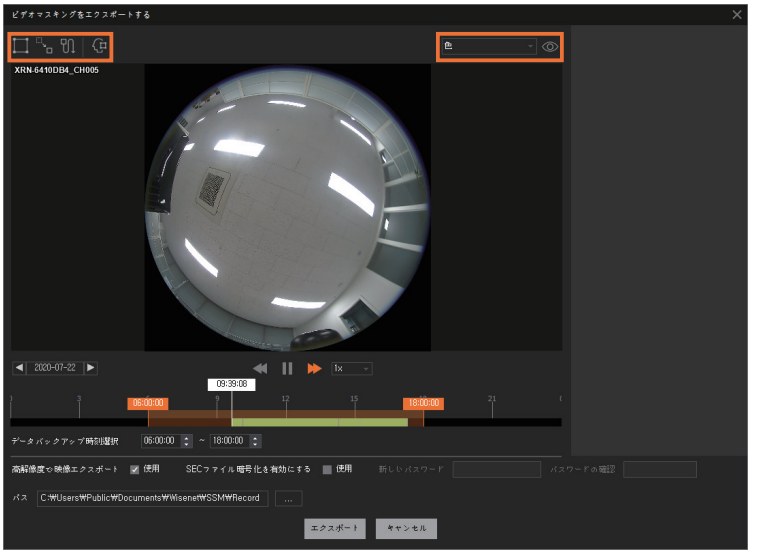
1. エクスポートする映像タイルを選択します。
2. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。



3. **ビデオマスキングをエクスポートする**をクリックしてください。

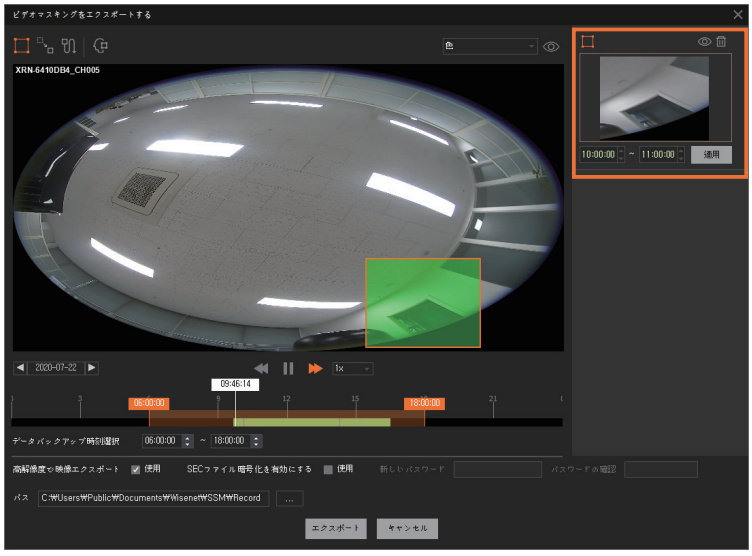


4. **ビデオマスキングをエクスポートする**のダイアログボックスでマスキングモードを選択してプライバシー領域を設定してください。



- **静的マスキング**: 特定位置に設定したプライバシー領域を設定した時間の間にマスキングします。最大16個の領域指定や領域別の適用時間を設定することができます。
- **線形パスマスキング**: 特定位置をプライバシー領域に設定して、その位置を直線に繋ぐルートに沿って移動しながらマスキングします。
- **マウストラックマスキング**: 映像が再生中のプライバシー領域をクリックして希望する位置まで自由に移動したルートに沿ってマスキングします。
- **AI自動マスキング**: AIカメラの場合、検索条件(人/顔/車両/ナンバープレート)に選択された対象物をすべてマスキングします。
- 色をクリックして希望するマスキング形態を選択して、をクリックしてプレビューすることができます。

5. 設定したプライバシー領域はマスキング領域リストに追加されます。プライバシー領域を適用する時間区間を設定して**適用**ボタンをクリックしてください。



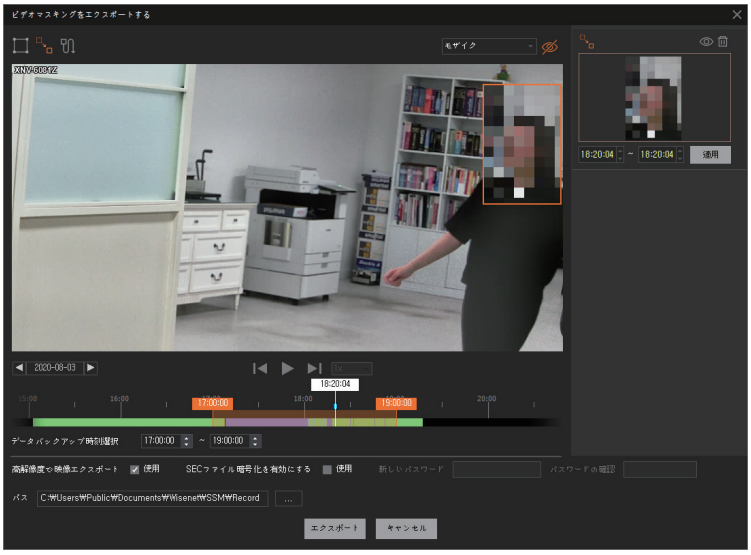
- をクリックして設定したプライバシー領域を削除することができます。
- をクリックしてプライバシー領域を画面に表示したり、非表示することができます。

6. エクスポートする録画映像の時間範囲を設定してください。

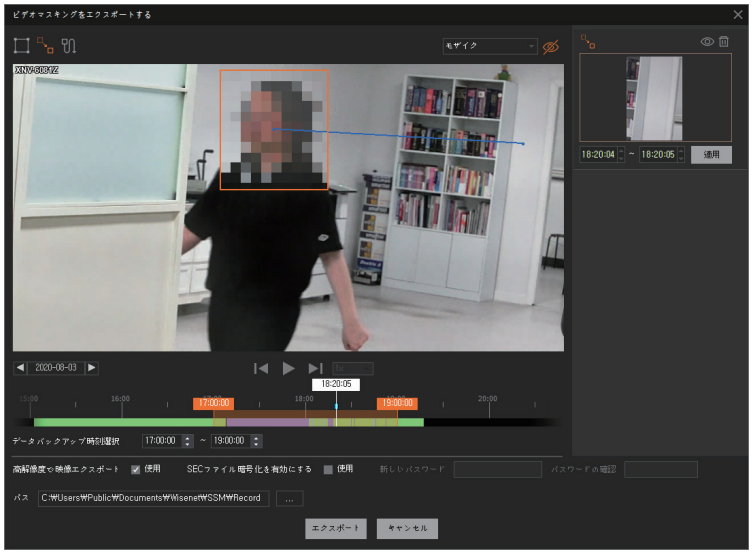
7. 映像を高解像度でエクスポートするには、**高解像度で映像エクスポート**の**使用**にチェックしてください。
   - 有効を選択しない場合、低解像度に映像をエクスポートします。
   - 低解像度や高解像度の映像を同時に保存する場合のみ動作します。
8. SECファイルに暗号化を使用するには、**SECファイル暗号化を有効にする**の**使用**にチェックした後、パスワードを設定してください。
9. エクスポートファイルを保存する**パス**を設定してください。
10. **エクスポート**ボタンをクリックしてください。

■ 直線ルートマスキングを設定する

1. エクスポートする映像タイルを選択します。
2. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。
3. **ビデオマスキングをエクスポートする**をクリックしてください。
4. を選択してください。
5. 映像を再生した後、マスキングする対象物が画面に表示されたら一時停止してください。
6. マスキングする対象物が隠されるようにマウスをドラッグして四角領域を設定してください。
   最初領域を設定する時、マスキング領域リストに追加されます。



7. 映像を再生した後、対象物が移動するルートに沿ってマスキング領域の位置やサイズ修正が必要な部分で一時停止してください。

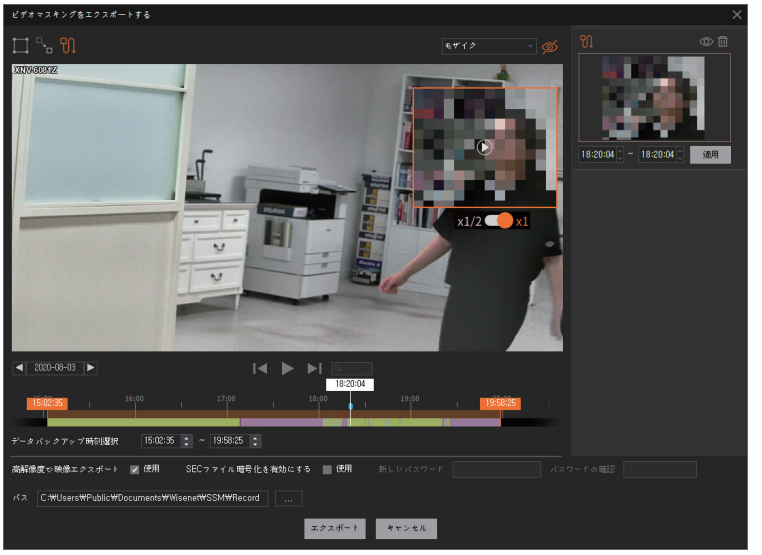


8. 最初設定した四角領域をクリックして修正が必要な位置にドロップした後、マスキング領域の位置やサイズを修正してください。
   必要に応じて繰り返してマスキング領域を設定することができます。

9. 設定が完了すると、このマスキング映像を再生して確認したり設定を変更することができます。

■ マウストラッキング・マスキングを設定する

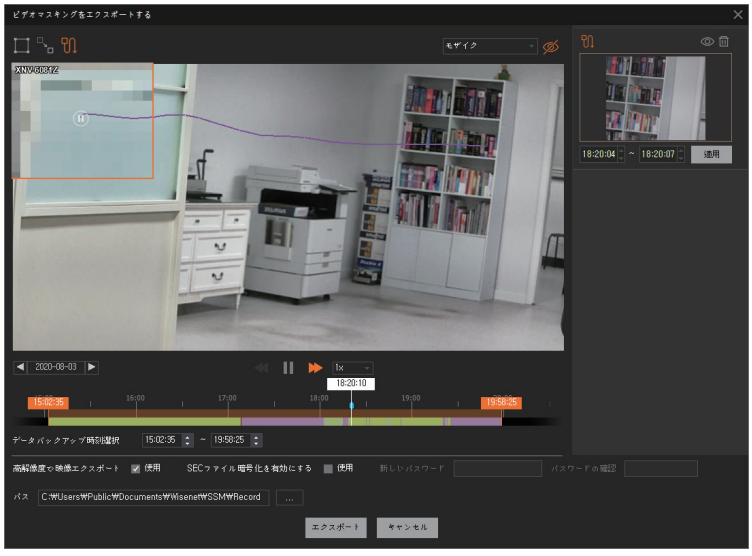
1. エクスポートする映像タイルを選択します。
2. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。
3. **ビデオマスキングをエクスポートする**をクリックしてください。
4. を選択してください。
5. 映像を再生した後、マスキングする対象物が画面に表示されたら一時停止してください。
6. マスキングする対象物が隠されるようにマウスをドラッグして四角領域を設定してください。
   最初領域を設定する時、マスキング領域リストに追加されます。



7. x1/2 x1 ボタンをクリックして、映像再生速度を選択してください。
   内の▶ボタンをクリックしてください。映像が再生されます。

8. 映像が再生されると、四角領域をクリックして移動する対象物に沿ってドラッグしてください。

9. マスキングを終了したい位置でドロップした後、四角領域内の⏸ボタンをクリックしてください。
映像が停止されマスキングが終了されます。



10. 設定が完了すると、このマスキング映像を再生して確認したり設定を変更することができます。

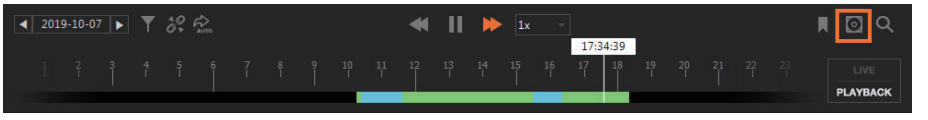
一時的なスケジュールをエクスポートする

エクスポートスケジュールを設定した後、予約したスケジュールに録画映像をファイルとしてエクスポートできます。一時的なスケジュールのエクスポートは、1回のみ実行されます。

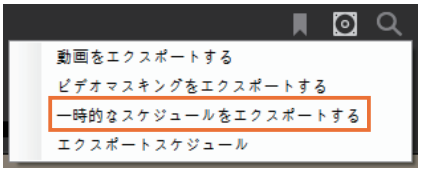
■ スケジュール追加モードを使用する

一時的なスケジュールのエクスポートを設定できます。

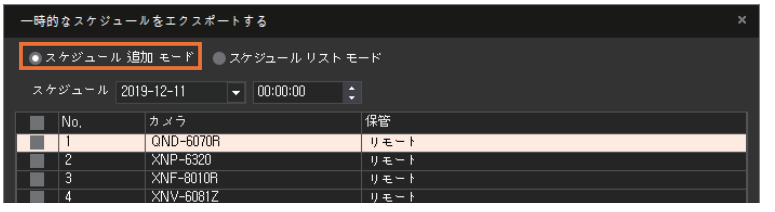
1. 再生モードに切り替えます。
2. エクスポートする映像タイルを選択します。
3. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。



4. **一時的なスケジュールをエクスポートする**をクリックしてください。



5. **一時的なスケジュールをエクスポートする**のダイアログボックスから**スケジュール追加モード**を選択します。

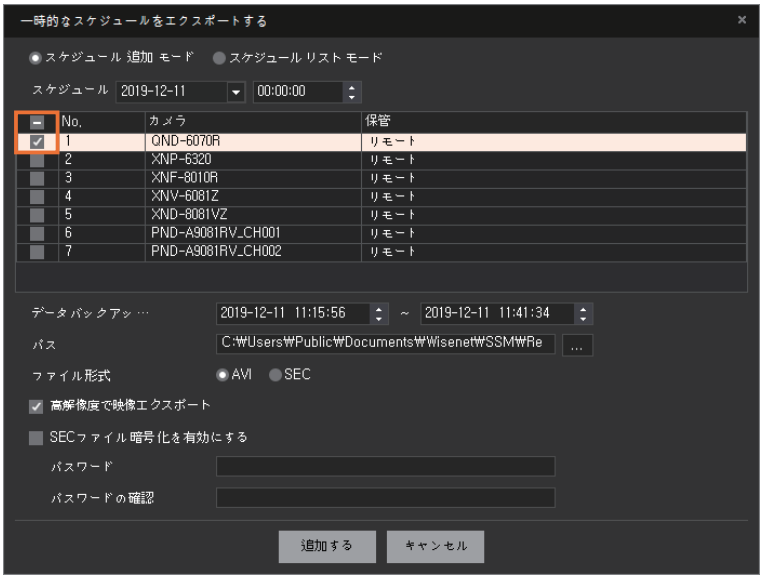


メモ

ライブモードではカメラリストが表示されません。

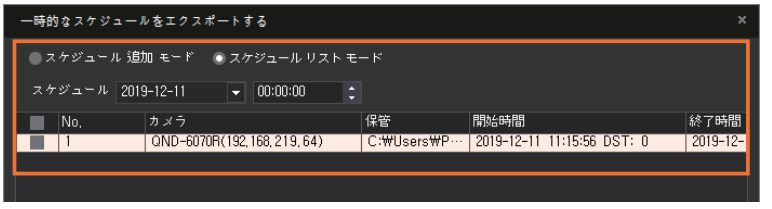
6. エクスポート**スケジュール**を設定します。日付/時間が表示されたスクロールボックスで矢印をクリックして設定する、または手動入力できます。

7. 任意のカメラを1つ以上選択します。複数のカメラ映像に対して同時にバックアップ予約が可能です。



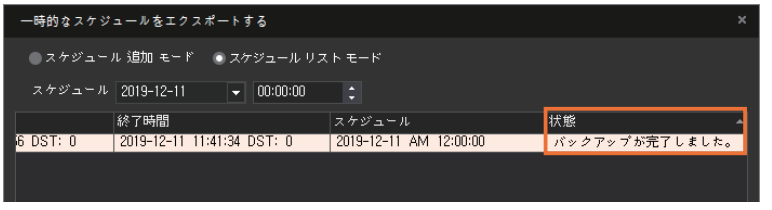
8. バックアップする録画映像の時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は時間区間を設定するをご参考ください。
9. バックアップファイルを保存するパスを設定します。
10. ファイル形式を設定します。

11. 映像を高解像度にエクスポートするには、**高解像度で映像エクスポート**のチェックボックスをクリックしてください。
    - 使用を選択しない場合、低解像度に映像をエクスポートします。
    - 低解像度と高解像度の映像を同時に保存する場合のみ動作します。
12. SECファイルの暗号化を有効にするには、**SECファイル暗号化を有効にする**メーニューを選択します。
13. **追加する**ボタンをクリックします。**スケジュールリストモード**に変更され、追加したスケジュールを確認できます。



■ スケジュール リスト モードを使用する

一時的なスケジュールをエクスポートするのダイアログボックスから**スケジュールリストモード**を選択すると、スケジュールリスト全体を確認できます。スケジュールテーブルの**状態**欄でスケジュールバックアップ完了状況を確認でき、スケジュールを修正、または削除することもできます。



スケジュールをバックアップする

SSM Core Serverに保存した日付以前の録画映像を以降の日付の指定時刻に、毎日自動でバックアップできます。また、設定済みのスケジュールバックアップ状態を確認できます。

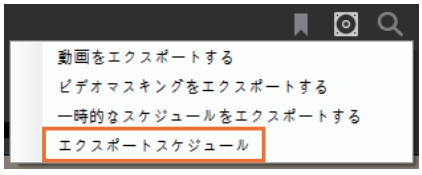
メモ

監視メニューの**動画をエクスポートする**、**ビデオマスキングをエクスポートする**、**一時的なスケジュールをエクスポートする**は保存されたカメラの録画映像を一回だけファイルにエクスポートすることができます。

■ スケジュールを設定する

SSM Core Serverに登録されたデバイスの前の日付の録画映像を次の日付の指定時刻に、毎日自動でバックアップするようにスケジュールを設定できます。

1. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。
2. **エクスポートスケジュール**をクリックしてください。



3. **デバイスリスト**から任意のデバイスを選択します。

4. ドロップダウンリストからスケジュールを選択します。

5. エクスポートのリピート再生有無を設定してください。**繰り返す**のチェックを解除すると、エクスポートを一回だけ実行して機能が解除されます。

6. **スケジュールバックアップ**の**使用**にチェックしてください。

7. **スケジュールバックアップ**バックアップを実行する**開始時刻**を設定します。スクロールボックスのボタンをクリックする、またはセルに時間を入力できます。

8. バックアップ**ファイル形式**を設定します。

   - **SEC**: ハンファテックウィンの動画ファイル形式です。SECファイルと同じ名前のEXEファイルを実行すると、SECファイル専用動画再生プログラムであるバックアップビューア(BACKUP VIEWER)でバックアップ映像を確認できます。
   - **AVI**: 一般的な動画再生プログラムでバックアップ映像を確認できます。

9. SECファイルを暗号化するには、**SECファイル暗号化を有効にする**の**使用**にチェックしてください。

メモ

- バックアップしたファイルを**バックアップビューア**で再生する時、パスワードを入力することで再生できます。
- パスワードを紛失した場合、バックアップしたファイルの再生ができません。

10. スケジュールバックアップする映像の**イベントタイプ**を選択します。
11. スケジュールバックアップファイルを保存するパスを設定します。
12. スケジュールバックアップした映像を自動削除するには、**自動削除の設定**を指定します。
    - **最小空き容量**：バックアップ映像を保存するディスクの最小空き容量を設定できます。ディスクの使用可能な空き容量が指定した最小空き容量に到達すると、それ以上ディスクに映像をバックアップできません。
    - **ファイル保持期間**：設定した期間が過ぎると、バックアップした映像ファイルを自動で削除するように設定できます。
    - **上書き**：ディスクに保存可能な空き容量がない場合、以前にバックアップしたファイルを上書きするように設定できます。
13. **適用**ボタンをクリックします。

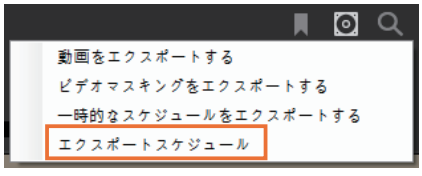
■ バックアップ状態を確認する

デバイス別にスケジュールバックアップした状態を**デバイスリスト**の**状態**欄で確認できます。

■ スケジュールを編集する

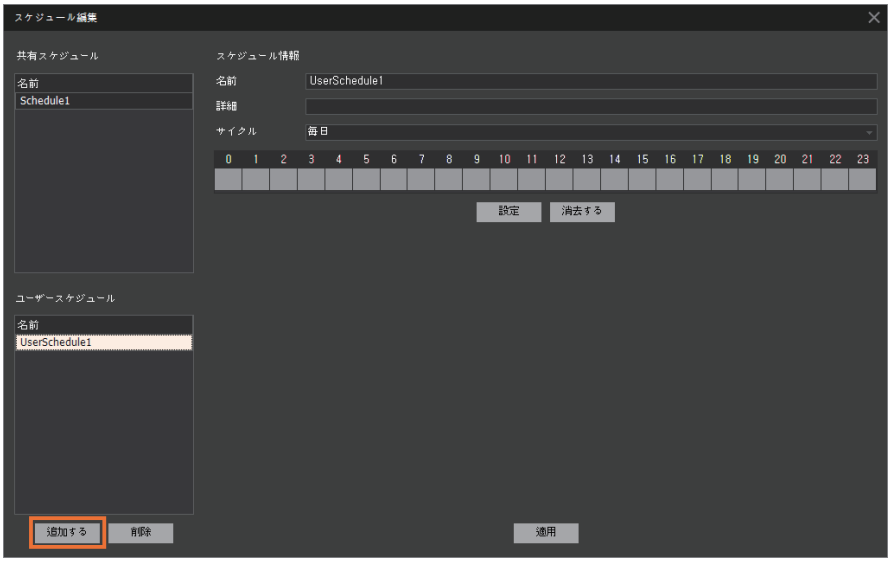
エクスポートするスケジュールを追加したり、修正または削除することができます。

1. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。
2. **エクスポートスケジュール**をクリックしてください。



3. **エクスポートスケジュール**のダイアログボックスで**スケジュール編集**の**編集する**ボタンをクリックしてください。

4. **ユーザースケジュール**下の**追加する**ボタンをクリックしてください。



メモ

共有スケジュールは、**構成マネージャー** > **システム** > **スケジュール**で設定できます。

5. **スケジュール情報**で**名前**と**詳細**を入力してください。
6. スケジュール**サイクル**を選択してください。
   - **毎日**：1日単位でスケジュールを設定します。
   - **毎週**：1週単位でスケジュールを設定します。
7. サイクル下の時間セルでスケジュールに設定する時間を選択した後、**設定**ボタンをクリックしてください。
   - 設定を消去するには消去するエリアを選択した後、**消去する**ボタンをクリックしてください。
   - [**Ctrl**]キーを使用したり、マウスにドラッグして複数区間の時間セルを選択することができます。
   - 選択した時間セルをダブルクリックすると、**分設定**のダイアログボックスが表示されます。**開始時刻**と**終了時刻**の分を設定した後、**OK**ボタンをクリックしてください。

8. **適用**ボタンをクリックしてください。

ブックマークを使用する

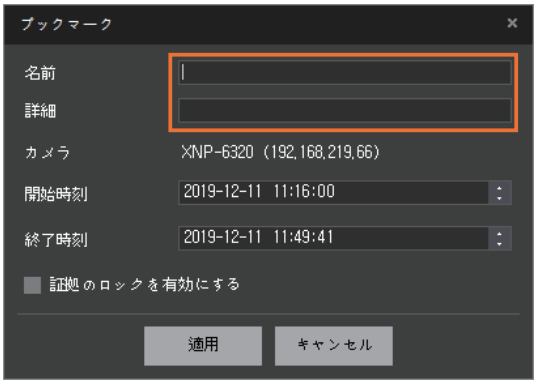
再生モードで関心のある区間の映像をブックマークとして追加できます。また、追加したブックマークを再生・編集できます。

メモ

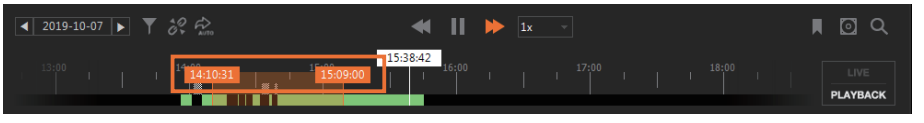
- ブックマークは、**アドバンス検索**メニューでも使用できます。
- **SSM Core Server**にカメラ映像を録画した時のみバックアップ設定が可能です。

ブックマークの追加

1. 再生モードに切り替えます。
2. ブックマークに追加する映像タイルを選択します。
3. タイムライン右上にある ボタンをクリックします。
4. **ブックマーク**のダイアログボックスで**名前**と**詳細**を入力してください。



5. ブックマークの**開始時刻**と**終了時刻**を設定します。時刻設定は、タイムラインの時間ツールヒントをクリックしたまま左右に動かす、またはツールヒントをダブルクリックして時間値を入力できます。詳しい内容は時間区間を設定するをご参考ください。

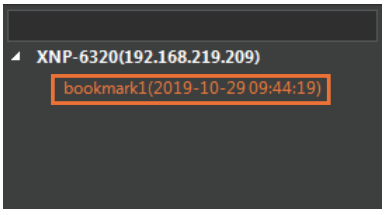


6. 録画映像が上書きされた場合、ブックマーク区間の録画映像が削除されないように維持するには、**証拠のロックを有効にする**のチェックボックスをクリックしてください。
7. **適用**ボタンをクリックします。追加したブックマークはブックマークタブから確認できます。

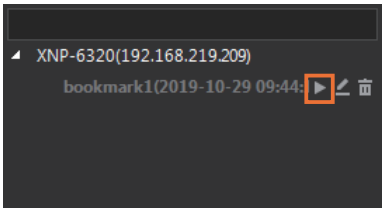
ブックマークを再生する

1. メニューページの左下にある**ブックマーク**タブをクリックします。

2. 任意のブックマークを選択します。



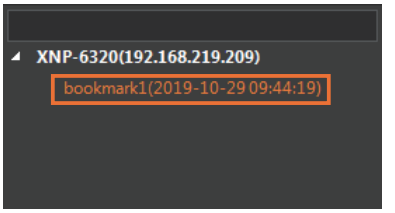
3. 選択したブックマークの右側にある ▶ ボタンをクリックします。ブックマークに設定した録画映像が再生されます。



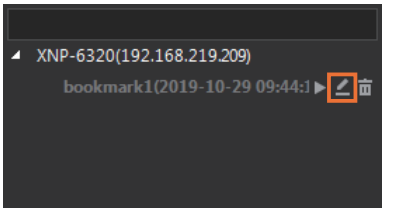
ブックマークを修正する

1. メニューページの左下にある**ブックマーク**タブをクリックします。

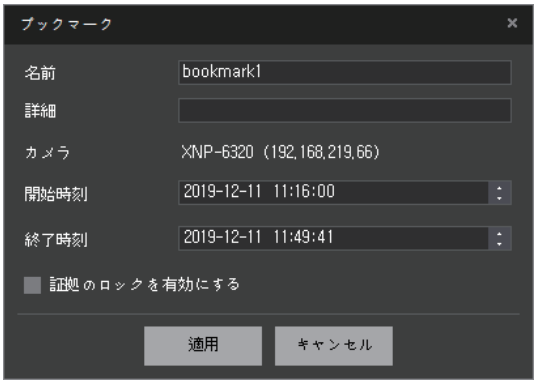
2. 任意のブックマークを選択します。



3. 選択したブックマークの右側にある ボタンをクリックします。



4. **ブックマーク**のダイアログボックスで好きな設定に修正してください。ブックマークの時刻設定は、タイムラインの時間ツールヒントを使用して設定してください。詳しい内容は時間区間を設定するをご参考ください。

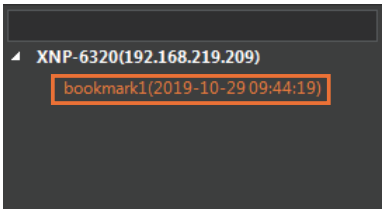


5. **適用**ボタンをクリックします。ブックマークツリーで修正したブックマーク情報を確認できます。

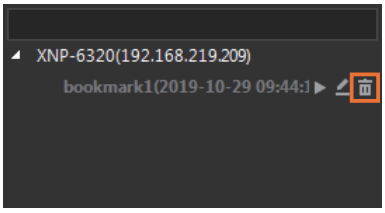
ブックマークを削除する

1. メニューページの左下にある**ブックマーク**タブをクリックします。

2. 任意のブックマークを選択します。



3. 選択したブックマークの右側にある🗑ボタンをクリックします。



4. **適用**ボタンをクリックします。

アドバンス検索メニューに移動する

タイムラインの ボタンをクリックすると、メニュータブで**アドバンス検索**メニュータブを追加することなく、簡単に**アドバンス検索**メニューページに移動することができます。

モニタリングメニューの再生モードでは、カメラの録画映像を検索してから再生しましたが、**アドバンス検索**メニューではモーション検索やインテリジェント映像分析(IVA)などの様々なアドバンス検索機能を使用できます。詳しい内容は録画映像を検索するをご参考ください。

時間区間を設定する

ブックマークまたは録画映像をファイルとしてエクスポートする、または検索メニューを利用する時、開始時刻と終了時刻を設定できます。

- タイムラインの時間ツールヒントをクリックしたまま左右に動かす、またはツールヒントをダブルクリックして時間値を修正できます。
- 時間ツールヒントが表示されていない場合、タイムラインでマウスを右クリックして**時間範囲をリセットする**をクリックすると、タイムラインに時間ツールヒントが表示されます。

メモ

ブックマークを使用する、または検索メニューを使用する時に、任意の時間区間を設定できます。

ビデオウォールの制御

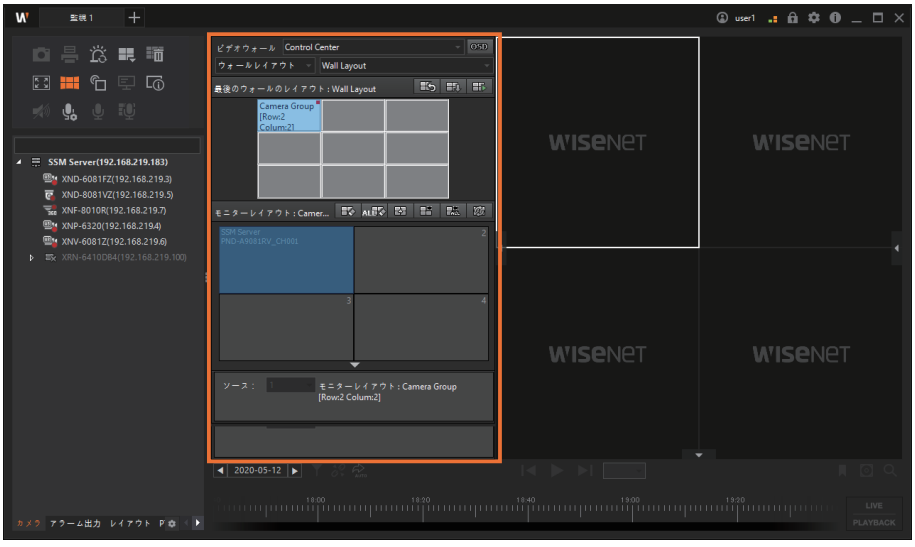
SSMは**SSM-VM**と連動してネットワークデバイスの高画質映像をビデオウォールで監視できます。
SSM-VM(Virtual Matrix)で設定したビデオウォールを**SSM Console Client**でも簡単に設定の制御ができます。

メモ

- **SSM Console Client**からビデオウォールを制御するにはSSM-VMがインストールされている必要があります。
- **SSM Console Client**では**SSM-VM**で設定したビデオウォール情報を編集できますが、編集した情報を**SSM-VM**に自動で保存することはできません。 変更した設定情報を保存するには**SSM-VM**からビデオウォール設定を変更してください

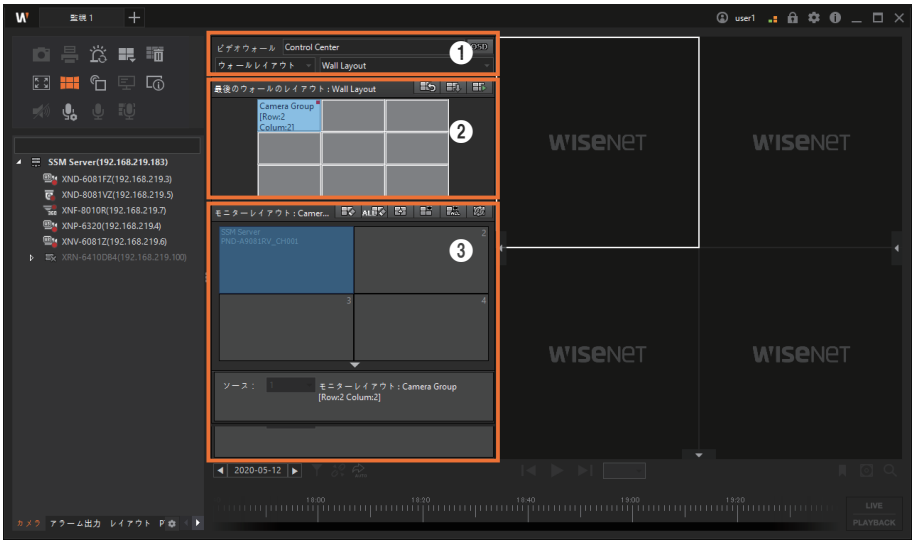
VM メニューを開く

監視メニューページの右上にある機能ボタンから ボタンをクリックします。監視メニューにVMメニューが表示されます。



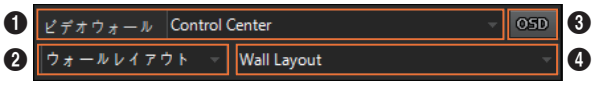
画面構成について

VMメニューの画面は、下記のように構成されています。



番号	画面構成	機能詳細
❶	ビデオウォール設定	ビデオウォールを選択する、またはウォールモードを選択できます。
❷	ビデオウォール	選択したウォールモードをプレビューできます。
❸	モニターレイアウト	ビデオウォールで選択したモニターのレイアウトをプレビューできます。

ビデオウォール設定について

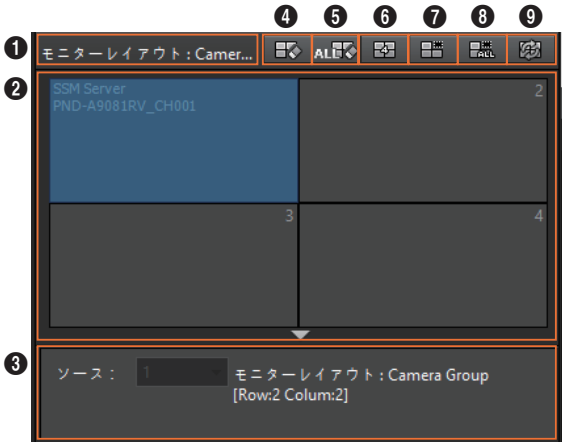


番号	画面構成	機能詳細
❶	ビデオウォール	ビデオウォールリストから任意の項目を選択できます。
❷	ウォールモード	ウォールモードリストからウォールレイアウト、Wallシーケンス、Wallスポット、Direct Wall Displayを選択できます。
❸	OSD	ビデオウォールの映像タイルに日付/時間、カメラ名、イベント表示、IVAルール等を表示できます。
❹	詳細オプション	選択したウォールモードに対する詳細設定が行えます。 • ウォールモードをウォールレイアウトに選択すると、ウォールレイアウトリストから任意の項目を選択できます。 • ウォールモードをWallシーケンスに選択すると、Wallシーケンスリストから任意の項目を選択できます。 • ウォールモードをWallスポットに選択すると、Wallスポットリストから任意の項目を選択できます。

ビデオウォールについて

番号	画面構成	機能詳細
❶	名称	ウォールモードの名前を確認できます。
❷	プレビュー	選択したウォールモードをプレビューできます。
❸	Wallスポットを以前のモードに戻す	Wallスポットモードに変更する前のビデオウォールモードで表示できます。
❹	選択したモニタースクリーンのインポート	選択したモニタースクリーンを**SSM Console Client**の映像ウィンドウに呼び出すことができます。
❺	開始オプション	選択したウォールモードを開始、または中止できます。

モニターレイアウトについて

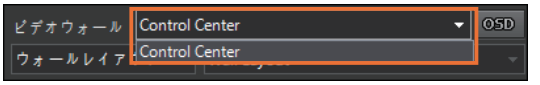


番号	画面構成	機能詳細
❶	名称	モニターレイアウトの名前を確認できます。
❷	プレビュー	ビデオウォールで選択したモニターのレイアウトをプレビューできます。
❸	カメラ情報	選択したタイルのカメラ情報を確認できます。
❹	セルイベントを１件クリア	選択したタイルに表示されたイベントを削除できます。
❺	セルイベントを全件クリア	すべてのタイルのイベントを削除できます。
❻	タイルパターンの変更	モニターのレイアウトパターンを変更できます。
❼	指定されたタイルを削除する	選択したタイルのカメラ映像を削除できます。
❽	すべてのタイルを削除	すべてのタイルのカメラ映像を削除できます。
❾	最新設定をロードする	編集したモニターレイアウトをSSM-VMで設定したモニターレイアウトに戻すことができます。

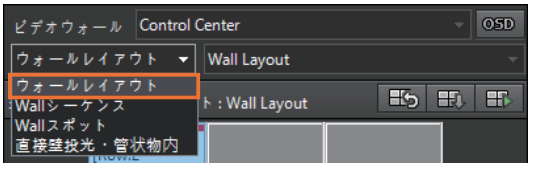
ウォールレイアウトに設定する

ビデオウォールをウォールレイアウトモードに設定できます。

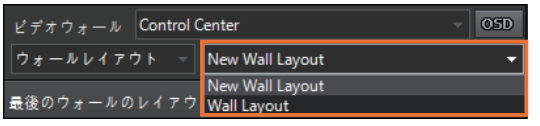
1. **ビデオウォール**リストから、任意の**ビデオウォール**を 選択します。



2. **ウォールモード**リストから**ウォールレイアウト**を選択します。



3. ウォールレイアウトの**詳細オプション**から任意の**ウォールレイアウト**を選択します。



4. 選択したウォールレイアウトが**ビデオウォール**ーに表示され、ビデオウォールのモニター(VMD VIEWER)にも変更したウォールレイアウトが表示されます。

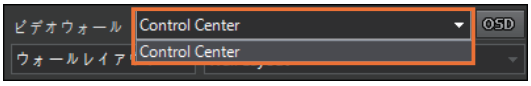
メモ

SSM Console Clientでウォールレイアウトを様々な形に設定できます。 詳しい内容は、モニターレイアウトの編集ご参考ください。

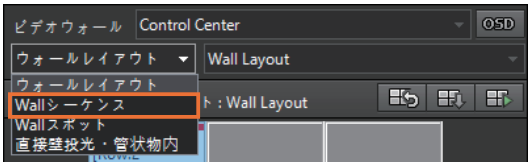
Wallシーケンスに設定する

ビデオウォールをWallシーケンスモードに設定できます。 Wallシーケンスを設定すると、ビデオウォールに複数のウォールレイアウトを順番に切り替えながらカメラ映像を監視できます。 詳しい内容は、SSM-VMのユーザーマニュアルをご参考ください。

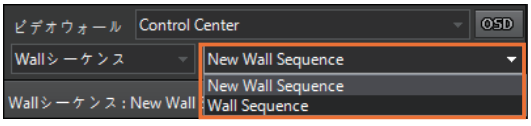
1. **ビデオウォール**リストから、任意の**ビデオウォール**を 選択します。



2. **ウォールモード**リストから**Wallシーケンス**を選択します。



3. Wallシーケンスの**詳細オプション**から任意の**Wallシーケンス**を選択します。



4. Wallシーケンスを実行するには ボタンをクリックします。 ビデオウォールのモニター(VMD VIEWER)にWallシーケンスが再生されます。

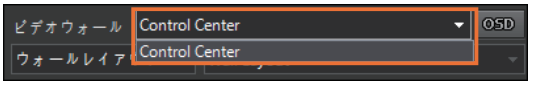
メモ

Wallシーケンスを中止するには ボタンをクリックします。

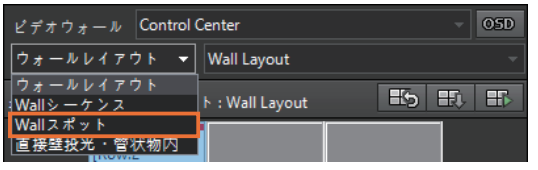
Wallスポットに設定する

ビデオウォールをWallスポットモードに設定できます。 Wallスポットモードを設定すると、特定のカメラにイベントが発生した場合、ビデオウォールが指定したウォールレイアウトに変更されるように設定できます。 詳しい内容は、SSM-VMのユーザーマニュアルをご参考ください。

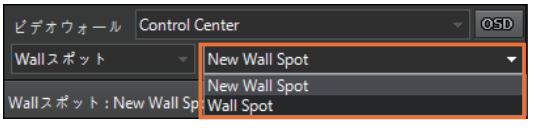
1. **ビデオウォール**リストから、任意の**ビデオウォール**を 選択します。



2. **ウォールモード**リストから**Wallスポット**を選択します。



3. Wallスポットの**詳細オプション**から任意の**Wallスポット**を選択します。



4. Wallスポットを実行するには ボタンをクリックします。 ビデオウォールのモニター(VMD VIEWER)に変更したWallスポットが開始されます。**SSM-VM**で設定した通りに特定のカメラにイベントが発生すると、ビデオウォールがWallスポットに設定したウォールレイアウトに変更されます。

メモ

- Wallスポットを中止するには ボタンをクリックします。
- Wallスポットが実行された後に前のレイアウトに戻すには、 ボタンをクリックします。

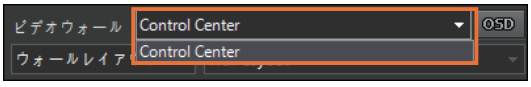
Direct Wall Dispalyを設定する

Direct Wall Displayは、ユーザーが複数台のカメラを選択した後 ボタンをクリックすれば、簡単にビデオウォールのシーケンスを再生できる機能です。

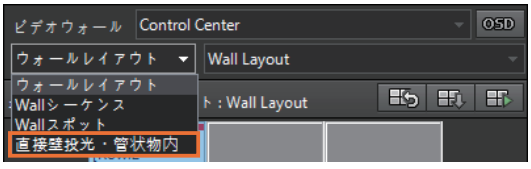
メモ

- **Direct Wall Display**は1回のみの機能のため、**SSM Console Client**に設定値が保存されません。
- ウォールレイアウトは、ビデオウォールに設定された最新のレイアウトを基準に表示されます。

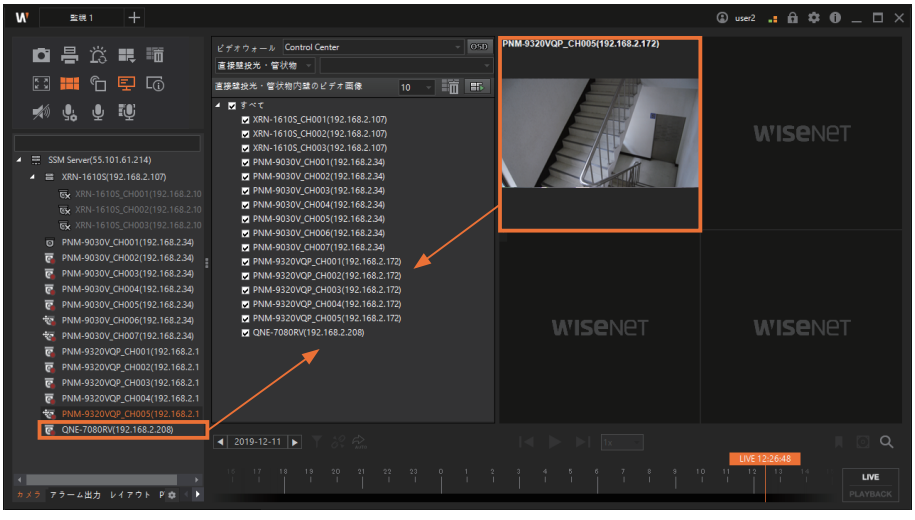
1. **ビデオウォール**リストから、任意の**ビデオウォール**を 選択します。



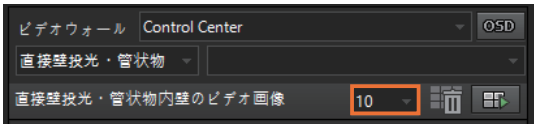
2. **ウォールモード**リストから**Direct Wall Display**を選択します。



3. **カメラ**タブで任意のカメラを選択した後、**Direct Wall Display**ウィンドウにドラッグ&ドロップします。 または、映像ウィンドウのタイル映像を選択した後、ドラッグ&ドロップします。



4. ビデオウォールの滞留時間を設定します。



5. Direct Wall Displayを開始するには、 ボタンをクリックします。 ビデオウォールレイアウトに設定したカメラリストが、滞留時間に従って順番に変更されます。

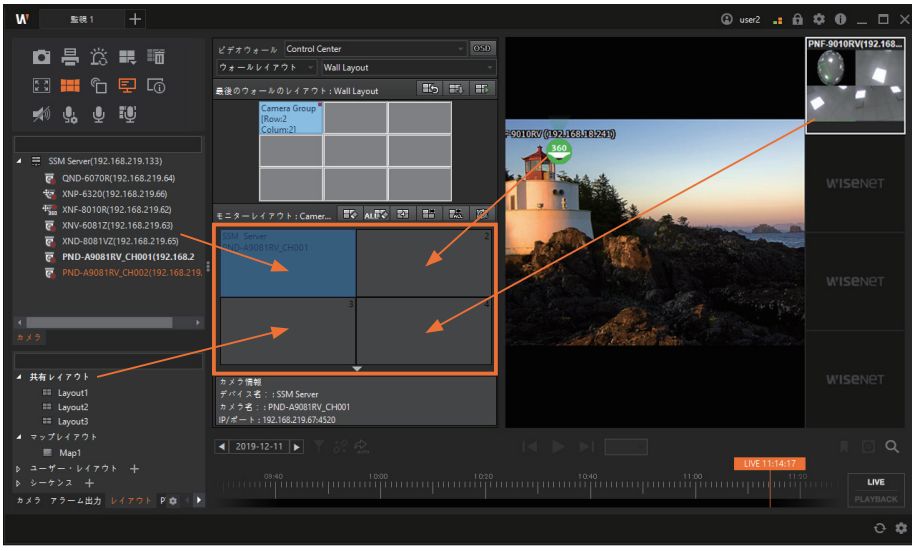
メモ

- Direct Wall Displayを中止するには、 ボタンをクリックします。
- カメラタブから複数台のカメラを選択するには、**Ctrl**または**Shift**キーを押して任意のカメラのみを選択できます。
- ツリー上部の「SSM Server」をクリックすると、サーバーに登録された全てのカメラを一度に設定できます。
- カメラリストのカメラの順番を変更するには、任意のカメラを選択した後、変更する位置にドラッグ＆ドロップすると、カメラの位置が変更されます。
- **Direct Wall Display**ウィンドウで1台のカメラを削除するには、**Delete**キーを押すと削除できます。
- **Direct Wall Display**ウィンドウでカメラ全体を削除するには、 ボタンをクリックするとすべて削除できます。

モニターレイアウトの編集

SSM Console Clientから、ビデオウォールのモニターレイアウトを簡単に編集できます。 モニターレイアウトを編集すると、ビデオウォールのモニター(VMD VIEWER)に編集した内容がすぐに反映されます。 ただし、ウォールモードが実行中の場合はすぐに反映されません。

- 共有レイアウトに変更する
- カメラタブのカメラ映像を監視する
- 映像ウィンドウのタイル映像を監視する
- マップレイアウトのアイコンを監視する



共有レイアウトに変更する

1. **監視**メニューページのツリータブから**レイアウト**タブを選択します。
2. 共有レイアウトリストから任意のレイアウトを選択した後、**モニターレイアウト**ウィンドウにドラッグ&ドロップします。 ビデオウォールのモニターが選択したレイアウトに変更されます。

カメラタブのカメラ映像を監視する

1. **監視**メニューページのツリータブから**カメラ**タブを選択します。
2. カメラリストから任意のカメラを選択した後、**モニターレイアウト**ウィンドウにドラッグ&ドロップします。 ビデオウォールのモニターに選択したカメラの映像が表示されます。

映像ウィンドウのタイル映像を監視する

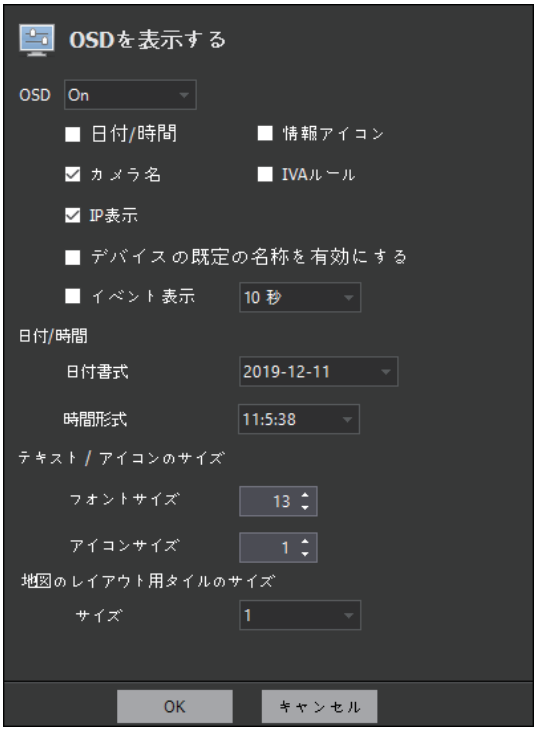
1. **監視**メニューページの映像ウィンドウから任意のタイルの映像を選択します。
2. 選択したタイルを**モニターレイアウト**ウィンドウにドラッグ&ドロップします。 ビデオウォールのモニターに選択したタイルの映像が表示されます。

マップレイアウトのアイコンを監視する

1. **監視**メニューページのツリータブから**レイアウト**タブを選択します。
2. 任意のマップレイアウトを選択した後、ダブルクリックします。
3. マップレイアウトにあるアイコンを選択します。
4. 選択したアイコンを**モニターレイアウト**ウィンドウにドラッグ&ドロップします。 ビデオウォールのモニターに選択したアイコンの映像が表示されます。

ビデオウォールにOSDを表示する

ビデオウォールの映像タイルに日付/時間、カメラ名、イベント表示、IVAルール等を表示できます。
詳しい内容はコンソールクライアントの設定 > 録画映像を検索する > OSDテキストをご参考ください。



録画映像を検索する

デバイスで発生したイベントログを検索して再生することができます。また、AIカメラとリンクして検索したい人、顔、車両または車両番号などの様々な条件で映像を検索したり、再生することができます。

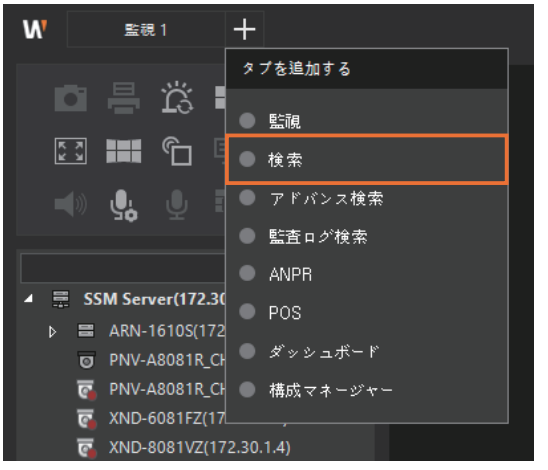
メモ

AIカメラとリンクしたAI検索を有効にするには、カメラウェブビューアで次の項目を有効に設定する必要があります。

- **WEBVIEWER** > **アナリティクス** > **対象物検知** > **物体検出の有効化**
- **WEBVIEWER** > **アナリティクス** > **IVA** > **IVAを有効にする**

検索メニューページを開く

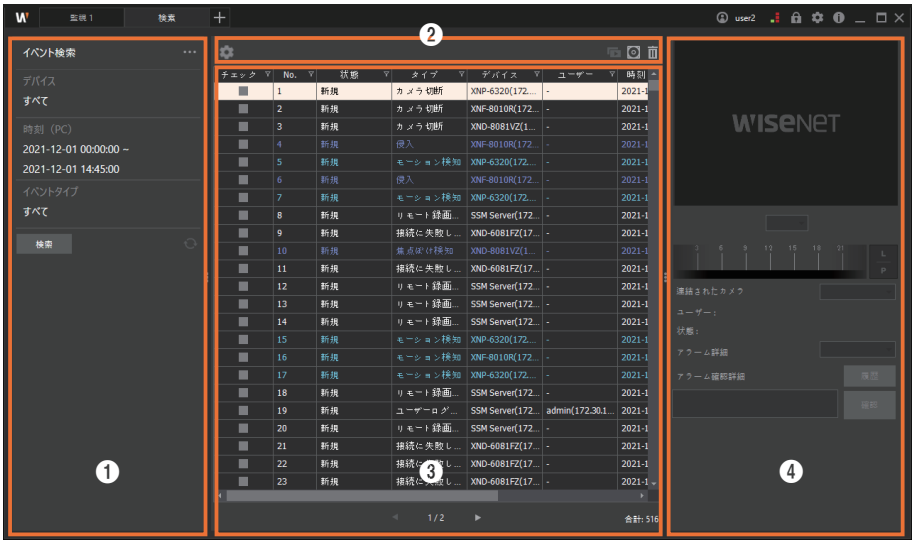
1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラムの左上にある[+]ボタンをクリックした後、**タブを追加する**のダイアログボックスで**検索**を選択してください。



イベントを検索する

デバイスで発生したイベントログを検索して再生することができます。また、検索したイベントリストをファイルにバックアップできます。

イベント検索画面の構成を確認する

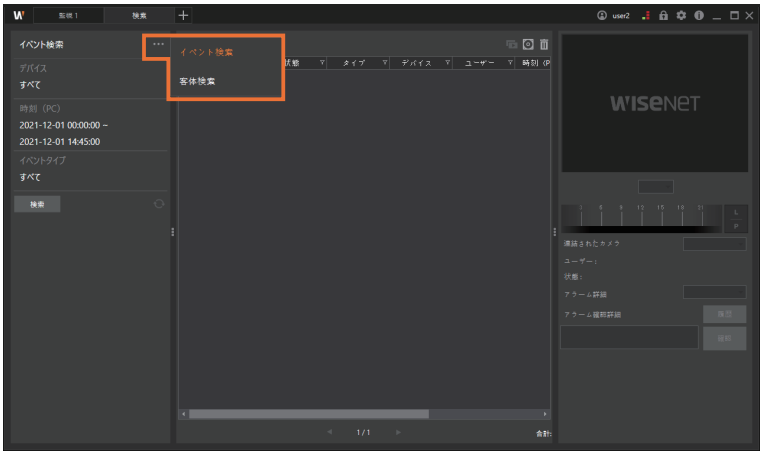


番号	画面構成	機能詳細
❶	検索オプション	カメラ、アラーム出力、アラーム入力、POSリストを確認できます。
❷	表示オプション	イベントを日付またはタイプ別にフィルタリングし、検索できます。
❸	イベントリスト	検索したイベント結果を確認することができます。
❹	イベント詳細情報	イベントリストで選択したイベントの詳細情報を確認する、またはイベント状態を管理できます。

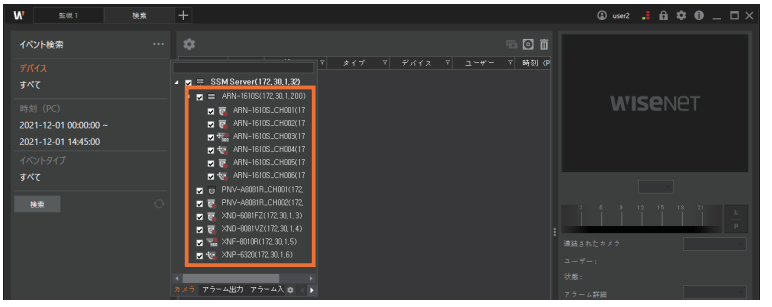
イベントログを検索する

イベントログを検索する、またはイベント発生時点の映像を再生できます。

1. **検索**メニューページを開けてくだい。
2. ボタンをクリックして**イベント検索**を選択してください。



3. **デバイス**をクリックして**カメラ**タブでカメラを選択してください。

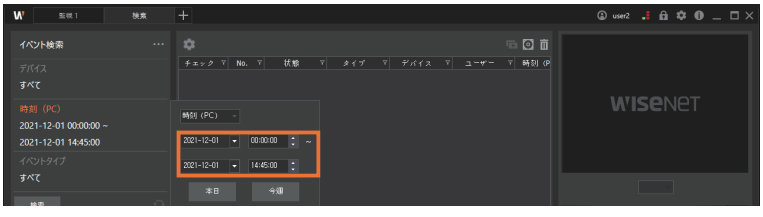


- **アラーム出力**、**アラーム入力**、**POS**タブでもカメラを選択することができます。

4. イベントが発生した時点の基準時間を選択します。

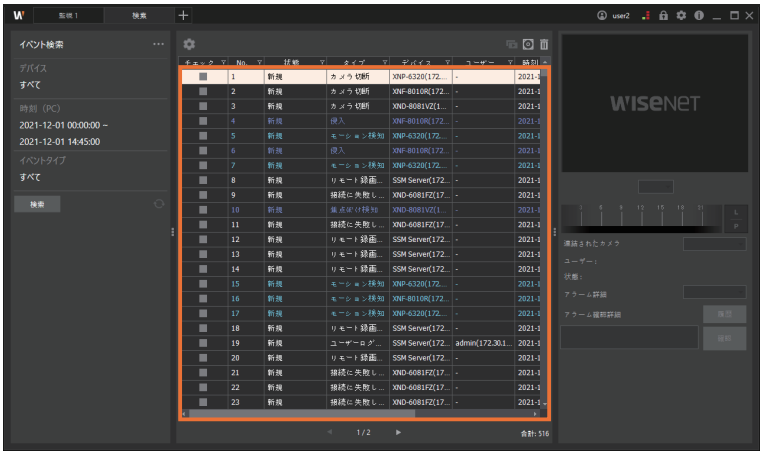
- **時刻(PC)**：イベントが発生した時間を、PCの時刻基準で検索できます。
- **時刻(デバイス)**：イベントが発生した時間を、デバイスの時刻基準で検索できます。
- **確認済時刻**：検索時間を、イベント確認済時刻基準で検索できます。確認済時刻とは、ユーザーがイベントログを検索するを通して確認した時間を表しています。

5. 検索開始時刻と終了時刻を設定します。日付ドロップダウンリストの矢印をクリックして表示されるカレンダーから日付を選択し、時間スクロールボックスで上/下矢印をクリックして時間を設定します。または、該当するセルをクリックして手動入力することもできます。



6. 特定イベントだけ検索するには、**イベントタイプ**をクリックしてフィルターリングするイベント項目を選択してください。一部のイベントの左側にある ▷ ボタンをクリックすると、そのイベントの詳細イベントを選択できます。

7. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がリストに表示されます。



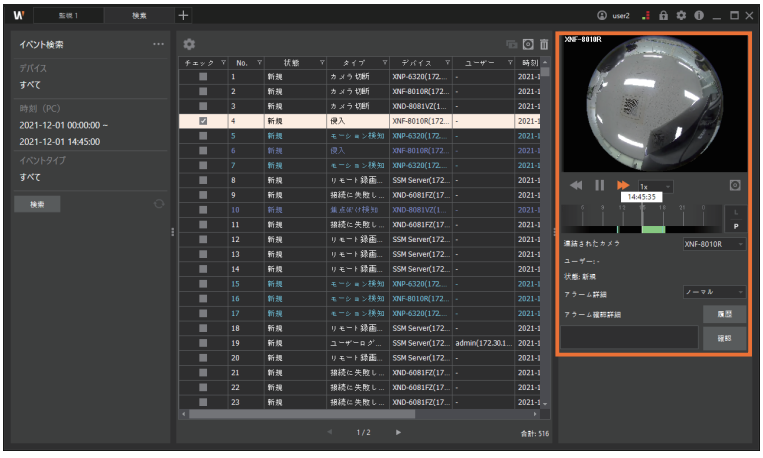
8. イベントリストで確認したいイベントをダブルクリックすると、イベント詳細情報にイベント発生時点の映像が再生されます。

メモ

イベント発生時点に録画された映像がある場合にのみ、イベント詳細情報に録画映像が再生されます。

イベントを確認する

イベント検索リストで確認するイベントを選択すると、イベントが発生した時点の録画動画を再生することができます。イベント映像を監視した後、イベント状態を管理できます。



1. **検索**メニューページを開けてくだい。
2. ボタンをクリックして**イベント検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲、イベントタイプを選択した後、イベントログを検索してください。イベントリストが表示されます。
4. イベントリストから確認したいイベントをダブルクリックします。ページ右側のイベント詳細情報に、イベント発生時点の録画映像が再生されます。
5. 発生したイベント映像と接続されたカメラを選択してください。
6. イベント映像を確認した後、**アラーム詳細**を設定します。

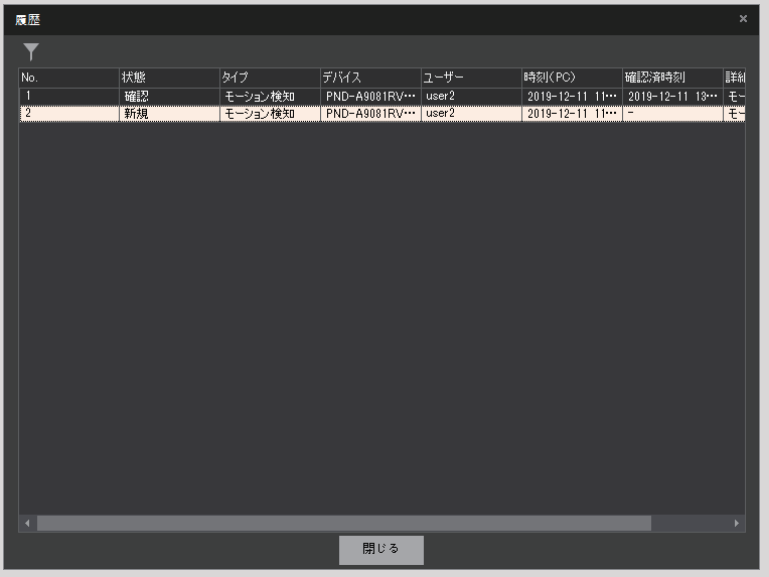
   アラーム詳細：ノーマル、異常、その他
7. **アラーム確認詳細**にイベント状態値を入力します。
8. **確認**ボタンをクリックします。

メモ

- **履歴**ボタンをクリックすると、イベントの状態および履歴を確認できます。同じイベントに関してユーザー別にイベント状況に対する措置を異なって入力した場合、履歴からイベント履歴を確認できます。

  例：同じイベントが発生した時、ユーザーAが侵入者と判断して措置内容に侵入ルートを記入し、ユーザーBがここに説明を入力して状況終了と処理した場合、これら一連の入力プロセスを履歴から確認できます。
- イベント発生時点のカメラ映像が保存された時のみ、録画映像が再生されます。
- カメラ1台の録画映像は、複数メニューから同時に再生できません。

  例：カメラAの録画映像を**インスタントビューア**と**検索**メニューページで共に再生できません。



イベント映像を連続再生する

複数のイベント映像を順番に再生しながら監視できます。

1. **検索**メニューページを開けてくだい。
2. ボタンをクリックして**イベント検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲、イベントタイプを選択した後、イベントログを検索してください。イベントリストが表示されます。

メモ

- 「イベントログを検索する」を先に実行した後にイベント映像の連続再生機能を使用できます。
- イベントログの検索に関する詳しい内容はイベントログを検索するをご参考ください。

4. 検索結果リストから、連続再生するイベントを選択します。

メモ

イベントを2つ以上選択することで連続再生機能が使用できます。

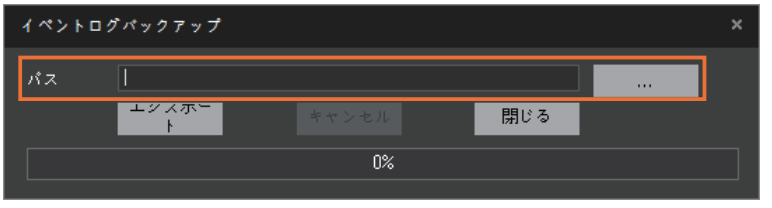
5. 検索オプションにある ボタンをクリックします。イベント詳細情報に選択したイベントの録画映像が順番に再生されます。

イベントログファイルとしてバックアップする

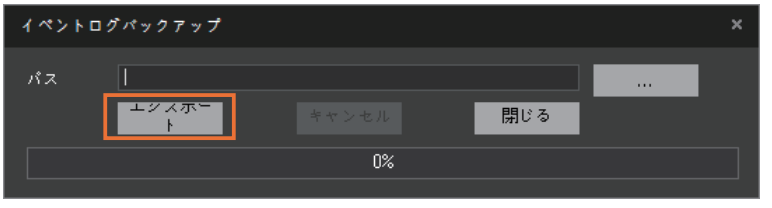
検索したイベント結果をファイルにバックアップできます。

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして**イベント検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲、イベントタイプを選択した後、イベントログを検索してください。イベントリストが表示されます。
   イベントログの検索に関する詳しい内容はイベントログを検索するをご参考ください。
4. 検索オプションにあるボタンをクリックします。

5. **イベントログバックアップ**ダイアログボックスで、ログファイルを保存するパスを設定します。



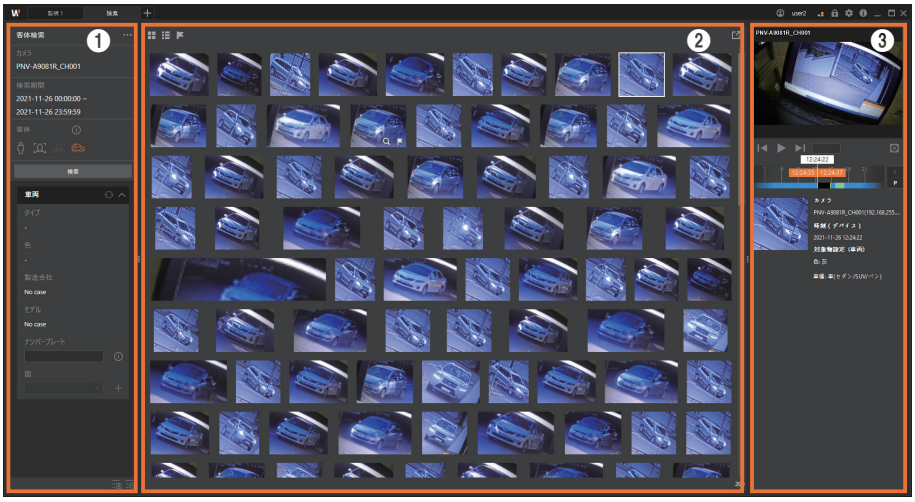
6. **エクスポート**ボタンをクリックします。ログファイルはCSVファイルのみに対応しています。



AIを検索する

AIカメラとリンクして検索したい人、顔、車両または車両番号などの様々な条件で映像を検索したり、再生することができます。また、検索した結果をファイルにエクスポートすることができます。

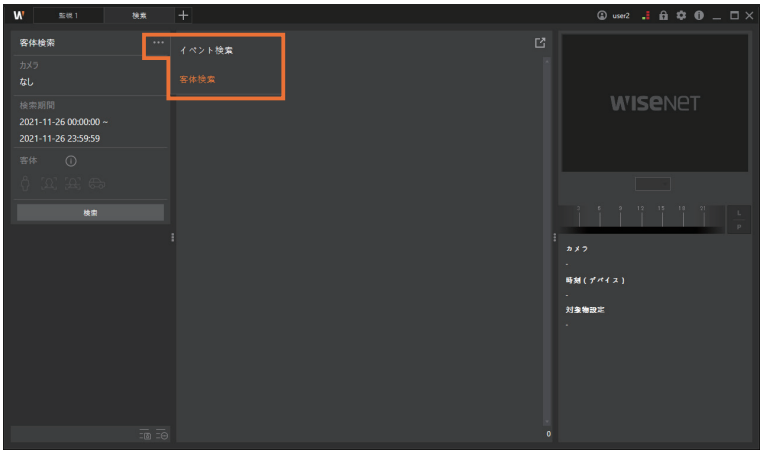
AI検索画面の構成を確認する



番号	画面構成	詳細機能説明
❶	検索オプション	日付/時間/人/顔/車両/車両番号などの様々な条件を設定することができます。 • ：選択した検索条件を解除して、もう一度検索条件を設定できます。 • ：選択した検索条件を保存できます。 • ：保存された検索条件リストを選択して適用することができます。
❷	検索結果	検索結果を確認することができます。 • ：検索結果をサムネイルで確認することができます。 • ：検索結果をリストで確認することができます。 • ：検索結果でフラグを指定することができます。 • ：検索結果を.jpgファイルで保存することができます。
❸	検索結果の詳細情報	検索結果を映像で確認できます。検索結果の中で好きな項目をダブルクリックすると、録画映像が再生され、タイムラインで録画映像がある区間を確認することができます。 イベントリストを1回クリックすると、イベント詳細情報に停止動画が表示されます。

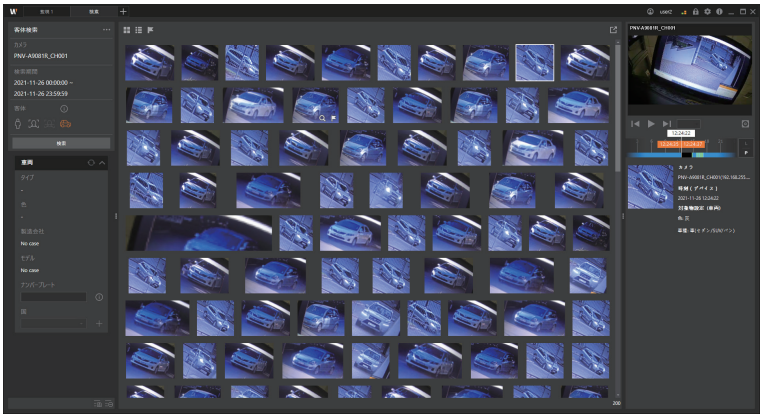
AIを検索する

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして**客体検索**を選択してください。



3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲を設定してください。
4. 検索したい客体を選択してください。
   - **人**：性別、服(トップス/ボトムス)の色、カバンの着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔**：性別、年齢、眼鏡またはマスク着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔認識**：顔画像を登録して類似度を検索条件に選択できます。
     詳細内容は、顔認識の検索するるをご参照ください。
   - **車両**：車両のタイプ、色、製造会社、モデル、ナンバープレート、国を選択してフィルタリングできます。
     - 製造会社、モデル、ナンバープレート、国はFFGroupのデバイスのみ対応しています。
     - ANPR ライセンス認証済みの場合、検索された車両を制限車両に登録できます。

5. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がサムネイルで表示されます。



- 検索結果をリストで確認するには、ボタンをクリックしてください。リストにマウスオーバーすると、サムネイル映像が表示されます。

6. 好きなフィルター項目を選択すると、該当フィルターが適用された検索結果リストを確認することができます。

- 選択したフィルター項目を解除して、もう一度選択するには、ボタンをクリックしてください。

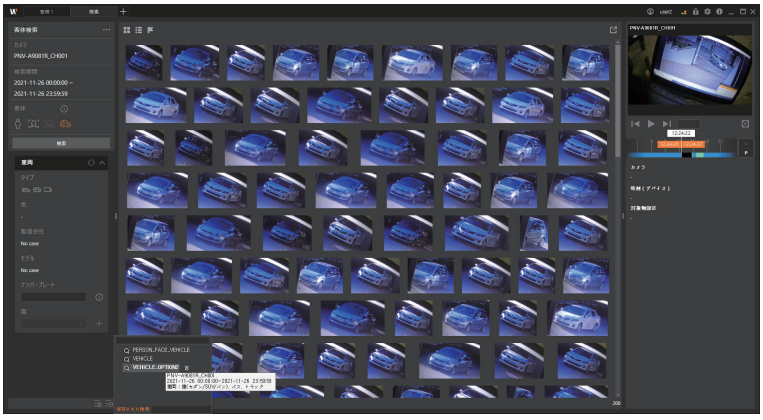
7. 検索結果を確認するには、検索結果で好きなサムネイルまたはリストをダブルクリックしてください。選択した録画映像が再生され、タイムラインで録画映像がある区間を確認することができます。

検索条件を保存する

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして**客体検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲を設定してください。
4. 検索したい客体を選択してください。
   - **人**：性別、服(トップス/ボトムス)の色、カバンの着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔**：性別、年齢、眼鏡またはマスク着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔認識**：顔画像を登録して類似度を検索条件に選択できます。
     詳細内容は、顔認識の検索するるをご参照ください。
   - **車両**：車両のタイプ、色、製造会社、モデル、ナンバープレート、国を選択してフィルタリングできます。
     - 製造会社、モデル、ナンバープレート、国はFFGroupのデバイスのみ対応しています。
     - ANPR ライセンス認証済みの場合、検索された車両を制限車両に登録できます。
5. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がサムネイルで表示されます。
   - 検索結果をリストで確認するには、ボタンをクリックしてください。リストにマウスオーバーすると、サムネイル映像が表示されます。
6. 好きなフィルター項目を選択すると、該当フィルターが適用された検索結果リストを確認することができます。
   - 選択したフィルター項目を解除して、もう一度選択するには、ボタンをクリックしてください。
7. 選択したフィルター項目を保存するには、ボタンをクリックしてください。

8. 名前を設定した後、**確認**ボタンをクリックするとリストが保存されます。

- 保存された検索フィルターリストを確認するには、ボタンをクリックしてください。



- 保存された検索フィルターリストの中で好きなリストをダブルクリックすると、検索ウィンドウに保存されたフィルターが反映され、再検索できます。
- リストにマウスオーバーすると、検索フィルターを確認することができます。
- リストを削除するには、好きなリストを選択した後、ボタンをクリックしてください。

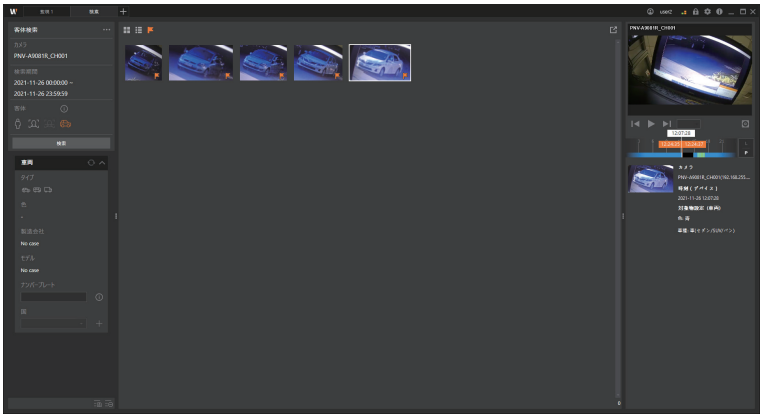
フラグ指定リストを確認する

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして**客体検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲を設定してください。
4. 検索したい客体を選択してください。
   - **人**：性別、服(トップス/ボトムス)の色、カバンの着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔**：性別、年齢、眼鏡またはマスク着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔認識**：顔画像を登録して類似度を検索条件に選択できます。
     詳細内容は、顔認識の検索するるをご参照ください。
   - **車両**：車両のタイプ、色、製造会社、モデル、ナンバープレート、国を選択してフィルタリングできます。
     - 製造会社、モデル、ナンバープレート、国はFFGroupのデバイスのみ対応しています。
     - ANPR ライセンス認証済みの場合、検索された車両を制限車両に登録できます。
5. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がサムネイルで表示されます。
   - 検索結果をリストで確認するには、ボタンをクリックしてください。リストにマウスオーバーすると、サムネイル映像が表示されます。

メモ
フラグ指定は、検索結果をサムネイルで表示した場合のみ使用できます。

6. 検索結果でフラグ指定を好きな映像にマウスオーバーしてボタンをクリックしてください。

7. フラグ指定された結果のみ確認するには、ボタンをクリックしてください。



メモ

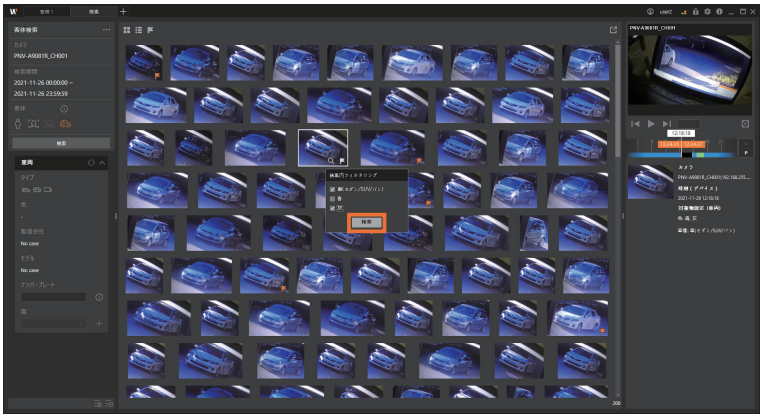
再検索すると、フラグ指定結果は削除されます。

ベストショットで再検索する

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして**客体検索**を選択してください。
3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲を設定してください。
4. 検索したい客体を選択してください。
   - **人**：性別、服(トップス/ボトムス)の色、カバンの着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔**：性別、年齢、眼鏡またはマスク着用有無を選択してフィルタリングできます。
   - **顔認識**：顔画像を登録して類似度を検索条件に選択できます。
     詳細内容は、顔認識の検索するるをご参照ください。
   - **車両**：車両のタイプ、色、製造会社、モデル、ナンバープレート、国を選択してフィルタリングできます。
     - 製造会社、モデル、ナンバープレート、国はFFGroupのデバイスのみ対応しています。
     - ANPR ライセンス認証済みの場合、検索された車両を制限車両に登録できます。
5. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がサムネイルで表示されます。
   - 検索結果をリストで確認するには、ボタンをクリックしてください。リストにマウスオーバーすると、サムネイル映像が表示されます。
6. 検索するための条件に最も満足する映像にマウスオーバーしてボタンをクリックしてください。

7. 好きな条件を選択した後、**検索**ボタンをクリックしてください。

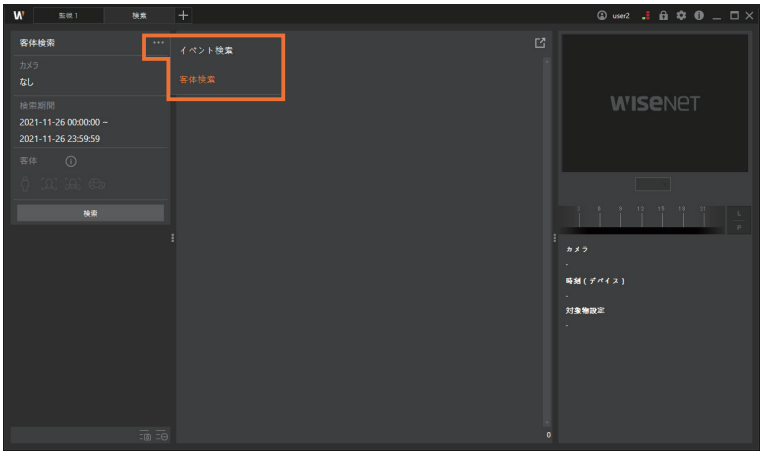
- 該当のベストショットが持つ条件に他の条件を追加してフィルタリングできます。



顔認識の検索する

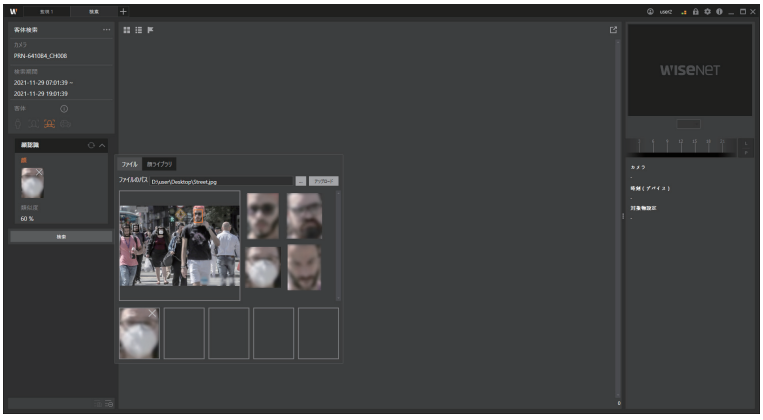
ユーザー認証済みのデバイスのみ、顔認識の検索が可能です。

1. **検索**メニューページを開けてください。
2. ボタンをクリックして、**客体検索**を選択してください。

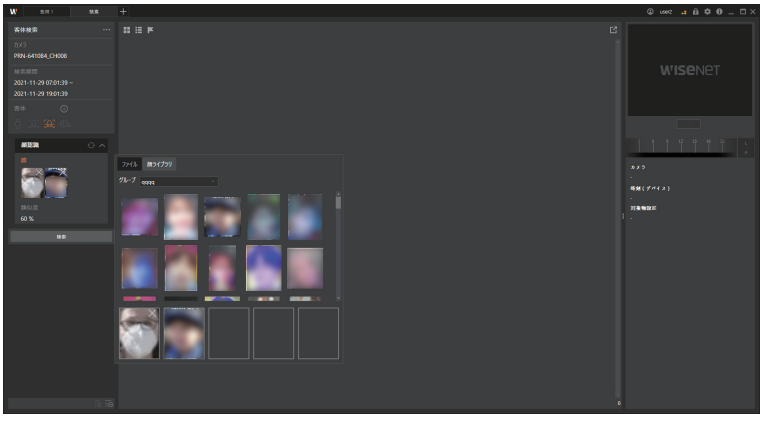


3. 検索を実行するカメラ、日付と時間範囲を設定してください。
4. **顔認識**の客体を選択してください。
5. **顔**をクリックしてください。
   顔画像を検索条件に登録することができます。**顔ライブラリ**タブでは、ストレージデバイスで登録した顔画像を活用して検索できます。

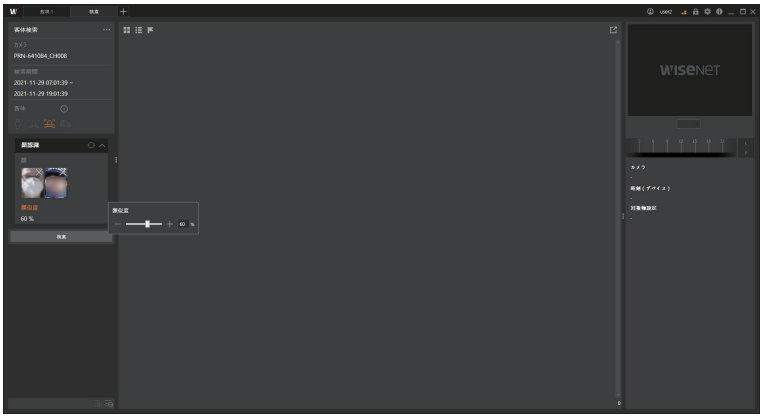
6. **ファイル**タブで ボタンをクリックしてください。
アップロードするには画像を選択した後、**アップロード**ボタンをクリックしてください。
アップロードした画像で顔のみ抽出して表示されます。
顔をクリックして、検索顔に登録してください(最大5個)。



7. ストレージデバイスで登録した顔画像を検索条件に登録するには、**顔ライブラリ**タブで顔画像を選択してください。

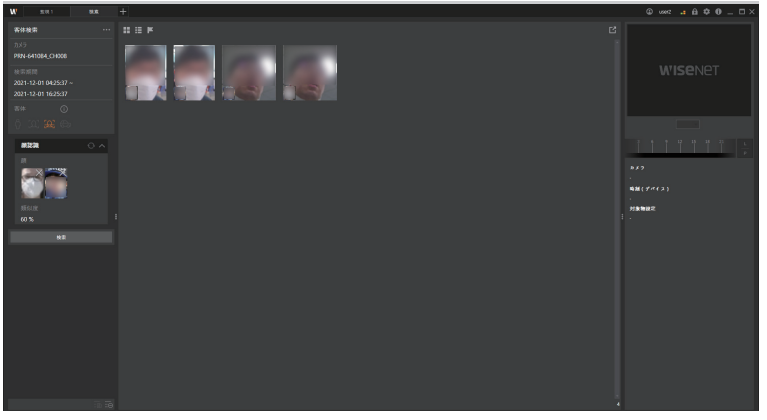


8. 顔類似度を設定してください。



- 選択した検索条件を消去して、もう一度検索条件を選択するには、ボタンをクリックしてください。

9. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がサムネイルに表示されます。



10. 検索結果を確認するには、検索結果でサムネイルをダブルクリックしてください。選択した録画映像が再生され、タイムラインで録画映像がある区間を確認できます。

録画映像をアドバンス検索する

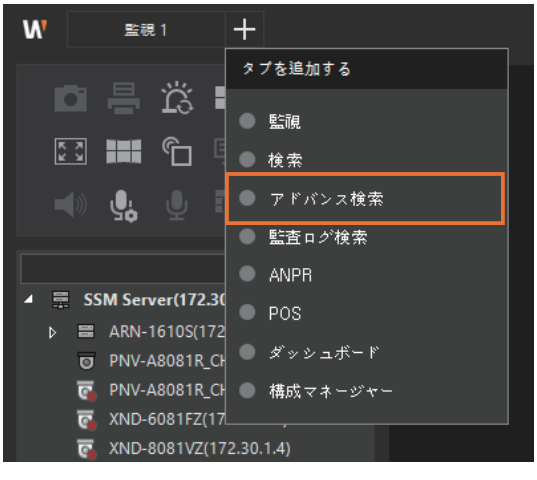
SSM Core Serverに録画されたカメラ映像を検索してモーションが発生したイベントまたは映像上の仮想ラインを通過、仮想領域を出入りするイベントを確認できます。

メモ

- 日付またはイベントで録画映像を検索するには、監視メニューの再生モードから確認できます。詳しい内容は日付で録画映像を検索するまたはイベントで録画映像を検索するをご参考ください。
- モーション検索とスマート検索機能は、カメラ1台の録画映像でのみ使用でき、この機能により複数のカメラの映像を同時に検索できます。
- モーション検索に対応していないデバイスは、サムネイル検索を使用できます。
- スマート検索を使用するには、下記の条件をすべて満たす必要があります。
  - カメラ設定でIVAを有効にしている、またはIVAに対応していないカメラの場合、IVAの代わりに**モーション検知**が設定されており、
  - **SSM Core Server**にハンファテックウィンのカメラがSUNAPIプロトコルで登録されていること、
  - さらに、**SSM Core Server**にカメラ映像が録画されている必要があります。

アドバンス検索メニューページを開く

1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラムの左上にある[+]ボタンをクリックした後、**タブを追加する**のダイアログボックスで**アドバンス検索**を選択してください。



サムネイルを検索する

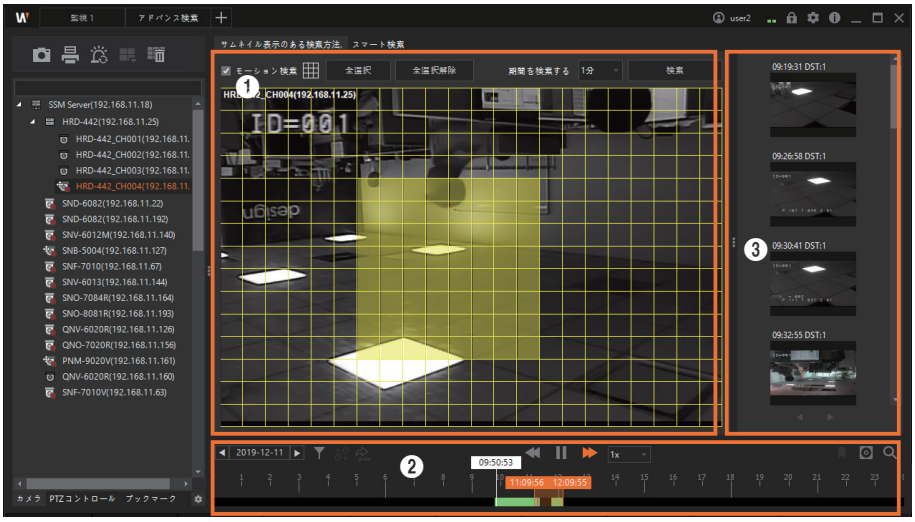
サムネイル検索メニューでは、**モーション検索**と**サムネイル検索**を使用することができます。

- **モーション検索**：設定した検索期間の間隔でモーション検知イベントが発生した時点のサムネイルを表示します。
- **サムネイル検索**：設定した検索期間の間隔でサムネイルを表示します。

メモ

- モーション検索に対応しているデバイスは、検索オプションのモーション検索が有効になります。
- モーション検索に対応していないデバイスは、サムネイル検索を使用できます。

サムネイル検索画面の構成を確認する



番号	画面構成	機能詳細
❶	検索オプション	モーション検索またはサムネイル検索のための検索条件(領域、サムネイル表示時間間隔)を設定できます。 • モーション検索：モーション検知イベントが発生した時点の映像を検索できます。DVRでのみ使用できます。 • 全選択：映像タイルの全体映像をモーション検索領域に設定できます。DVRでのみ使用できます。 • 全選択解除：映像タイル上に設定された検索領域を全選択解除できます。DVRでのみ使用できます。 • 期間を検索する：設定した時間を基準にモーション検索またはサムネイル検索ができます。
❷	タイムライン	録画映像がある区間を確認し、検索する時間区間を設定できます。
❸	検索結果	検索が完了すると、検索結果がサムネイルで表示されます。

モーション検索を行う

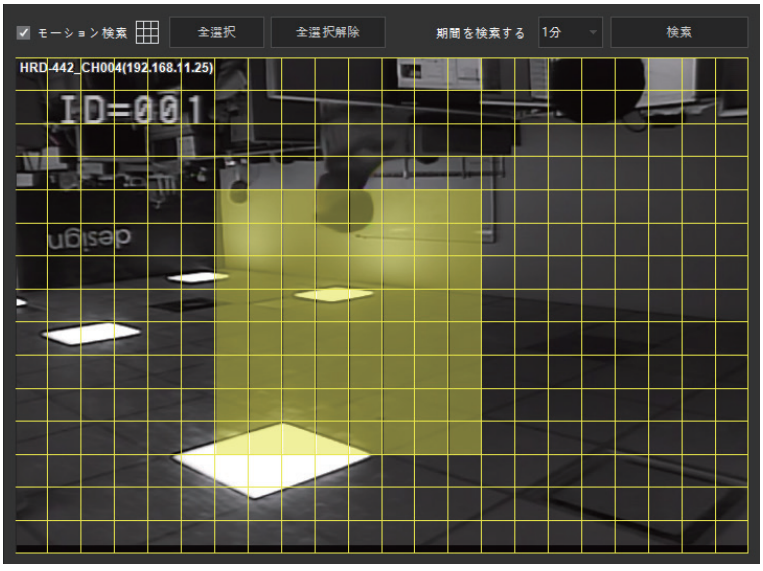
1. **アドバンス検索**メニューページを開けてください。
2. **カメラ**タブのカメラツリーから任意のカメラを選択します。
3. 検索オプションから**モーション検索**を選択します。

> **メモ**
> 選択したカメラがモーション検索に対応していない場合、モーション検索を選択できません。

4. タイムラインで**モーション検索**を実行する日付と時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は検索時間の区間を設定するをご参考ください。

> **メモ**
> モーション検索の時間範囲は、1時間(60分)まで設定できます。

5. 映像上に検索する領域を設定します。



- **検索領域設定**：映像タイルで検索する領域のセルをクリックする、または検索領域の左上の基準セルをクリックした後、マウスを右下にドラッグすると、検索領域を選択できます。
- **設定領域解除**：選択されたセルをもう1回クリックすると、選択を解除できます。または設定した領域上でマウスをドラッグしてもう1回選択すると、設定されていた領域が解除されます。
- **全体領域設定/解除**：**全選択**または**全選択解除**ボタンにより、全体領域に対して検索領域を設定/解除できます。

6. **期間を検索する**を設定します。検索する期間を設定しない場合、デフォルトの設定値でモーションを検索します。

7. **検索**ボタンをクリックします。検索結果がサムネイルで表示されます。
8. 検索結果を確認するには検索結果から任意のサムネイルを選択します。モーション検知イベントが発生した時点の録画映像が再生されます。

サムネイル検索を行う

1. **アドバンス検索**メニューページを開けてください。
2. **カメラ**タブのカメラツリーから任意のカメラを選択します。
3. 検索オプションから **モーション検索**横のチェックボックスを選択解除します。
4. タイムラインで**サムネイル検索**を実行する日付と時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は検索時間の区間を設定するをご参考ください。

メモ
サムネイル検索の時間範囲は、1時間(60分)まで設定できます。

5. **期間を検索する**を設定します。

6. **検索**ボタンをクリックします。検索結果がサムネイルで表示されます。
7. 検索結果を確認するには検索結果から任意のサムネイルを選択します。選択した検索時点の録画映像が再生されます。

スマート検索を行う

特定時間の録画映像に対して設定した条件に合うモーション映像を検索できます。

■ **仮想領域について**

映像上に検索する領域を設定した後、その領域内での侵入、進入、退出、出現(消失)、徘徊等の特定条件のモーションを検知します。

■ **除外領域について**

映像上に特定条件のモーションを検知しない領域を設定します。

■ **仮想ラインについて**

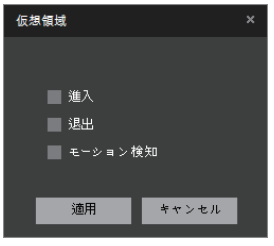
映像上に設定した仮想ラインと方向を基準に、物体の通過を検知します。

スマート検索画面の構成について

番号	画面構成	機能詳細
❶	検索オプション	スマート検索のためのイベント検索条件を設定できます。 ・：特定条件のモーションを検索する仮想領域を設定できます。 ・：仮想ラインまたは仮想領域でスマート検索を行わない除外領域を設定できます。 ・：特定条件のモーションを検索する仮想ラインを設定できます。
❷	タイムライン	録画映像がある区間を確認し、検索する時間区間を設定できます。
❸	検索結果	検索が完了すると、検索結果がリストまたはサムネイルで表示されます。

仮想領域を検索する

1. **アドバンス検索**メニューページを開けてください。
2. **カメラ**タブのカメラツリーから任意のカメラを選択します。
3. 検索オプションから ボタンをクリックした後、検索領域を設定します。検索しない領域を設定するには、 ボタンをクリックした後、除外領域を設定します。
   - 映像上にマウスで頂点を定め、領域を設定します。頂点は3～11個まで設定できます。
   - 領域は32個まで設定できます。
   - 領域設定を完了するには、マウスを右クリックします。
4. 領域を設定すると、**仮想領域**ダイアログボックスが表示されます。検知するイベントルールを設定した後、**適用**ボタンをクリックします。**キャンセル**ボタンをクリックすると、設定した領域が削除されます。



メモ
1つの領域にイベントルールを複数設定できます。

5. タイムラインで仮想領域検索を実行する日付と時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は検索時間の区間を設定するをご参考ください。

メモ
スマート検索の時間範囲は24時間まで設定できます。

6. **検索**ボタンをクリックします。検索結果がリストで表示されます。

メモ
検索結果は1ページに500個まで表示され、◀または▶ボタンを使用して他のページに移動できます。

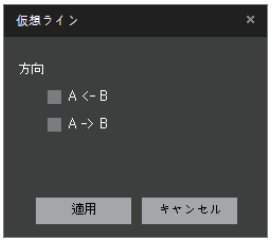
次のような検索結果処理オプションを使用できます。

位置	説明
A	検索結果の表示方法を変更できます。 • 検索結果をリストで表示します。 • 検索結果をサムネイルで表示します。
B	検索結果を、特定イベントに関する映像のみフィルタリングして表示します。
C	検索された情報をExcelファイルで保存できます。

7. 検索結果を確認するには検索結果から任意の項目を選択します。イベントが発生した時点の録画映像が再生されます。

仮想ライン検索を行う

1. **アドバンス検索**メニューページを開けてください。
2. **カメラ**タブのカメラツリーから任意のカメラを選択します。
3. 検索オプションから ボタンをクリックした後、仮想ラインを設定します。
   - 映像上にマウスで点を定め、仮想ラインを設定します。
   - 仮想ライン設定を完了するには、マウスの右ボタンをクリックします。
4. 仮想ラインが設定されると**仮想ライン**ダイアログボックスが表示されます。仮想ラインの**方向**オプションを設定した後、**適用**ボタンをクリックします。**キャンセル**ボタンをクリックすると、設定した仮想ラインが削除されます。



メモ
仮想ライン方向オプションを2つとも選択すると、1つの仮想ラインで両方向から通過する物体をすべて検知できます。

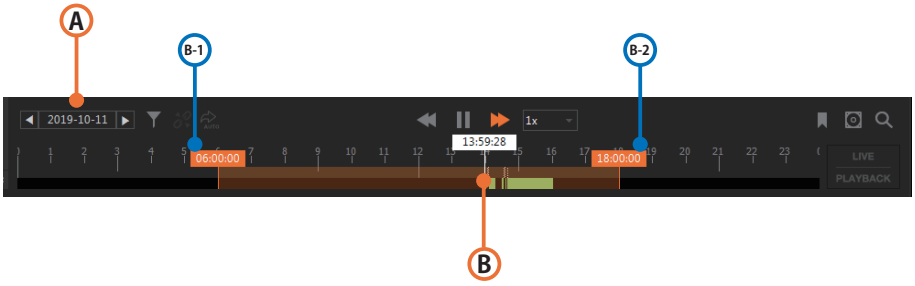
5. タイムラインで仮想ライン検索を実行する日付と時間範囲を設定します。時間設定はタイムラインの時間ツールヒントを利用してください。詳しい内容は検索時間の区間を設定するをご参考ください。

メモ
スマート検索の時間範囲は24時間まで設定できます。

6. **検索**ボタンをクリックします。検索結果がリストで表示されます。
7. 検索結果を確認するには検索結果から任意の項目を選択します。イベントが発生した時点の録画映像が再生されます。

検索時間の区間を設定する

検索機能を使用する時、タイムラインで検索を実行する日付と時間範囲を設定できます。



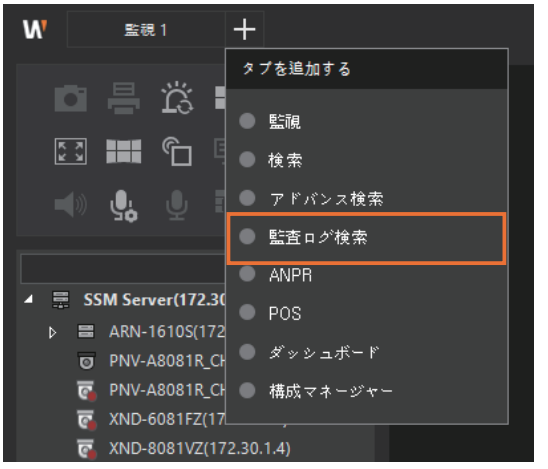
位置	画面構成	機能詳細
A	検索日付	検索日付を選択する
B	検索開始時刻と終了時刻	検索開始時刻と終了時刻を選択する
B-1	検索開始時刻	時間表示ツールヒントを左右に移動して、検索開始時刻を設定できます。設定されている時間区間の最大検索が可能な時間の状態から検索開始時刻のツールヒントを左に移動した場合、時間区間全体が移動します。
B-2	検索終了時刻	時間表示ツールヒントを左右に移動して、検索終了時刻を設定できます。設定されている時間区間の最大検索が可能な時間の状態から検索終了時刻のツールヒントを右に移動した場合、時間区間全体が移動します。

監査ログを検索する

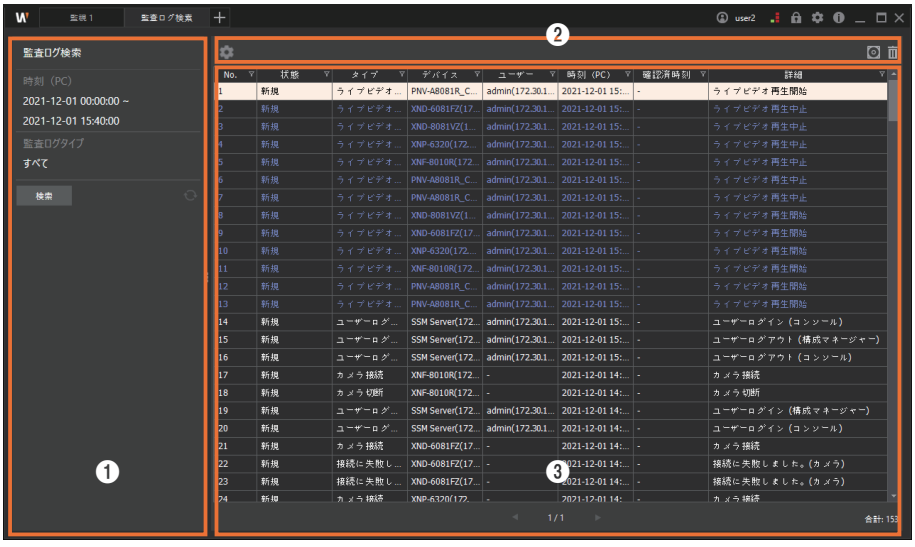
デバイスで発生した監査ログを検索することができます。

監査ログ検索メニューページを開く

1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラム左上の**[+]**ボタンをクリックし**タブを追加する**ダイアログボックスが表示されると**監査ログ検索**を選択します。



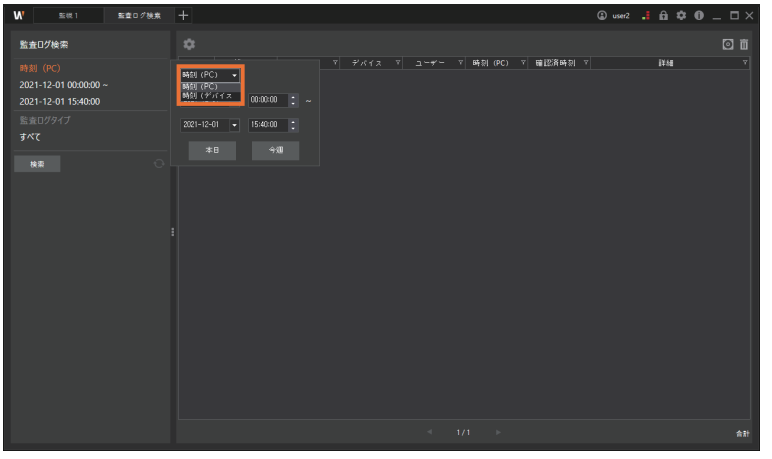
監査ログ検索画面の構成を確認する



番号	画面構成	機能詳細
❶	検索オプション	ログを日付またはタイプ別にフィルタリングして検索できます。
❷	表示オプション	リストのカラムを設定したり、検索したログをファイルにエクスポートできます。
❸	ログリスト	検索した結果を確認できます。

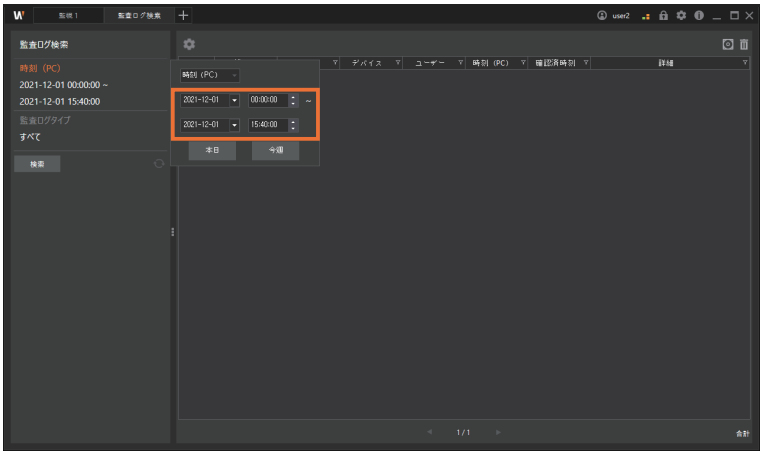
監査ログを検索する

1. **監査ログ検索**メニューページを開きます。
2. イベントが発生した時点の基準時間を選択します。



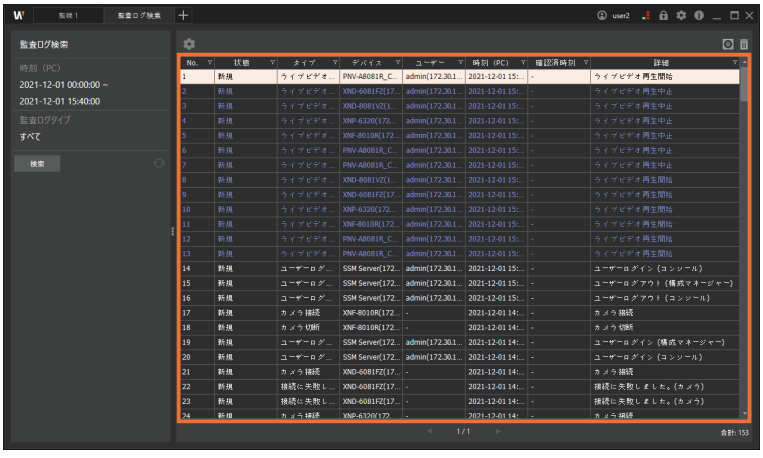
- **時刻(PC)**：イベントが発生した時間を、PCの時刻基準で検索できます。
- **時刻(デバイス)**：イベントが発生した時間を、デバイスの時刻基準で検索できます。

3. 検索開始時刻と終了時刻を設定します。日付ドロップダウンリストの矢印をクリックして表示されるカレンダーから日付を選択し、時間スクロールボックスで上/下矢印をクリックして時間を設定します。または、該当するセルをクリックして手動入力することもできます。



4. 特定ログだけを検索するには、**監査ログタイプ**をクリックしてフィルタリングする項目を選択してください。

5. **検索**ボタンをクリックしてください。検索結果がリストに表示されます。



POS映像の監視

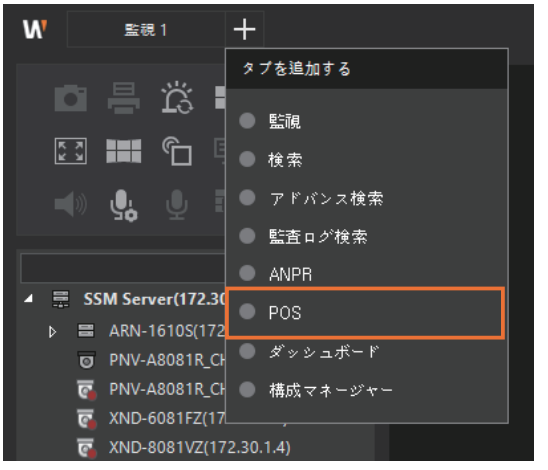
NVRまたはDVRに接続されたPOSシステムを、SSMとリンクして商店管理システムを構成できます。商店で売上が発生する時点の映像とPOSから受信された売上記録を、リアルタイムで監視できます。また、特定テキストでPOSデータを検索し、売上発生時点の録画映像と売上記録を確認できます。

メモ

- SSMでPOSシステムをリンクするには、NVRまたはDVRにPOSデバイスを接続した後、**SSM Core Server**に保存デバイスを登録する必要があります。
- 保存デバイスのPOS対応/非対応は、モデル仕様をご確認ください。

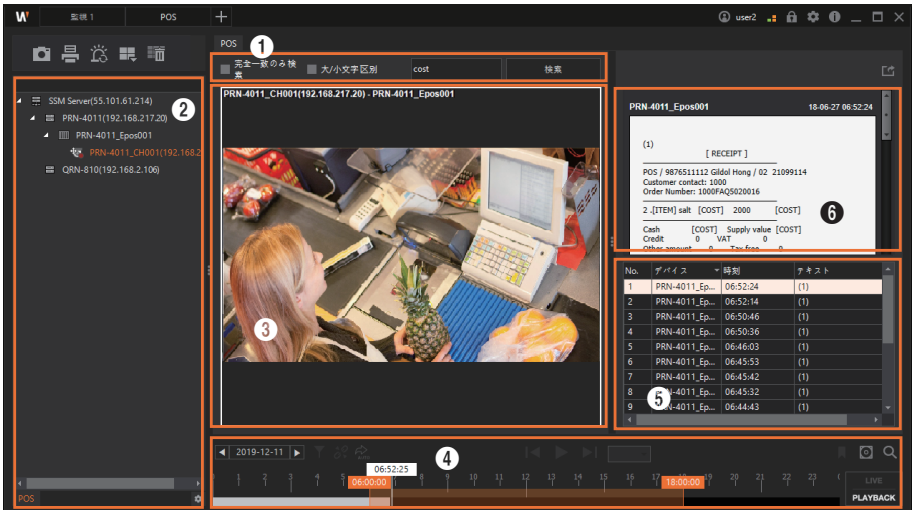
POSメニューページを開く

1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラム左上の**[+]**ボタンをクリックし**タブを追加する**ダイアログボックスが表示されると**POS**を選択します。



POSメニュー画面の構成について

POSメニューの画面は、下記のように構成されています。



番号	画面構成	機能詳細
❶	検索オプション	POSデータから、検索するテキストを入力します。
❷	デバイスリスト	保存デバイスとPOSデバイスがリンクしたカメラリストを確認できます。
❸	映像ウィンドウ	選択したカメラのライブ映像とPOS検索映像を確認できます。
❹	タイムライン	録画映像がある区間を確認し、検索する時間区間を設定できます。
❺	検索結果	POS検索結果を確認できます。
❻	POSデータ	リアルタイムで受信されるPOS売上記録と、検索した結果の売上記録を確認できます。

POSライブ映像の監視

POSで受信される売上記録と、カメラ映像をリアルタイムで監視できます。

メモ

- 売上記録は、NVRに接続されたPOSデバイスから受信された情報のみが表示されます。
- DVRはPOSデバイスとリンクしたカメラのライブ映像を監視できますが、売上記録は確認できません。

1. **POS**メニューページを開きます。
2. **POS**タブから任意のカメラをダブルクリックします。または、**POS**タブから任意のカメラを選択した後、映像ウィンドウのタイル上にドラッグします。
3. カメラとリンクしたPOSデバイスで売上記録が発生するたびに、売上記録がPOSデータに表示されます。

POSデータの検索

POSデータを検索し、売上が発生した時点の録画映像を確認できます。

1. **POS**メニューページを開きます。
2. **POS**タブから任意のカメラをダブルクリックします。または、**POS**タブから任意のカメラを選択した後、映像ウィンドウのタイル上にドラッグします。
3. タイムライン右上にある LIVE PLAYBACK ボタンをクリックして、再生モードに切り替えます。
4. 検索ウィンドウにキーワードを入力します。次の検索オプションが選択できます。
   - **完全一致のみ検索**：空白を含むすべての文字が一致するデータのみ検索結果に表示されます。このオプションを選択しない場合、空白は「OR」と認識され検索されます(空白で区分された単語のうち1つのみ満たす場合でも検索される)。

     例

売上記録	検索ワード	完全一致のみ検索	
		選択	未選択
バナナ 3000 リンゴ 5000 合計 8000 現金 8000	現金 8000	検索完了	検索完了
	現金 5000	検索失敗	検索完了(「現金」ワードが一致)

   - **大/小文字区別**：キーワードをアルファベットで入力すると、大/小文字を区別して検索します。

> **メモ**
> キーワードは最大127文字まで入力できます。

5. **検索**ボタンをクリックします。
6. 検索結果が右側の検索リストに表示されます。検索リストから任意の項目を選択します。
   - 項目をダブルクリックすると、POSに接続されている映像チャンネルが再生されます。
   - ▶をクリックすると、POSイベントが発生した時点の録画映像が再生されます。

> **メモ**
> 再生映像をコントロール(停止、再生、一時停止、早送り)すると、録画時点に発生した売上記録が**POSデータ**に表示されます。

ダッシュボードでシステムを監視する

SSM Core Serverのシステム状態を**SSM Console Client**またはウェブビューアで監視できます。

ダッシュボードメニューページを開く

1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラム左上の**[+]**ボタンをクリックし**タブを追加する**ダイアログボックスが表示されると**ダッシュボード**を選択します。

メモ

- ブラウザで下記アドレスを入力すると、リモートでダッシュボードを監視できます。
  - URL：http://サーバーIP:9999/webadmin/index.html
  - Chromeブラウザでのみ使用することができます。
- ダッシュボードの対応言語は英語のみです。

ダッシュボード画面の構成について

ダッシュボードの画面は、下記のように構成されています。

番号	画面構成	詳細機能説明
❶	デバイス数量	登録されたデバイスの数量を確認することができます。 • **Camera**：ドメイン内のすべてのサーバーとレコーダーに登録済みのカメラの数 • **SSM Server**：クラスター化されたサーバー数 • **Recorder**: ドメイン内に登録されたすべてのレコーダー数
❷	ネットワークトラフィック	システムのネットワークトラフィックを確認することができます。 • **System in**：各サーバーに進入するカメラ動画トラフィックの合計 • **System out**：各サーバーがClientに送信する動画トラフィックの合計
❸	デバイス状態	登録されたデバイスの合計数量比、誤動作中の状態を確認することができます。 • SSM Server ボタンをクリックすると、**SSM Server**ページに移動します。 • Recorder ボタンをクリックすると、**Recorder**ページに移動します。
❹	状態履歴グラフ	登録されたデバイスで発生したエラーとネットワークトラフィック状態を確認することができます。グラフにマウスオーバーすると該当時刻のエラー数とネットワークトラフィック状態が表示され、最大7日前まで確認できます。また、タイムライン上でマウスホイールを使用して時間表示倍率をズームインしたりズームアウトすることができます。 • **ALL**：デバイス別のエラー数と ネットワークトラフィック状態すべてが表示されます。 • **DEVICE**：デバイス別のエラー数が表示されます。(Camera/Server/Recorder) • **NETWORK TRAFFIC**：サーバーの入力/出力トラフィックが表示されます。
❺	ログインユーザーリスト	ログインしたユーザーIDを確認することができます。マウスオーバー時、IDとIPアドレスが表示されます。

番号	画面構成	詳細機能説明
❻		ボタンをクリックして、以下の機能を使用することができます。 • **Link URL** : 現在のページのURLをコピーしてウェブブラウザで確認できます。 • **Reports** : 現在のページの(ホーム画面)情報をキャプチャしてPDFファイルにエクスポートできます。 • **Logout** : ウェブブラウザでダッシュボードを監視する場合、ログアウトできます。

メモ

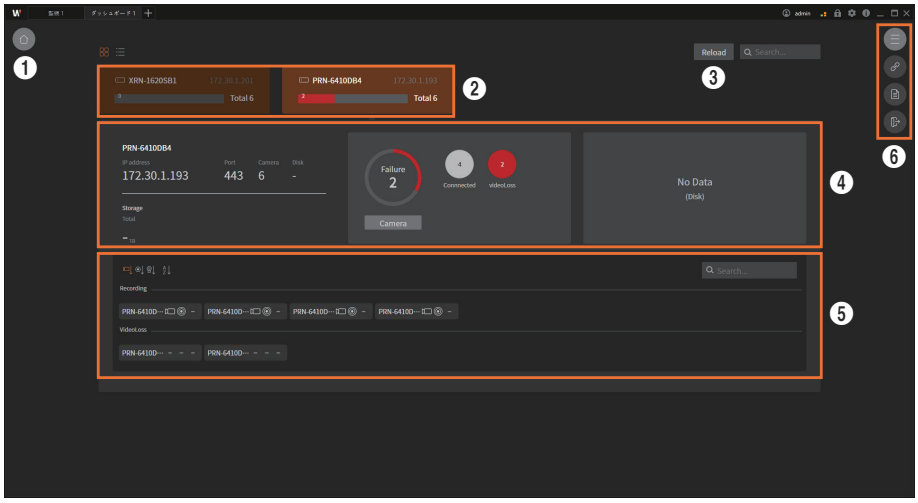
すべてのデータは1分サイクルで更新されます。

SSM Serverページを確認する

番号	画面構成	詳細機能説明
❶		ダッシュボードのホーム画面に移動できます。
❷	サーバーのリスト	登録されたSSMサーバーのリストと接続状態を確認することができます。 各サーバーの状態バーでは、このサーバーに登録されたカメラの中で誤動作中のカメラ数が表示され、マウスオーバーするとカメラの接続状態による数を確認することができます。 • 接続されていないサーバーは赤色に表示されます。
❸	サーバーの詳細情報	サーバーの詳細情報を確認することができます。サーバーリストでサーバーをクリックしてください。
❹	カメラリスト	Camera ボタンをクリックすると、カメラリストや接続状態などの詳細情報を確認することができます。 • ：リストの整列基準を確認することができます。選択された整列基準はオレンジ色に表示されます。 – ：カメラの接続状態 – ：デュアルレコーディング動作状態 – ：セキュリティ接続状態 • ：カメラ名を基準にリストを整列することができます。 • **Search**：カメラ名をフィルターリングして表示することができます。

番号	画面構成	詳細機能説明
❺		ボタンをクリックして、以下の機能を使用することができます。 • **Link URL** : 現在のページのURLをコピーしてウェブブラウザで確認できます • **Reports** : ドメイン内のすべての**SSM Server**の最新情報を含むリストをCSVファイルにエクスポートできます。 – **SSM Console Client**使用時：ファイル位置とファイル名を設定して保存することができます。 – ブラウザ使用時：ウィンドウログインユーザーの初期設定ダウンロードフォルダに保存されます。 • **Debug** : **System Manager**と**Media Server**のリアルタイムログをファイルにエクスポートできます。 – **SSM Console Client**使用時：ファイル位置とファイル名を設定して保存することができます。 – ブラウザ使用時：ウィンドウログインユーザーの初期設定ダウンロードフォルダに保存されます。 • **Logout** : ウェブブラウザでダッシュボードを監視する場合、ログアウトできます。

Recorderページを確認する



番号	画面構成	詳細機能説明
❶		ダッシュボードのホーム画面に移動できます。
❷	レコーダーリスト	登録されたレコーダーのリストを確認することができます。 • Recorderページに最初移動した時にはダッシュボードが接続した**System Manager**下位のレコーダーのみ表示されます。 • 接続されていないレコーダーは赤色に表示され、SNMP接続失敗の場合には黄色に表示されます。
❸	Load	ドメイン内のすべてのレコーダーを確認することができます。 • **Search**：レコーダー名をフィルターリングして表示することができます。
❹	レコーダーの詳細情報	レコーダーの詳細情報を確認することができます。レコーダーリストでレコーダーをクリックしてください。

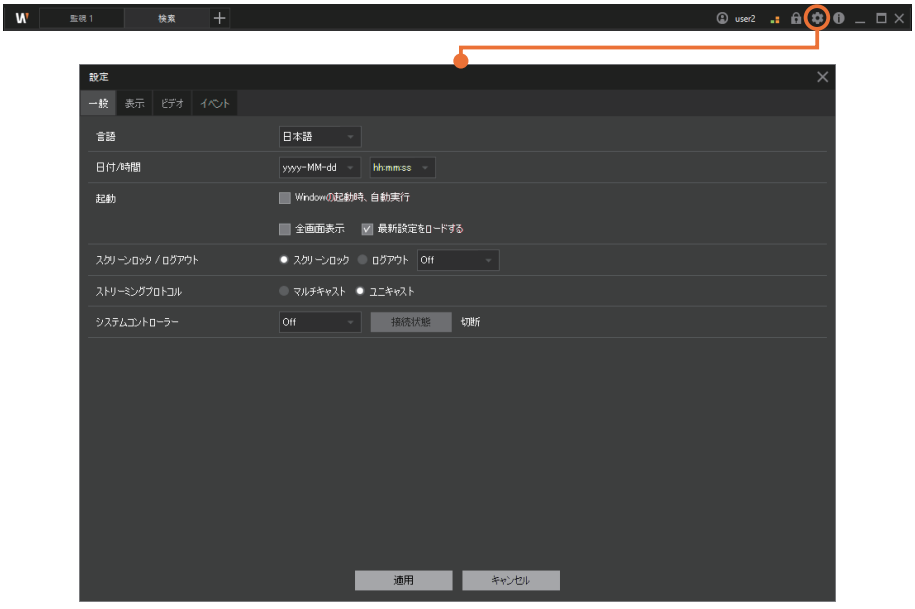
❺	カメラリスト	Camera ボタンをクリックすると、カメラリストや接続状態などの詳細情報を確認することができます。 • ：リストの整列基準を確認することができます。選択された整列基準はオレンジ色に表示されます。 – ：カメラの接続状態 – ：デュアルレコーディング動作状態 – ：セキュリティ接続状態 • ：カメラ名を基準にリストを整列することができます。 • **Search**：カメラ名をフィルターリングして表示することができます。
❻		ボタンをクリックして、以下の機能を使用することができます。 • **Link URL** : 現在のページのURLをコピーしてウェブブラウザで確認できます。 • **Reports** : ドメイン内のすべてのレコーダーの最新情報を含むリストをCSVファイルにエクスポートできます。 • **Logout** : ウェブブラウザでダッシュボードを監視する場合、ログアウトできます。

コンソールクライアントの設定

コンソールクライアントの設定画面で一般及び画面、イベント関連の設定を指定できます。

設定ページを開く

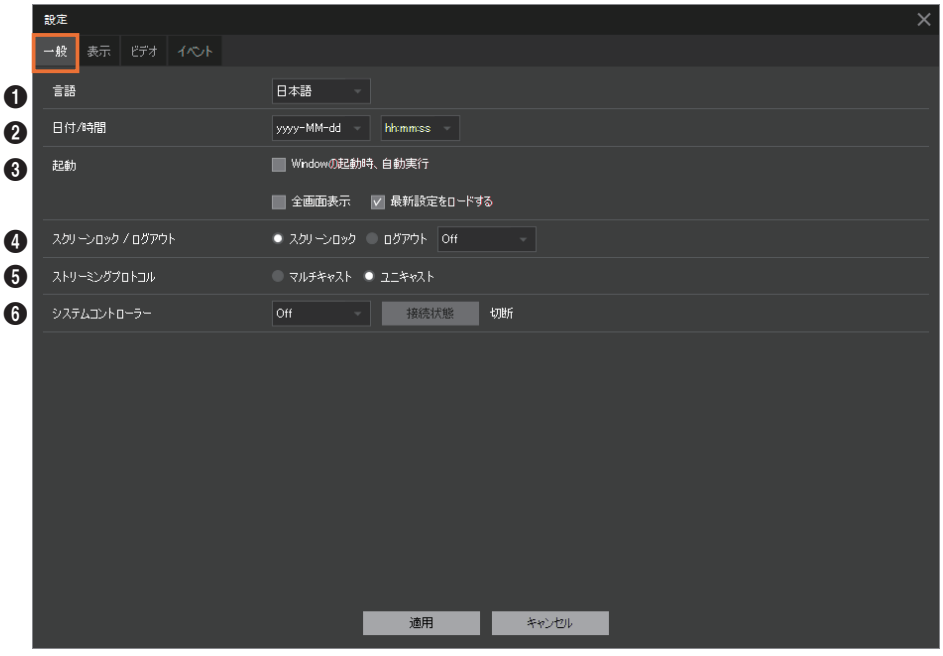
1. **SSM Console Client**を実行します。
2. **ログイン**ダイアログボックスでIDとパスワードを入力した後、**ログイン**ボタンをクリックします。
3. プログラム右上の ボタンをクリックします。



一般設定を行う

言語、日付/時間、開始オプション、映像転送方式など**SSM Console Client**の基本使用環境を設定することができます。

1. **設定**メニューページを開きます。
2. 左上の**一般**タブをクリックします。次のような一般設定項目を指定できます。以下の項目を設定することができます。



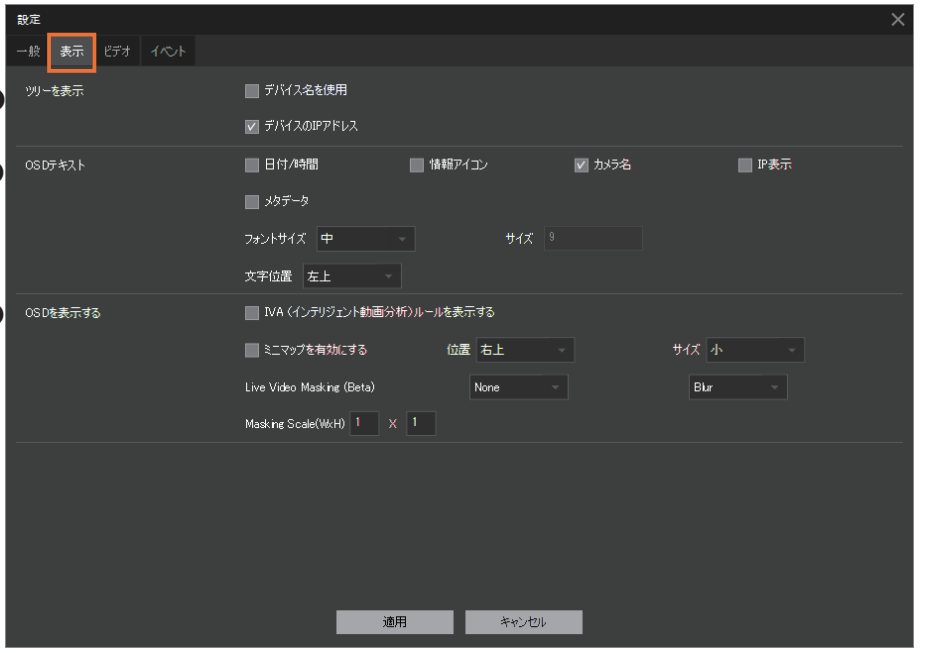
番号	設定項目	説明
❶	言語	システムの使用言語を設定できます。
❷	日付/時間	OSDに表示する日付と時間形式を設定できます。 • 日付形式：yyyy(年)、MM(月)、dd(日) • 時間形式：hh(時)、mm(分)、ss(秒)
❸	起動	プログラムを新しく開始する時の画面表示方式を設定できます。 • **Windows起動時に自動実行**：Windowsを起動する時にプログラムを自動で実行できます。 • **全画面表示**：プログラムを開始すると**SSM Console Client**を全画面で表示できます。 • **最新設定をロードする**：最後に使用したメニューを開始画面に表示できます。

番号	設定項目	説明
❹	スクリーンロック/ログアウト	• **スクリーンロック**：セキュリティのために一定時間の間、キーボードやマウスの動きがない場合にプログラムの使用をブロックします。 • **ログアウト**：セキュリティのために一定時間の間、キーボードやマウスの動きがない場合に自動で**SSM Console Client**をログアウトします。 • 時刻設定：ドロップダウンリストをクリックしてスクリーンロックまたはログアウトを実行する基準時刻を設定できます。設定可能なオプションは次のとおりです。 – **Off**：スクリーンロックまたはログアウト機能を使用しません。 – **5分/10分/15分**：設定した時間が過ぎるとスクリーンロックまたはログアウト状態になります。
❺	ストリーミングプロトコル	**SSM Core Server**で**SSM Console Client**に映像を転送する時、転送方式をマルチキャストまたはユニキャストで選択できます。 マルチキャストを使用するには、次のパスでマルチキャストを**SSM Server**に選択してください。 **構成マネージャー** > **デバイス** > **登録** > **カメラ情報** > **プロファイル**
❻	システムコントローラー	**SSM Console Client**で使用するコントローラーを設定できます。 • 対応コントローラー [Techwin] SPC-2000、SPC-7000

画面ディスプレイを設定する

カメラタブと映像タイルに表示するOSD情報を設定することができます。

1. **設定**メニューページを開きます。
2. 左上の**表示**タブをクリックしてください。以下の項目を設定することができます。



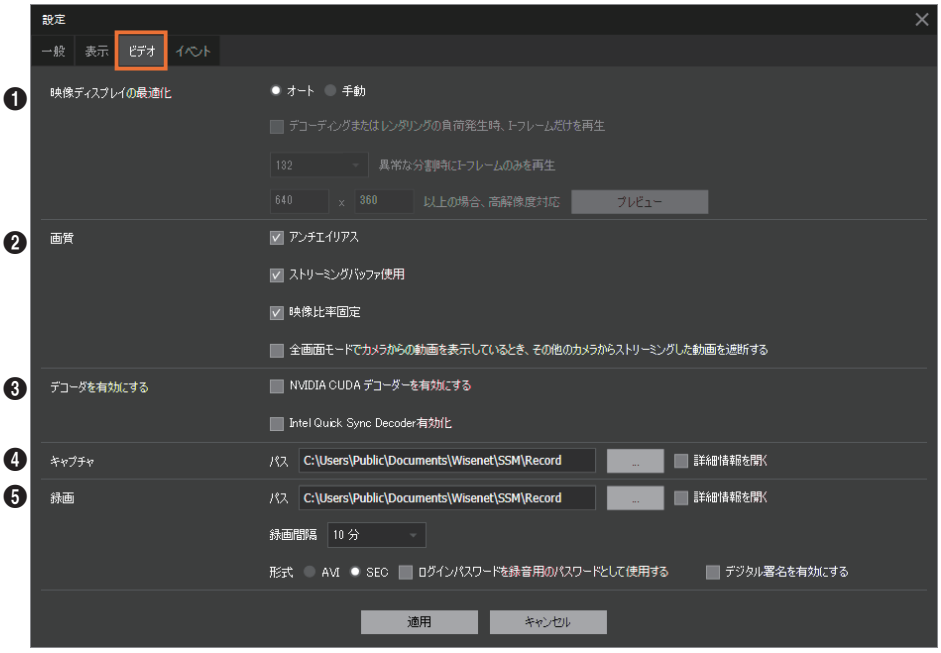
番号	設定項目	説明
❶	ツリーを表示	• **デバイス名を使用**：カメラタブのデバイスリスト及び映像タイルにデバイスで設定した名前を表示することができます。(例：Camera 01、Alarm 01、…)選択を解除すると、コンフィグレーションマネージャーで登録した名前で表示します。 • **デバイスのIPアドレス**：カメラタブのデバイスリストでデバイスのIP情報を表示することができます。
❷	OSDテキスト	映像タイルに以下の項目を表示することができます。 • **日付/時間**：映像タイルに日付と時間を表示できます。**SSM Core Server**に登録されたカメラは**SSM Core Server**の日付と時間を表示し、DVRまたはNVRに登録されたカメラはDVRまたはNVRデバイスの日付と時間を表示します。 • **情報アイコン**：映像タイル下に録画状態、PTZ対応等をアイコンで表示できます。 • **カメラ名**：映像タイルの左上に、カメラ名を表示できます。 • **IP表示**：映像タイルにデバイスのIP情報を表示することができます。 • **メタデータ**：カメラから受信されるIVA検知結果を映像タイル上に緑色の四角形で表示できます。メタデータとは、IVA検知結果データを表しています。 • **フォントサイズ**：ドロップダウンメニューをクリックしてOSD情報のフォントサイズを設定できます。 **ユーザー指定**で選択して希望するサイズに設定することができます。 • **文字位置**：ドロップダウンメニューをクリックしてOSD情報の文字位置を設定できます。

番号	設定項目	説明
❸	OSDを表示する	• **IVA(インテリジェント動画分析)ルールを表示する**：カメラに設定したIVAルールを映像上に表示できます。 • **ミニマップを有効にする**：マップレイアウト上にあるリンクのマッピングアイコンをダブルクリックすると、そのマップレイアウトへ移動する代わりに現在のマップ上に小さなマップで表示できます。ドロップダウンメニューをクリックしてミニマップの位置とサイズを設定できます。 • **Live Video Masking**(Beta)：個人動画の情報漏れを防ぐために、個人情報が流出される対象を識別できないようにマスキング(Blur/Mosaic/Fisheye)を設定することができます。 • **Masking Scale(WxH)**: 映像マスキングのサイズを設定できます。

ビデオを設定する

監視、再生映像の画質および転送方式、キャプチャおよび録画パスなどを設定することができます。

1. **設定**メニューページを開きます。
2. 左上の**ビデオ**タブをクリックしてください。以下の項目を設定することができます。



番号	設定項目	説明
❶	映像ディスプレイの最適化	• **オート**：モニター解像度、映像タイルのサイズ、またはシステムの負荷レベルによって自動で映像を低解像度または高解像度に表示します。 • **手動**：監視及び再生映像の画質に対して次のオプションを設定できます。 – **デコーディングまたはレンダリングの負荷発生時、I-フレームだけを再生**：システム過負荷でデコーディングまたはレンダリング性能が低下する場合、 I−フレームだけを再生するように設定できます。 – ドロップダウンメニューをクリックしてI-フレームだけ再生する分割画面を設定することができます。 – 映像タイルのサイズが設定値以上の場合、高解像度プロファイルの映像を出力するように設定できます。 **プレビュー**ボタンをクリックすると、高解像度プロファイルで表示できる最小映像タイルのサイズを確認できます。

番号	設定項目	説明
❷	画質	• **アンチエイリアス**：**SSM Console Client**で映像を再生する時、ピクセルに階段状に発生するエイリアシング現象を改善できます。アンチエイリアスを使用すると、映像品質は向上しますがストリーミングが切断する場合があります。 • **ストリーミングバッファ使用**：ネットワークおよびその他使用環境の影響により映像の遅延が発生する時、均等な映像を再生できます。ストリーミングバッファを使用するとより均一な映像を再生できますが、ストリーミングが遅延する場合があります。 • **映像比率固定**：カメラ映像の解像度の水平/垂直比率を維持したまま映像画面を拡大または縮小し、タイルのサイズに合わせて映像を表示できます。 • **全画面モードでカメラからの動画を表示しているとき、その他のカメラからストリーミングした動画を遮断する**：ネットワークの過負荷を防止するための機能により、多チャンネル監視中に特定チャンネルを全画面表示した時、他の監視チャンネルのカメラ映像の受信を一時停止できます。 この機能を選択するとネットワークの過負荷を防止できますが、1チャンネルの映像を全画面で表示している時に多チャンネル監視画面へ切り替えた場合、全体の映像を受信するのに時間が遅延する場合があります。
❸	デコーダを有効にする	• **NVIDIA CUDA デコーダーを有効にする**：PCにハードウェアデコーダー(NVIDIA社のCUDAデコーダー)が別途インストールされている場合、そのデコーダーをSSMの映像デコーダーとして使用できます。 • **Intel Quick Sync Decoder有効化**：PCにハードウェアデコーダー(Intel社のQuick Syncデコーダー)が別途インストールされている場合、そのデコーダーをSSMの映像デコーダーとして使用できます。
❹	キャプチャ	タイルの映像を**キャプチャ**し、画像ファイルで保存するパスを指定できます。 • **詳細情報を開く**：**キャプチャ**ボタンをクリックすると、**キャプチャ**ダイアログボックスが表示されます。保存パスおよび画像に表示される情報を設定できます。
❺	録画	タイルの映像をローカルPCに保存する時に保存パス、時間と形式などを設定することができます。 • **パス**：PCに保存するパスを設定できます。 • **詳細情報を開く**：**ローカル保存**ボタンをクリックすると、保存パスを設定できるダイアログボックスが表示されます。 • **録画間隔**：PCに保存する録画間隔を設定できます。 – 設定時間：1～60分(1分間隔で設定可能) • **形式**：録画ファイルの形式をAVIまたはSECに設定できます。 – **AVI**：ローカルへ保存する映像をAVI拡張子で保存できます。AVIファイルは、PCで使用する一般的な動画再生プログラムで確認できます。 – **SEC**：ローカルへ保存する映像をSEC拡張子で保存できます。SECファイルで保存した場合、バックアップファイルと共にSECファイル専用の動画再生プログラムであるバックアップビューア(BACKUP VIEWER)で確認できます。 • **ログインパスワードを録音用のパスワードとして使用する**：映像を再生する時、ログインパスワードを入力することで再生ができるように設定できます。SECファイル形式を選択した場合に追加で設定できます。 • **デジタル署名を有効にする**：映像の偽造/変造を確認するため、デジタル署名を適用して映像を保存できます。SECファイル形式を選択した場合に追加で設定できます。

イベントを設定する

発生したイベントに関する使用環境を設定できます。

1. **設定**メニューページを開きます。
2. 左上の**イベント**タブをクリックします。以下の項目を設定することができます。

番号	設定項目	説明
❶	イベント発生時にタイルを表示	イベントが発生する時、映像タイルにこのイベント映像の再生有無と時間を設定することができます。
❷	イベントの再生時間	インスタントビューアやイベントメニューでイベント映像を再生する時、イベント発生時点を基準として何秒前、または何秒後まで映像を再生するかを設定できます。
❸	イベントスポット	イベントスポット機能を有効にする場合、表示するイベント項目と表示時間を設定できます。

番号	設定項目	説明
❹	インスタントビューア	イベントが発生する時、インスタントビューアを使用するかどうかを設定できます。 • **最大インスタントビューア**：インスタントビューアをいくつまで表示するかを設定できます。インスタントビューアは、3つまで設定できます。 • **ポップアップ期間**：イベント発生時、インスタントビューアをどれくらいの間表示するかの表示時間を設定できます。設定した時間を過ぎるとインスタントビューアは自動で閉じます。 • **新規イベント破棄時間**：インスタントビューアが表示されている状態で設定した時間内に同じカメラから同じイベントが発生すると、新規イベントに対するインスタントビューアは表示しないように設定できます。 • **ポップアップ位置**：複数のモニタを使用して監視画面を構成している時、インスタントビューアを表示するモニタを設定できます。
❺	マップレイアウト	監視メニューでマップレイアウトにより監視する時、イベント発生時の動作を設定できます。 • **イベントが発生したマップレイアウトをアクティブにする**：リンクのマッピングアイコンでイベントが発生すると、そのマップレイアウトに切り替わるように設定できます。 • **イベントが発生したマップアイコンへ移動する**：イベントが発生したリンクのマッピングアイコンを画面中央になるように表示できます。

付録

システム要件

SSM Core Server

	動作環境	推奨環境
CPU	Intel Core i5以上(i5-4670@3.40GHz)	Intel Core i7以上(i7-4770@3.40GHz) Xeon E3-1275 v5 (8M Cache 3.6GHz)
RAM	8GB以上	16GB以上
OS	Windows 8.1/10 (Pro、Enterprise) Windows 10 IOT Enterprise Windows 11 Pro Windows Server 2008 SP2/2008 R2 SP1 (Standard) Windows Server 2012/2012 R2 (Standard) Windows Server 2016 (Standard) Windows Server 2019 (Standard) Windows Server 2019 (Essential) * 64ビットOSのみ対応しています。	
HDD	**OS HDD** • SSD推奨 • OSとSSMコアインストール後、20GB以上の使用可能な容量 **カメラ映像録画HDD** • 録画用に別途HDD必要 (ログ記録のために最小200GB以上必要) • HDD：SATA3 7200rpm(64MB Cache) • NIC 帯域幅1Gbps以上	**OS HDD** • SSD推奨 • OSとSSMコアインストール後、20GB以上の使用可能な容量 **カメラ映像録画HDD** • 録画用に別途HDD必要 (ログ記録のために最小200GB以上必要) • HDD：SATA3 7200rpm(64MB Cache) 4つ以上 • NIC 帯域幅1Gbps以上 • RAID、iSCSI対応：RAID5、HW RAID Controller(AF対応)

メモ

2.10.8以後のバージョンのSSMでは、イベント記録及び検索のためにCドライブ以外、別途のHDDが必要です。

SSM Console Client

	動作環境	推奨環境
CPU	Intel Core i5以上(i5-4670@3.40GHz)	Intel Core i7以上(i7-4770@3.40GHz) Xeon E3-1275 v5 (8M Cache 3.6GHz)
VGA	Geforce GTX 740(RAM 1GB) 第6世代Intelプロセッサ グラフィックス DirectX 11対応	• CUDA H/Wデコーダー使用時、 Geforce GTX960 (RAM 2GB) 以上 GeForce GTX1050 (RAM 2GB) 以上 DirectX 11 • Intel Quick Sync H/Wデコーダー使用時、 HD Graphics P530以上
RAM	8GB以上	16GB以上
OS	Windows 8.1/10 (Pro、Enterprise) Windows 10 IOT Enterprise Windows 11 Pro * 64ビットOSのみ対応しています。	
HDD	OSと**SSM Console Client**インストール後、20GBの使用可能な容量必要	

製品仕様

システム		
最大監視チャンネル	最大10,000チャンネル/ドメイン 最大3,000チャンネル/サーバー カメラを登録する：最大328チャンネル カメラ録画：最大128チャンネル	カメラ／NVR／DVR使用時
最大保存チャンネル	最大3,584チャンネル/ドメイン 最大128チャンネル/サーバー 最大520Mbps デュアルレコーディング(High/Low)対応 * 最大録画性能はHDD、H/W RAID、iSCSI仕様によって異なります。	サーバー保存使用時
ソフトウェアの構造	サーバー/クライアント	多重サーバークラスタリング、最大28個のサーバー
クライアント	コンソールクライアント、モバイルビューアー	サーバーあたり最大同時37接続対応
対応デバイス	ネットワークカメラ/エンコーダー/デコーダー、DVR/NVR、コントローラー	Wisenet製品 + ONVIF Profile S対応 ONVIF® conformant (www.onvif.org)

基本コンポーネント		
SSM Core Server	中央ライセンス管理	45日試用版
	サーバークラスタリング	サーバーデータ共有、障害発生管理
	システムダッシュボード	リアルタイムシステム状態監視
	ユーザー管理	装置接続権限、機能アクセス権限
	Federation	多重ドメイン間の連携、最大10ドメイン、 最大4デプス、最大10,000チャンネル
	中央装置設定	装置と追加サーバーの自動/手動登録
	イベント設定	4段階の重要度設定、イベント別の色管理
	イベントアクション	イベントのユーザー設定およびトリガータスク
	レイアウトとパターン	ユーザー定義レイアウトおよびタイルパターン
SSM Console Client	タブベースウィンドウ	監視、検索、アドバンス検索、ANPR、POS、 ダッシュボード、構成マネージャー、設定
	出力チャンネル	最大132チャンネル
	デコーディング	ハードウェアアクセラレータ対応 (CUDA、Intel Quick Sync)
	再生	多重チャンネル再生、ブックマーク
	ライブイベント	状況、タイプ、重要度に応じてフィルタリング
	検索	イベント検索、人検索、顔検索、顔認識の検索、 車両検索、LPR検索、監査ログ検索
	アドバンス検索	サムネイル表示のある検索方法、スマート検索
	POSテキスト検索	受信リスト、キーワード検索
対応言語	韓国語、英語、中国語(簡体)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、スペイン語、中国語(繁體)、タイ語、トルコ語、アラビア語、ウクライナ語、ベトナム語	

サービスポート

Wisenet SSMで使用するポートリストをご参考ください。

名称	ポート	プロトコル
System Manager	9991、9999、61616、9876	SSL (9991) TCP for Web Service(9999) Active MQ(61616) PostgreSQL (9876)
Media Server	4510-4517	TCP(4510、4511) SSL(4512、4513) HTTP (4514) RTSP(4515、4516、4517)

対応デバイス

対応している製品リストをご参考ください。

DVR

■ 4チャンネル

HRX-435、HRX-434、HRX-421FN/TE、HRX-420、HRX-421、HRD-440、HRD-442、SRD-493、SRD-494、SRD-443、SRD-473D、SRD-476D、SRD-482、SRD-445、SRD-470、SRD-440

■ 8チャンネル

HRX-835、HRX-821/TE、HRX-820、HRX-821、HRD-842、HRD-841、SRD-893、SRD-894、SRD-840、SRD-482、SRD-852D、SRD-870DC、SRD-873D、SRD-876D、SRD-880D

■ 16チャンネル

HRX-1632、HRX-1621/TE、HRX-1620、HRX-1621、HRD-1642、HRD-1641、SRD-1685、SRD-1694(U)、SRD-1684、SRD-1630(D)、SRD-1640、SRD-1642(D)、SRD-1653D、SRD-1654D、SRD-1656D、SRD-1673D、SRD-1676D、SRD-1680D、SRD-1673DU

NVR

PRN-6410DB4、PRN-6410B4、PRN-6405DB4、PRN-6405B4、PRN-6400DB4、PRN-6400B4、PRN-3210B4、PRN-3205B4、PRN-3200B4、PRN-3205B2、PRN-3200B2、PRN-1605B2、PRN-1600B2、PRN-4011、XRN-6410DB4、XRN-6410B4、XRN-6410RB2、XRN-6410B2、XRN-3210B4、XRN-3210RB2、XRN-3210B2、XRN-3010A、XRN-3010、XRN-2011A、XRN-2011、XRN-2010A、XRN-2010、XRN-1620SB1、XRN-1620B2、XRN-1610SA、XRN-1610A、XRN-1610(S)、XRN-820S、XRN-810S、XRN-420S、XRN-410S、QRN-1620S、QRN-820S、QRN-810、QRN-430S、QRN-420S、QRN-410S、QRN-410、LRN-1610S、LRN-810S、LRN-410S、KRN-3200、KRN-1600、SRN-4000、SRN-1000、SRN-1670D、SRN-470D、SRN-1673S/873S/473S、SRN-472S、VPM-4800/4400/5400/6400

NETWORK CAMERA

■ BOX

KNB-2000、KNB-5000、PNB-A6001、PNB-A6002、PNB-A7002、PNB-A8002、PNB-A9001、PNB-A9002、QNB-6000、QNB-6002、QNB-7010RH、 QNB-7080RH、QNB-8002、SNB-1001、SNB-3002、SNB-5000、SNB-5001、SNB-5003、SNB-5004、SNB-6003、SNB-6004(F)、SNB-6005、SNB-6010(B)、SNB-6011B、SNB-7001、SNB-7004、SNB-8000、SNB-9000、SNZ-5200、SNZ-6320、TNB-9000、XNB-6000、XNB-6001、XNB-6003、XNB-6005、XNB-8000、XNB-8002、XNB-8003、XNB-9002、XNB-9003、XNZ-6320

■ DOME

KND-2020R、KND-2080R、KND-4010R、KND-4080R、KND-5020R、KND-5080R、PND-A6081RF/RV、PND-A6082RF/RV、PND-A7082RF/RV、PND-A8082RF/RV、PND-9080R、PND-A9081RF/RV、PND-A9082RF/RV、PNM-9020V、PNV-9080R、PNV-A9081R、QND-6010R、QND-6020R、QND-6030R、QND-6070R、QND-7010R、QND-7012R、QND-7020R、QND-7022R、QND-7032R、QND-7080R、QND-7082R、QNE-6080RV、QNE-6080RVW、QNE-7080RV、QNE-7080RVW、QNV-6010R、QNV-6070R、QNV-7010R、QNV-7012R、QNV-7020R、QNV-7022R、QNV-7030R、QNV-7032R、QNV-7080R、QNV-7082R、SND-6012、SND-L6013R、SND-L6083R、SND-7084R、SNV-L6013R、SNV-L6014RM、SNV-6084R、SNV-6085R、SNV-7084R、SNV-8081R、SNV-8030R、TNV-8010C、XND-6010、XND-6020R、XND-6080RG、XND-6080RV、XND-6080(R)(V)、XND-K6080、XND-6081RE、XND-6081RVE、XND-6083RV、XND-C6083RV、XND-6085、XND-6085V、XND-C7083RV、XND-8020R、XND-8030R、XND-8040R、XND-8080R、XND-8081RE、XND-8081RVE、XND-8082RF、XND-8082RV、XND-8083RV、XND-C8083RV、XND-8093RV、XND-9082RF、XND-9082RV、XND-9083RV、XND-C9083RV、XNV-6010、XNV-6011、XNV-6012、XNV-6012M、XNV-6013M、XNV-6020R、XNV-6022R、XNV-6022RM、XNV-6080(R)、XNV-6083R、XNV-C6083R、XNV-6085、XNV-6120、XNV-6120R、XNV-6123R、XNV-C7083R、XNV-8020R、XNV-8030R、XNV-8040R、XNV-8080RS、XNV-8080(R)(RV)、XNV-8082R、XNV-8083R、XNV-C8083R、XNV-8093R、XNV-9082R、XNV-9083R、XNV-C9083R

■ FISHEYE

TNF-9010、XNF-9010RS、XNF-9010RV、XNF-9010RVM、QNF-9010、XNF-8010、XNF-8010RV、XNF-8010R、PNF-9010R(RV)(RVM)、SNF-8010(VM)、SNF-7010

■ MULTI-SENSOR

PNM-9322VQP、PNM-9320VQP、PNM-9081VQ、PNM-9080VQ、PNM-9030V、PNM-9022V、PNM-9020V、PNM-9002VQ、PNM-9000VQ、PNM-9000QB、PNM-8082VT、PNM-7002VD、PNM-7000VD

■ BULLET

KNO-2080R、KNO-2010R、KNO-2120R、KNO-4010R、KNO-4080R、KNO-5020R、KNO-5080R、PNO-A6081R、PNO-A6082R、PNO-A7082R、PNO-A8082R、PNO-9080R、PNO-A9081R、PNO-A9082R、PNV-A6081R、PNV-A6082R、PNV-A7082R、PNV-A8082R、PNV-A9082R、QNO-6010R、QNO-6020R、QNO-6030R、QNO-6070R、QNO-7010R、QNO-7012R、QNO-7020R、QNO-7022R、QNO-7030R、QNO-7032R、QNO-7080R、QNO-7082R、SNO-5080R、SNO-L5083R、SNO-5084R、SNO-6011R、SNO-L6013R、SNO-L6083R、SNO-6084R、SNO-6085R、SNO-7084R、SNO-8081R、TNO-6320E、TNO-6322ER、TNU-6320E、XNO-6010R、XNO-6020R、XNO-L6020R、XNO-6080R、XNO-6080RA、XNO-6080RG、XNO-L6080R、XNO-6083R、XNO-C6083R、XNO-6085R、XNO-6085RA、XNO-6085RG、XNO-L6085R、XNO-L6085RA、XNO-6090RH、XNO-6095RH、XNO-6120R、XNO-6120RG、XNO-L6120R、XNO-6123R、XNO-6320RHP、XNO-C7083R、XNO-8020R、XNO-8030R、XNO-C8083R、XNO-8040R、XNO-8080R、XNO-8082R、XNO-8083R、XNO-9082R、XNO-9083R、XNO-C9083R

■ PTZ

XNP-9300RW、XNP-9300R、XNP-9300、XNP-9250R、XNP-9250、XNP-8300RW、XNP-8300R、XNP-8300、XNP-8250R、XNP-8250、XNP-6400RW、XNP-6400R、XNP-6400、XNP-6321H、XNP-6321、XNP-6320HG、XNP-6370RHA、XNP-6320H、XNP-6320、XNP-6320HS、XNP-6370H、XNP-6040H、XNP-6120H、XNP-6370RH、XNZ-6320、XNP-6550RH、XNP-6371RH、XNP-6371RHG、XNP-6370RH、PNP-9200RH、QNP-6320(H)、QNP-6250(H)、SNP-6321(H)、SNP-L6233(H)(RH)、SNP-L5233(H)、SNP-6320(H)(RH)、SNP-6230(RH)、SNP-5430(H)、SNP-3302(H)、SNP-3371(H)(TH)、SNP-5300(H)、SNP-5321(H)、SNP-5430(H)、SNP-6200RH、SNP-6201(H)、SNP-3120(VH)

■ POSITIONING

TNU-4051T、TNU-6320、TNU-6320E、TNU-6321

■ THERMAL

TNM-3620TDY、TNO-4051T、TNO-4041TR、TNO-4040TR、TNO-4030TR、TNO-4030T、TNO-3050T、TNO-3040T、TNB-1080T、TNB-1050T、TNB-1040T、TNO-1030T

ENCODER

SPE-400/100/101、SPE-1600R、SPE-1610/410、SPE-1620

DECODER

SPD-1660R

SENSOR

■ Advantech 拡張 I/O

ADAM-6050：Sensor 12個、AlarmOut 6個

ADAM-6060：Sensor 6個、AlarmOut 6個

ADAM-6066：Sensor 6個、AlarmOut 6個

■ MOXA 拡張 I/O

NA-4010(Sensor：M-1601(16チャンネル)、AlarmOut：M-2601(16チャンネル))

■ ONVIF

ONVIF互換カメラ

ONVIF 1.02以上に対応しているカメラ(Prole-S互換)

ビデオ映像コーデック：MJPEG、MPEG4、H.264、H.265

音声コーデック：G.711(pcm ulaw)、G726、AAC

インターホン

TID-600R

ANPR

TNC-6070RLP、TNC-9070RLP、TNO-6081RLP、TNO-7180R、TNO-7180RLP

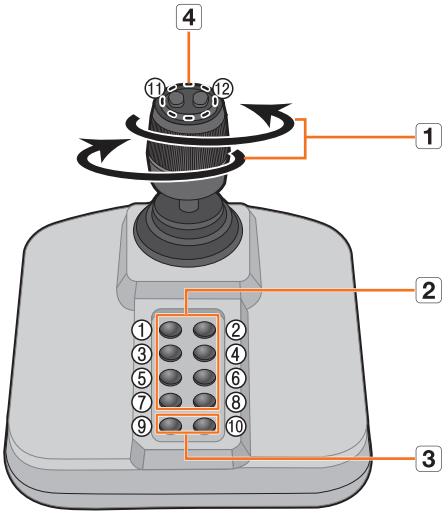
システムコントローラの使用

SSM Console Client > ⚙ > **一般** > **システムコントローラー**"で、接続設定と接続ステータスを確認することができます。

SPC-2000

SPC-2000ジョイスティックは以下の通り操作します：

- コンソールを起動する前に、認識されるよう、SPC-2000をPCに接続しなければなりません。
- SPC-2000はPTZまたは画面モードで実行できます。
- 画面モードでは、コンソールに割り当てられたレイアウトは割当て順に1～8の番号が付されます。



名称		機能
1	上/下/左/右	• PTZモードでは、カメラを8方向にパンニング、チルト、制御することができます。 • 画面モードでは、上/下/左/右のタイルを選択できます。
	回転	PTZモードでは、画面は時計回りに回転させるとズームインし、反時計回りに回転させるとズームアウトします。
2	1 ~ 8	• PTZモードでは、プリセット番号1～8が実行されます。 • 画面モードでは、ボタン番号に応じたレイアウトが実行されます。
3	9~10	PTZモードと画面モードを切り替えます。
4	11、12	• PTZモードでは、フォーカス近/遠動作が実行できます。 • 画面モードでは、複数のモニターを選択して変更できます。

メモ

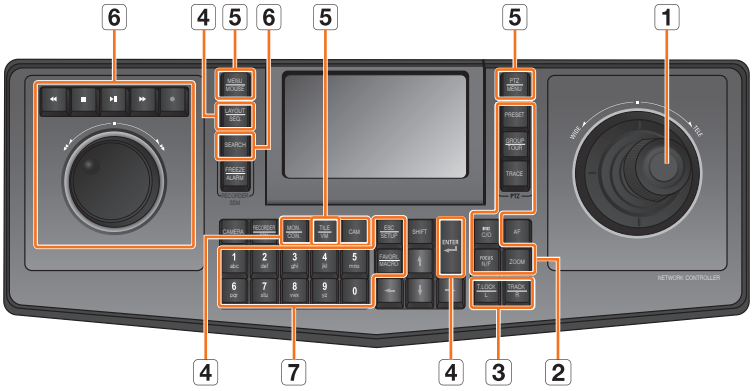
正しい画像を設定するには、軸校正が必要です。

PCを経由して、 > **設定**(Set) > **コントロールパネル**(Control Panel) > **ゲームコントローラー**(Game Controller) > **プロパティ**(Property) > **設定**(Set) > を選択し、**補償**(Compensation) ボタンをクリックして、**システム補償ウィザード**(System Compensation Wizard) を実行し、次に画面に表示される指示に従って軸補償を完了させます。

SPC-7000

接続されたSPC-7000ジョイスティックの操作仕様は以下の通りです。

- SPC-7000では、LCDモニターにシステムコントローラーの各操作ステータスが表示され、ユーザーはタッチスクリーン、またはジョイスティックを使ってメニューを簡単に選択することができます。
- 以下の5つのモードで操作します：PTZ/画面/マウス/コンソール/VM



名称			機能
1	ジョイスティック	上/下/左/右	• PTZモードでは、パンとチルトモーションを制御することができます。 • 画面モードでは、上/下/左/右のタイル選択を変更することができます。 • マウスモードでは、マウスカーソルを移動することができます。
		回転	PTZモードでは、画面はWIDE方向に回すとズームインし、TELE方向に回すとズームアウトします。

名称			機能
2	PTZコントロール	[FOCUS N/F] + ←	フォーカス近/遠モーション実行 • [FOCUS N/F] + ← : フォーカス近 • [FOCUS N/F] + → : フォーカス遠
		[FOCUS N/F] + →	
		[IRIS C/O] + →	IRIS開/閉操作実行 • [IRIS C/O] + → : RIS開 • [IRIS C/O] + ← : IRIS閉
		[IRIS C/O] + ←	
		[PRESET]	数字 + [PRESET] ボタンをクリックすると、それぞれのボタン番号に対応するプリセットが有効になります。
		[GROUP]	数字 + [GROUP] ボタンをクリックすると、それぞれのボタン番号に対応するグループ/スキャンが有効になります。
		[TRACE]	数字 + [TRACE] ボタンをクリックすると、れぞれのボタン番号に対応するパターン/トレースが有効になります。
		[ZOOM] + →	モーションズームインが実行されます。
		[ZOOM] + ←	モーションズームアウトが実行されます。
3	マウスコントロール	[T. LOCK(L)]/ [TRACK(R)]	マウスモードで、マウスの左/右ボタンを使用します。
4	Screen control	[MON.(CON.)]	画面モードで数字 + [MON.(CON.)] ボタンをクリックすると、マルチモニター選択を変更できます(モニター番号に応じて前/次)。
		[LAYOUT(SEQ.)]	数字 + [LAYOUT(SEQ.)] ボタンをクリックすると、それぞれのボタン番号に対応するレイアウトが有効になります。
		[CAM]	数字 + [CAM] ボタンをクリックすると、それぞれのボタン番号に対応するカメラが有効になります。
		[ENTER]	一度クリックすると、ライブビューアに単一スクリーンが表示されます。 再度一度クリックすると、元の画面に戻ります。
			ライブビューアで番号 + [ENTER] をクリックすると、画面が入力した数に分割されます。
		LCD SnapShotボタン	現在のタイルのビデオを保存します。
		LCD UIアラームオフボタン	イベントを初期化します。
		数字 + [TILE(VM)]	番号に対応するタイルに移動します。
5	モード変更	[PTZ(MENU)]	PTZモードを変更します。 PTZモード中に [PTZ(MENU)] ボタンをクリックすると、スクリーンモードに変更されます。
		[SHIFT] + [MENU(MOUSE)]	マウスモードを変更します。 マウスモード中に、[SHIFT] + [MENU(MOUSE)] ボタンをクリックすると、画面モードに切り替わります。
		[SHIFT] + [MON.(CON.)]	コンソールモードを変更します。
		[SHIFT] + [TILE(VM)]	VMDコントロールを実行します。

名称			機能
6	再生画面コントロール	[SEARCH]	ライブ/検索を通して現在のタイルのビデオを出力します。
		■	ビデオは停止します。
		▶II	ビデオの再生と一時停止
		●	ビデオの手動録画を開始/終了します。
		シャトルホイール	ホイールを時計回りに回すと、前進方向に早送り再生され、ホイールを反時計回りに回すと、逆進方向に早送り再生されます。
		ジョグホイール	フレーム検索を実行します。
7	0 ~ 9		数字入力ボタン
	[ESC(SETUP)]		入力した数字を初期化します。
	[FAVORI.(MACRO)]		SPC-7000に指定したキー値としてモーションを自動的に生成するように実行します。 例) [FAVORI.(MACRO)] キーが押されると、ユーザーが数字 + [MONITOR] + 数字+ [TILE(VM)] を押したときに有効になるのと同一のモーションが実行されます。

Hanwha
Techwin